

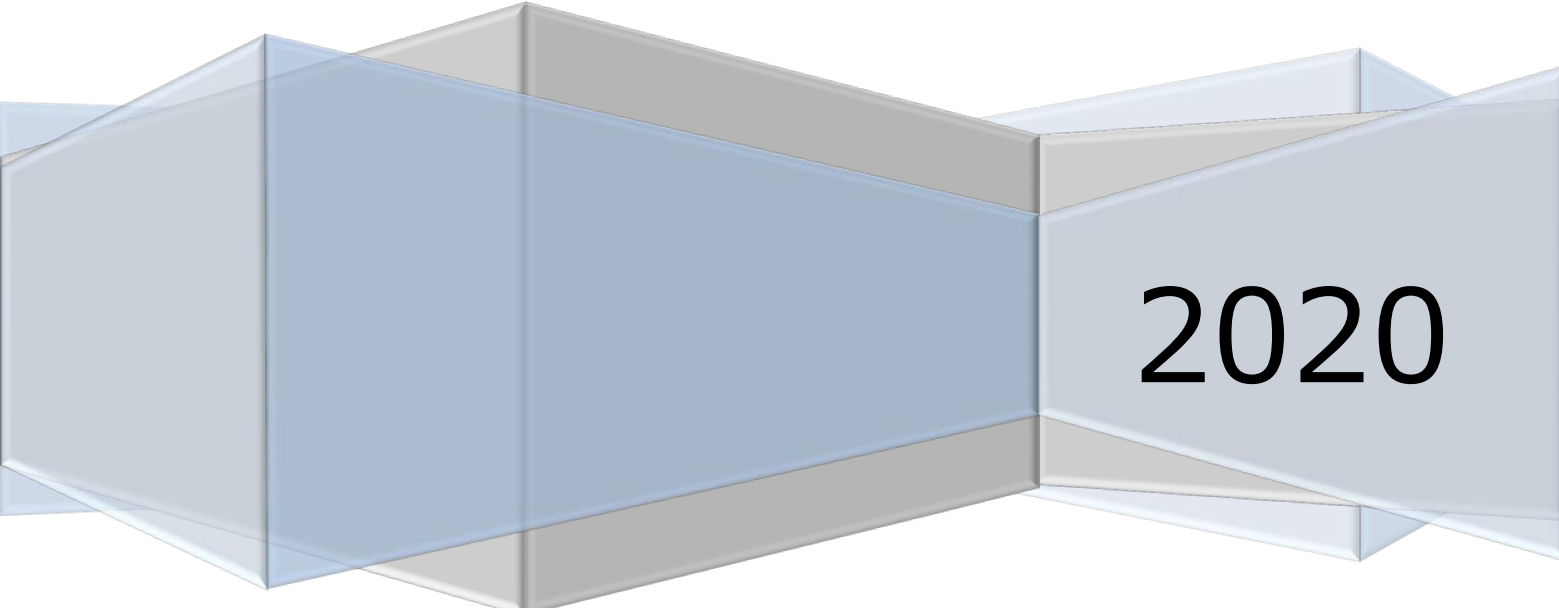
東京医科歯科大学教養部

教 育 要 項

－ 教養教育 －

医学部医学科 2・3 年

歯学部歯学科 2・3 年



2020

目次

2020年度医歯学融合教育（教養教育）	1
教養教育	2
生命科学基礎	3
生命科学基礎（化学 A）	4
生命科学基礎（化学 B）	6
生命科学基礎（生物 A）	8
生命科学基礎（生物 B）	10
主題別教育（医学科・歯学科）について	12
主題別選択Ⅰ・Ⅱ	17
主題別選択Ⅰ（小説に見る日本語の変化と多様性(近代編)）	18
主題別選択Ⅰ（戦争と科学）	20
主題別選択Ⅰ（現代社会と時間）	22
主題別選択Ⅰ（フランス文学を読む）	24
主題別選択Ⅰ（日本とドイツの思想：入門）	26
主題別選択Ⅰ（中国語と中国文化）	28
主題別選択Ⅰ（昆虫にみられる社会性の進化）	30
主題別選択Ⅰ（情報機械と人間）	32
主題別選択Ⅰ（医歯系のための物理）	34
主題別選択Ⅰ（物理数学演習）	36
主題別選択Ⅰ（科学と疑似科学の境界）	37
主題別選択Ⅰ（食品の科学）	39
主題別選択Ⅰ（生物の中の糖）	41
主題別選択Ⅰ（宇宙と生命）	43
主題別選択Ⅰ（生物間のコミュニケーション）	45
主題別選択Ⅰ（医療の社会学）	47
主題別選択Ⅰ（ヒトの脳と言語）	49
主題別選択Ⅰ（Explorations in Literature Philosophy and Science）	51
主題別選択Ⅰ（生命科学と技術）	53
主題別選択Ⅰ（小説に見る日本語の変化と多様性(現代編)）	54
主題別選択Ⅰ（生命倫理を問いなおす）	56
主題別選択Ⅰ（ドロモロジーと人間）	58
主題別選択Ⅰ（フランス詩を読む）	60
主題別選択Ⅰ（Leben und Werke を読む）	62
主題別選択Ⅰ（中国社会の現在）	64
主題別選択Ⅰ（昆虫の社会性の維持機構）	66
主題別選択Ⅰ（情報社会と人間）	68
主題別選択Ⅰ（人体・医療の物理）	70
主題別選択Ⅰ（微分方程式演習）	72
主題別選択Ⅰ（タンパク質科学の光と影）	73
主題別選択Ⅰ（植物の科学）	75
主題別選択Ⅰ（危険物の科学）	77
主題別選択Ⅰ（老化と寿命）	79
主題別選択Ⅰ（環境への適応）	81
主題別選択Ⅰ（民主主義を再考する）	83
主題別選択Ⅰ（英語で学ぶヒトの脳と言語）	85
主題別選択Ⅰ（Understanding Language and Society）	87
主題別選択Ⅰ（生命科学と医学）	89
主題別選択Ⅱ（小説に見る日本語の変化と多様性(近代編)）	90

主題別選択Ⅱ（戦争と科学）	92
主題別選択Ⅱ（現代社会と時間）	94
主題別選択Ⅱ（フランス文学を読む）	96
主題別選択Ⅱ（日本とドイツの思想：入門）	98
主題別選択Ⅱ（中国語と中国文化）	100
主題別選択Ⅱ（昆虫にみられる社会性の進化）	102
主題別選択Ⅱ（情報機械と人間）	104
主題別選択Ⅱ（医歯系のための物理）	106
主題別選択Ⅱ（物理数学演習）	108
主題別選択Ⅱ（科学と疑似科学の境界）	109
主題別選択Ⅱ（食品の科学）	111
主題別選択Ⅱ（生物の中の糖）	113
主題別選択Ⅱ（宇宙と生命）	115
主題別選択Ⅱ（生物間のコミュニケーション）	117
主題別選択Ⅱ（医療の社会学）	119
主題別選択Ⅱ（ヒトの脳と言語）	121
主題別選択Ⅱ（Explorations in Literature Philosophy and Science）	123
主題別選択Ⅱ（生命科学と技術）	125
主題別選択Ⅱ（小説に見る日本語の変化と多様性(現代編)）	126
主題別選択Ⅱ（生命倫理を問いなおす）	128
主題別選択Ⅱ（ドロマロジーと人間）	130
主題別選択Ⅱ（フランス詩を読む）	132
主題別選択Ⅱ（Leben und Werke を読む）	134
主題別選択Ⅱ（中国社会の現在）	136
主題別選択Ⅱ（昆虫の社会性の維持機構）	138
主題別選択Ⅱ（情報社会と人間）	140
主題別選択Ⅱ（人体・医療の物理）	142
主題別選択Ⅱ（微分方程式演習）	144
主題別選択Ⅱ（タンパク質科学の光と影）	145
主題別選択Ⅱ（植物の科学）	147
主題別選択Ⅱ（危険物の科学）	149
主題別選択Ⅱ（老化と寿命）	151
主題別選択Ⅱ（環境への適応）	153
主題別選択Ⅱ（民主主義を再考する）	155
主題別選択Ⅱ（英語で学ぶヒトの脳と言語）	157
主題別選択Ⅱ（Understanding Language and Society）	159
主題別選択Ⅱ（生命科学と医学）	160
主題別人文社会科学セミナー・講義	161
医学科・歯学科（3年生）：主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール	162
人文社会科学講義（医療と社会）	163
人文社会科学講義（医療と法）	165
主題別人文社会科学セミナー（文化と人間）	167
主題別人文社会科学セミナー（生命と人間）	169
主題別人文社会科学セミナー（言語と人間）	172
主題別人文社会科学セミナー（制度と人間）	175
主題別人文社会科学セミナー（時間と人間）	178
東京医科歯科大学全学共通科目履修規則	181

2020年度医歯学融合教育(教養教育)

● 医学科・歯学科(2年生)

月日	曜日	回数	1時限(9:00~9:50)	2時限(10:05~10:55)	3時限(11:10~12:00)
4月2日	木				
4月9日	木				
4月16日	木	1	生命科学基礎(化学) (奈良・澤野・勝文) (医学科講義室1 および共用講義室1)	主題別選択Ⅰ(前半) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)	
4月23日	木	2			
4月30日	木	3			
5月7日	木	4			
5月14日	木	5			
5月21日	木				
5月28日	木	6	生命科学基礎(化学) (奈良・澤野・勝文) (医学科講義室1 および共用講義室1)	主題別選択Ⅰ(後半) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)	
6月4日	木	7			
6月11日	木	1			
6月18日	木	2			
6月25日	木	3			
7月2日	木	4			
7月9日	木	5			
7月16日	木	6			
9月3日	木	7	試験	試験	主題別選択Ⅰ
9月10日	木	予備			生命科学基礎(生物・予備日)
9月24日	木	1	生命科学基礎(生物学) (服部・奈良) (医学科講義室1 および共用講義室2) ※10/15の共用講義室2 は 救急検定室へ変更		
10月1日	木	2			
10月8日	木	3			
10月15日	木	4			
10月22日	木		※追悼式		
10月29日	木	5	生命科学基礎(生物学) (服部・奈良) (医学科講義室1 および共用講義室2) ※11/26の医学科講義室 1 は歯学部特別講義室へ変更		
11月5日	木	6			
11月12日	木	7			
11月19日	木	8			
11月26日	木	9			
12月3日	木	10			
12月10日	木	11			
12月17日	木	12			
1月7日	木	13			
1月14日	木	14			
1月21日	木	15			
1月28日	木	予備	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) 予備日		
2月4日	木		試験	試験	
2月18日	木		試験	試験	試験

● 医学科・歯学科(3年生)

月日	曜日	回数	1時限(9:00~9:50)	2時限(10:05~10:55)	3時限(11:10~12:00)
4月2日	木				
4月9日	木				
4月16日	木	1		主題別選択Ⅱ(前半) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)	主題別人文社会科学セミナー (前期:前半) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
4月23日	木	2			
4月30日	木	3			
5月7日	木	4			
5月14日	木	5			
5月21日	木				
5月28日	木	6			
6月4日	木	7		主題別選択Ⅱ(後半) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)	主題別人文社会科学セミナー (後期:後半) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
6月11日	木	1			
6月18日	木	2			
6月25日	木	3			
7月2日	木	4			
7月9日	木	5			
7月16日	木	6			
9月3日	木	7		主題別人文社会科学セミナー	主題別選択Ⅱ
9月10日					
9月24日	木	1			主題別人文社会科学セミナー (後期:前半) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
10月1日	木	2			
10月8日	木	3			
10月15日	木				
10月22日	木	4			主題別人文社会科学セミナー (後期:前半) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
10月29日	木	5			
11月5日	木	6			
11月12日	木	7			
11月19日	木	8			主題別人文社会科学セミナー (後期:後半) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
11月26日	木	9			
12月3日	木	10			
12月10日	木	11			
12月17日	木	12			
1月7日	木	13			主題別人文社会科学セミナー (後期:後半) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
1月14日	木	14			
1月21日	木	15			
1月28日	木	予備			主題別人文社会科学セミナー (医学科・歯学科3年生対象) 予備日

教養教育

世界に通用する医療人になるためには、専門教育で獲得する知と技に加えて、様々な文化や多様な世界を理解できる教養と、他者を理解するための人間としての力が求められています。教養部では、そのためには、教養教育と、専門教育を学ぶための基礎教育を並行して行うことが必要だと考えています。

1年次には国府台キャンパスで、自然科学や人文社会科学の基本的な考え方を学ぶとともに基礎学力の充実を図りました。2年次と3年次には湯島キャンパスで、専門教育と密接にかかわる自然科学の分野を「生命科学基礎」として学びます。さらに、自然科学、人文社会科学、語学について複合的に学ぶことをとおして、自己問題提起・解決型の想像力を付けることを目的とした、「主題別選択Ⅰ・Ⅱ」と「主題別人文社会科学セミナー」の授業が行われます。

科目概要

1) 生命科学基礎（生物学・化学）

1年次の学習だけでは不十分であった生物学、化学の内容を補うとともに、生命科学に関するトピックも取り上げ、医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学ぶことで、基礎学力のさらなる充実を図り、専門教育への円滑につないでいくことを目的としています。

2) 主題別選択Ⅰ・Ⅱ

「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点の中から各自が1つの視点を選択し、その視点から「人間」を考えてみる授業です。3年次に行われる「主題別人文社会科学セミナー」へ向け、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけることを目的としています。

3) 主題別人文社会科学セミナー

各主題に別れて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導きます。自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分の考えを持つことが期待されています。

生命科学基礎

時間割番号	000501			
科目名	生命科学基礎(化学 A)	科目 ID	LA-210401-Z	
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO]			
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
主な講義場所 医学科講義室 1、共用講義室 2				
授業の目的、概要等 1 年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げるにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。				
授業の到達目標 生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができます。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	09:00-09:50		奈良 雅之
2	4/23	09:00-09:50		奈良 雅之
3	4/30	09:00-09:50		奈良 雅之
4	5/7	09:00-09:50		奈良 雅之
5	5/14	09:00-09:50		奈良 雅之
6	5/28	09:00-09:50		澤野 頼子
7	6/4	09:00-09:50		澤野 頼子
8	6/11	09:00-09:50		澤野 頼子
9	6/18	09:00-09:50		澤野 頼子
10	6/25	09:00-09:50		澤野 頼子
11	7/2	09:00-09:50		奈良 雅之
12	7/9	09:00-09:50		奈良 雅之
13	7/16	09:00-09:50		奈良 雅之
授業方法 主に講義形式で授業を行います。適宜、演習、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れます。				
授業内容 第 1 週から第 10 週はクラス分けなしで生命科学に関する生体高分子、反応速度論を学習します。 第 11 週から第 15 週は学科別で医学、歯学に関連した化学に関するトピックを学習します。				
成績評価の方法 評価: 試験 100% ・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。) 再評価: 有 再試験				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 予習: 授業で行う項目について、講義資料(WebClass に掲載)、教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。 復習: 授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。				

試験の受験資格

定期試験(考査)・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

生体分子化学／秋久俊博, 長田洋子 編,秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著,:共立出版, 2008

反応速度論／真船文隆, 廣川淳著,真船, 文隆,廣川, 淳,:裳華房, 2017

参考書

マクマリー有機化学(下)／JOHN McMURRY／著,伊東椒／訳者代表,児玉三明／訳者代表,McMurry, John,伊東 || 椒,児玉:東京化学同人, 2017

アトキンス生命科学のための物理化学／Peter Atkins, Julio de Paula 著,稲葉章, 中川敦史 訳,:東京化学同人, 2008

ライフサイエンス系の高分子化学 新版／宮下 徳治 (編著):三共出版, 2010

数学いらずの化学反応論 : 反応速度の基本概念を理解するために／齋藤勝裕著,齋藤, 勝裕,:化学同人, 2009

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一國, 雅巳, 1930-, :オーム社, 1995

履修上の注意事項

生命科学基礎の評価は、生物学、化学の総合評価で行う。前期の定期試験では化学、後期の定期試験では生物学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。

時間割番号	000502			
科目名	生命科学基礎(化学B)	科目ID	LA-210402-Z	
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行 [NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, KATSUMATA TOSHIYUKI]			
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
主な講義場所 共用講義室 2、医学科講義室 1				
授業の目的、概要等 1 年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。				
授業の到達目標 生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	09:00-09:50		奈良 雅之, 勝又 敏行
2	4/23	09:00-09:50		奈良 雅之, 勝又 敏行
3	4/30	09:00-09:50		奈良 雅之, 勝又 敏行
4	5/7	09:00-09:50		奈良 雅之, 勝又 敏行
5	5/14	09:00-09:50		奈良 雅之, 勝又 敏行
6	5/28	09:00-09:50		澤野 頼子, 勝又 敏行
7	6/4	09:00-09:50		澤野 頼子, 勝又 敏行
8	6/11	09:00-09:50		澤野 頼子, 勝又 敏行
9	6/18	09:00-09:50		澤野 頼子, 勝又 敏行
10	6/25	09:00-09:50		澤野 頼子, 勝又 敏行
11	7/2	09:00-09:50		澤野 頼子, 勝又 敏行
12	7/9	09:00-09:50		澤野 頼子, 勝又 敏行
13	7/16	09:00-09:50		澤野 頼子, 勝又 敏行
授業方法 主に講義形式で授業を行います。適宜、演習、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れます。				
授業内容 第 1 週から第 10 週はクラス別なしで生命科学に関する生体高分子、反応速度論を学習します。 第 11 週から第 15 週は学科別で医学、歯学に関連した化学に関するトピックを学習します。				
成績評価の方法 評価: 試験 100% ・レポート 0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。) 再評価: 有 再試験				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 予習: 授業で行う項目について、講義資料(WebClass に掲載)、教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。				

復習:授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。
試験の受験資格 定期試験(考査)・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
教科書 生体分子化学／秋久俊博, 長田洋子 編,秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著,: 共立出版, 2008 反応速度論／真船文隆, 廣川淳著,真船, 文隆,廣川, 淳,:裳華房, 2017
参考書 マクマリー有機化学(下)／JOHN McMURRY／著,伊東椒／訳者代表,児玉三明／訳者代表,McMurry, John,伊東 椒,児玉:東京化学同人, 2017 アトキンス生命科学のための物理化学／Peter Atkins, Julio de Paula 著,稲葉章, 中川敦史 訳,: 東京化学同人, 2008 ライフサイエンス系の高分子化学 新版／宮下 徳治 (編著):三共出版, 2010 数学いらずの化学反応論 : 反応速度の基本概念を理解するために／齋藤勝裕著,齋藤, 勝裕,: 化学同人, 2009 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一國, 雅巳, 1930-,,:オーム社, 1995
履修上の注意事項 生命科学基礎の評価は、生物学、化学の総合評価で行う。 前期の定期試験では化学、後期の定期試験では生物学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。

時間割番号	000505			
科目名	生命科学基礎(生物 A)	科目 ID	LA-210403-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜 1 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎 学力・思考力を身につける。				
主な講義場所 3 号館、医学科講義室 1				
授業の目的、概要等 1 年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスを取り上げるにより、専門教育の基礎となる部分を学習する。また、医歯学の専門と関わる教育の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。				
授業の到達目標 1)医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。 2)生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を深めることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/24	09:00-09:50		伊藤 正則
2	10/1	09:00-09:50		伊藤 正則
3	10/8	09:00-09:50		伊藤 正則
4	10/15	09:00-09:50		伊藤 正則
5	10/29	09:00-09:50		伊藤 正則
6	11/5	09:00-09:50		伊藤 正則
7	11/12	09:00-09:50		伊藤 正則
8	11/19	09:00-09:50		伊藤 正則
9	11/26	09:00-09:50		伊藤 正則
10	12/3	09:00-09:50		伊藤 正則
11	12/10	09:00-09:50		伊藤 正則
12	12/17	09:00-09:50		伊藤 正則
13	1/7	09:00-09:50		伊藤 正則
14	1/14	09:00-09:50		伊藤 正則
15	1/21	09:00-09:50		伊藤 正則
授業方法 基本的には講義形式による。アクティブラーニングとして、毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。次の講義においてこの問題点に対する答えを教員が説明する。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。				
授業内容 生命科学のトピックスを取り上げ、基本的な知識とその知識の発展性・応用性を説明する。				

成績評価の方法

評価: 試験による。生物学と化学の総合的評価による。前期の定期試験では生物学、後期の定期試験では化学の試験を行う。

試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。

再評価: 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

アクティブラーニングとして、知識が体系的になるようにノートを整理する等の複習を行うこと。質問があればアクションペーパーに記入すること。次週の授業で教員が質問に答える。

試験の受験資格

2/3 以上出席したものに試験の受験資格を与える。

教科書

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著, :裳華房, 2003

よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子 著,菅野純夫 監修, :羊土社, 2016

必要に応じて紹介する。

履修上の注意事項

出欠管理システムで出欠を記録する。

時間割番号	000506																																																																																		
科目名	生命科学基礎(生物B)	科目ID	LA-210404-Z																																																																																
担当教員	服部 淳彦[HATSUTORI ATSUIHIKO]																																																																																		
開講時期	2020 年度通年	対象年次	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																																																																			
授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスである『時間生物学・時間医療科学』を取り上げるにより、専門教育の基盤を学習する。また、医歯学の専門の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。																																																																																			
授業の到達目標 1) 医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。 2) 生命科学の基礎的な分野について自学自習を行い、理解を深めることができる。																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/24</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>2</td><td>10/1</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>3</td><td>10/8</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>4</td><td>10/15</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>5</td><td>10/29</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>6</td><td>11/5</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>7</td><td>11/12</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>8</td><td>11/19</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>9</td><td>11/26</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>10</td><td>12/3</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>11</td><td>12/10</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>12</td><td>12/17</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>13</td><td>1/7</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>14</td><td>1/14</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>15</td><td>1/21</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/24	09:00-09:50		服部 淳彦	2	10/1	09:00-09:50		服部 淳彦	3	10/8	09:00-09:50		服部 淳彦	4	10/15	09:00-09:50		服部 淳彦	5	10/29	09:00-09:50		服部 淳彦	6	11/5	09:00-09:50		服部 淳彦	7	11/12	09:00-09:50		服部 淳彦	8	11/19	09:00-09:50		服部 淳彦	9	11/26	09:00-09:50		服部 淳彦	10	12/3	09:00-09:50		服部 淳彦	11	12/10	09:00-09:50		服部 淳彦	12	12/17	09:00-09:50		服部 淳彦	13	1/7	09:00-09:50		服部 淳彦	14	1/14	09:00-09:50		服部 淳彦	15	1/21	09:00-09:50		服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/24	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
2	10/1	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
3	10/8	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
4	10/15	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
5	10/29	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
6	11/5	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
7	11/12	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
8	11/19	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
9	11/26	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
10	12/3	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
11	12/10	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
12	12/17	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
13	1/7	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
14	1/14	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
15	1/21	09:00-09:50		服部 淳彦																																																																															
授業方法 講義と一部グループワークや演習形式による。																																																																																			
授業内容 生命科学の中でも『時間生物学・時間医療科学』のトピックスを中心に、生命現象の背後にある『時間』という概念の基本的な知識とその発展・応用例を取り上げる。 1. 時間医療科学とは 2. 生体が示すリズム(自由継続リズム) 3. サーカディアンクロックの性質 4. サーカディアンクロックの存在部位																																																																																			

5.時計の存在部位の証明実験

6.時計遺伝子 1

7.時計遺伝子 2

8.体内時計からの出力系

9.メラトニン

10.概日リズム障害

11.フリーラジカルと活性酸素

12.フリーラジカルが関与する疾患

13.抗酸化物質

14.抗酸化酵素

15.まとめ

成績評価の方法

評価: 生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために

試験: 90%、授業内でのグループワークや演習への貢献度、質問への回答等: 10%

生物学と化学の各試験の成績を元に総合評価を行う。前期は生物学の試験、後期は化学の試験を行う。試験のいずれか1つでも受験しなかった場合は履修放棄とみなす。

再評価: 有(再試験の成績は60点を上限とする)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

講義の内容と関連のある書物を読むこと。

教科書

適宜関連するプリントを配布する。

参考書

時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著, 裳華房, 2003

主題別教育（医学科・歯学科）について

【目的】

人間とは何か。これまで、偉大な先人達が、「人間」の解明にあらゆる観点からいどみ、説明を試みてきました。それらは、「知」として蓄積され、私たちをさらなる思索へと導いてくれます。

あらゆる学問は、この人間について思索をめぐらせ、理論化しようとするところから始まったといってもよいでしょう。人間とは甚だ不可思議な、得体の知れない存在です。私たちは、このよく分からない人間として、よく分からない人間が構築する世界で、よく分からない人間と一緒に生きていかねばなりません。人間をめぐる思索は、自分自身の姿、あるいは自分たちが生きる世界の構造を明らかにしようとする営みにほかならず、人間として生きていく上での必然的行為であり、人間の宿命であるともいえます。

主題別教育は、この「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点から考えてみようという取り組みです。

ゴールは、3年次に行う「主題別人文社会科学セミナー」です。このセミナーでは、各主題に分かれて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導出します。1年次および2年次には、その準備として、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけます。

セミナー修了時には、みなさんは、自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分なりの考えを持つことになるでしょう。もちろん、それは「絶対的な正解」ではありません。しかし、各自が、3年間かけてたどりついた一つの「結論」です。

そして、この「結論」は、さらなる「新たな問い」を生みだし、「思索」を促し、「新たな結論」へとみなさんを導くでしょう。この、「問い」から「結論」へ、そして「新たな問い」へという、とどまるところを知らない学問のダイナミズムを体験すること、そして、自ら思索する力強さを身につけること、これが主題別教育の目的です。

ここでの取り組みは、将来、「人間」そのものを対象とすることになる医学・歯学系の皆さんを支える、大きな力となるはずです。

【5つの主題】

文化と人間	生命と人間	言語と人間	制度と人間	時間と人間
-------	-------	-------	-------	-------

各主題の目的は次の通りです。

文化と人間	文化とは、人間が創造し習得する精神的な価値の総体である。また、文化とは象徴的記号の体系である。そのような文化を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
生命と人間	人間を含むあらゆる生物には生命が宿っている。医療はその生命と常に向き合わなければならない。その生命の多様な現象と、それに対する人間の様々な認識のありようを理解することが目的である。

言語と人間	人間と動物とを区別する最大の要素は言語の使用にある。人間は言語によって、自らの世界を構築してきた。その言語に関する様々な事象を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
制度と人間	社会的生物である人間は、様々な制度に取り巻かれて生きている。その制度を相対的に理解することと、制度の構造を分析することによって、人間のありようを理解することが目的である。
時間と人間	人間は時間的存在であり、時間的拘束のもとに生きている。時間を相対的に理解し、その構造を明らかにすることによって、人間存在の本質を理解することが目的である。

上の5つの主題の中から、1つ選択します。各主題とも、定員は約30名です。

3年次の「主題別人文社会科学セミナー」は、この主題に分かれて開講されます。各セミナーは、1年次の人文社会科学科目の「主題に関連の深い科目」の担当者が担当する予定です（この1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」については、次の【各学年の履修について】で説明します）。

どの主題に進むかを決定する時期は、2年進級時です。1年生の2月に「希望調査」を取り、希望を考慮しながら、各主題とも約30名になるように振り分けます。

1年生の間に、色々な科目を履修しながら、自分がどの主題を選択するかを考えておいて下さい。

【各学年の履修について】

1年生：基盤の形成

必修科目・必修選択科目・自由選択科目などで、さまざまな分野の科目が開講されています。それらに取り組むことにより、それぞれの学問分野における基礎的な知識や、科学的な思考方法を身につけます。

同時に、人間に関する根源的な問いに対して、これまで人間自身がどのようにアプローチし、どのように理論化してきたのかということ学びます。そして、「問いの継続と発展」という学問のありようを理解します。

1年生は、このように3年生のセミナーに向けて基礎体力を養いながら、自分がどの主題に進むかを考える期間です。

特に、人文社会科学科目には、「主題に関連の深い科目」が設けられています（下表）。自分が進むかもしれないと思う主題については、その「主題に関連の深い科目」の中にある科目を、積極的に履修しておくことをお勧めします。

主題に関連の深い科目は次の通りです。各授業の内容については、それぞれのシラバスを参照して下さい。

主題	関連の深い科目
文化と人間	歴史学、社会学、文化人類学
生命と人間	哲学、倫理学、宗教学
言語と人間	文学、哲学、文化人類学
時間と人間	社会学、歴史学、社会思想史
制度と人間	法学、政治学

2・3年生前期：主題別選択科目―視点の拡充―

2・3年生では、前期の木曜日午前中に、「主題別選択科目」が開講されます。

「主題別選択科目」とは、主題について考察できる、様々な学問分野にまたがった複合的な内容の選択科目です。各科目とも、50分間の授業が7回行われます。2年生と3年生が合同で受講します。具体的には、各主題において、下表のような科目が開講されます。開講科目は、若干の変更の可能性があります。2年前期の前半8回、前期の後半7回、3年前期の前半8回、前期の後半7回にそれぞれ1科目ずつ履修します。自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から2科目以上を履修することが必要です。ただし、2年前期の前半・後半はいずれも、自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から履修しなければなりません。また、同一教員の科目を2回以上選択することはできません。前半8回と後半7回、合計2科目を履修して、1単位取得となります。

(例)「言語と人間」を選択した学生

→2年前期の前半8回「生物間のコミュニケーション」履修

〃 後半7回「フランス詩を読む」履修

(この2科目で1単位取得)

主題	主題別選択科目 (2020 年度開講)	
	2年の前期前半8回 (50分×8回)	2年の前期後半7回 (50分×7回)
文化と人間	戦争と科学 (田中) 現代社会と時間 (飯田) フランス文学を読む (中島) 日本とドイツの思想：入門 (シンチ) 中国語と中国文化 (包) 医歯系のための物理 (檜枝) 物理数学演習 (越野) 科学と疑似科学の境界 (奈良) 食品の科学 (澤野) Crazy Little Thing Called Love: Explorations in Literature and Science (チャンネル)	生命倫理を問いなおす (田中) ドロモロジーと人間(飯田) 民主主義を再考する (藤井) フランス詩を読む (中島) Leben und Werke を読む (シンチ) 中国社会の現在 (包) 情報社会と人間 (中口) タンパク質科学の光と影 (奈良)
生命と人間	医療の社会学 (藤井) 医歯系のための物理 (檜枝) 物理数学演習 (越野) 食品の科学 (澤野) 生物の中の糖 (勝又) 宇宙と生命 (服部) 生物間のコミュニケーション (伊藤) ヒトの脳と言語 (時本) 昆虫に見られる社会性の進化 (山崎) 生命科学と技術 (石野他)	人体・医療の物理 (檜枝) タンパク質科学の光と影 (奈良) 植物の科学 (澤野) 老化と寿命 (服部) 環境への適応 (伊藤) 英語で学ぶヒトの脳と言語 (時本) 昆虫の社会性の維持機構 (山崎) 生命科学と医学 (石野他)
言語と人間	フランス文学を読む (中島) 日本とドイツの思想：入門 (シンチ) 中国語と中国文化 (包) 情報機械と人間(中口) 生物間のコミュニケーション (伊藤) ヒトの脳と言語 (時本)	民主主義を再考する (藤井) フランス詩を読む (中島) Leben und Werke を読む (シンチ) 中国社会の現在 (包) 情報社会と人間 (中口) 人体・医療の物理 (檜枝) 微分方程式演習 (越野) 英語で学ぶヒトの脳と言語 (時本) Understanding Language and Society (チャンネル)
制度と人間	戦争と科学 (田中) 現代社会と時間 (飯田)	ドロモロジーと人間(飯田) 民主主義を再考する (藤井)

	医療の社会学（藤井） 日本とドイツの思想：入門（シンチ） 情報機械と人間（中口） 科学と疑似科学の境界（奈良） 昆虫に見られる社会性の進化（山崎）	Leben und Werke を読む（シンチ） 中国社会の現在（包） 情報社会と人間（中口） 人体・医療の物理（檜枝） 微分方程式演習（越野） 危険物の科学（勝又） 昆虫の社会性の維持機構（山崎）
時間と人間	小説に見る日本語の変化と多様性（近代偏）（平井） 医療の社会学（藤井） フランス文学を読む（中島） 日本とドイツの思想：入門（シンチ） 情報機械と人間（中口） 医歯系のための物理（檜枝） 食品の科学（澤野） 宇宙と生命（服部）	小説に見る日本語の変化と多様性（近代偏）（平井） 生命倫理を問いなおす（田中） 民主主義を再考する（藤井） フランス詩を読む（中島） Leben und Werke を読む（シンチ） 微分方程式演習（越野） タンパク質科学の光と影（奈良） 植物の科学（澤野） 老化と寿命（服部） 環境への適応（伊藤）

また、3年次に行われる主題別人文社会科学セミナーの担当者から、2年生の間にやっておくべき課題が提示される場合があります。2年生は、「主題別選択科目」を受講し、同時にその課題に取り組みながら、主題に関する視点の拡充をめざします。

3年生：主題別人文社会科学セミナー—思考の深化—

3年生では、主題ごとに、セミナーを受講します。

各主題の学生30人を、10人ずつのグループA・B・Cに分けます。セミナーは、このグループごとに、7回ずつ行われます。セミナーを担当する教員は、1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」担当教員の予定です。

セミナーと平行して、「医療と法」および「医療と社会」という二つの講義科目が7回ずつ開講されます。グループごとに「セミナー」「医療と法」「医療と社会」を7回ずつ受講します。そして、学年の最後に開講される「総括セミナー」において、主題に関する自らの取り組みをレポートにまとめます。「総括セミナー」は、主題ごとに30人全員が参加し、討論を経てレポート執筆に取り組みます。

グループ (各10人)	前 期		後 期	
	前半7回	後半7回	前半7回	後半7回
グループA	セミナー	医療と社会	医療と法	総括セミナー (セミナー論文執筆)
グループB	医療と法	セミナー	医療と社会	
グループC	医療と社会	医療と法	セミナー	

1年生において基礎力を身に付け、自ら問いを見出す意識を養い、2年生「主題別選択科目」において視野を広げてきました。3年生「主題別人文社会科学セミナー」では、それらを前提にして、問題を設定し結論の導出を目指します。

問題設定は、自らの興味や関心にもとづいて、担当教員のアドバイスを受けながら、学生それぞれが設定します。その問題について、調査や考察を行い、またその結果を他の受講生と共有して、問題点を指摘しあいながら結論を導き出すのが「セミナー」です。そして、これらを集大成するのが、「総括セミナー（セミナー論文執筆）」です。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」、ここがこの主題別教育のゴール地点となります。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」までの予定

4月2日(木)：各主題でオリエンテーション。

担当者より、セミナー計画・日程・セミナー論文の問題設定の仕方などについて説明。

4月9日(木)～11月12日(木)：セミナーと講義

11月19日(木)～2021年1月21日(木)：総括セミナー

2月4日(木)：提出締切(予定)

【今後の予定】

2年生 4月～9月 「主題別選択Ⅰ」受講

3年生 4月～9月 「主題別選択Ⅱ」受講

4月～3月 「主題別人文社会科学セミナー」受講

【成績・評価について】

主題別選択Ⅰ・Ⅱ 前半と後半をあわせてそれぞれ1単位。

原則としてレポート(80点)、授業への参加度(20点)で評価。

(筆記試験で評価する場合に、その旨を周知する。)

ただし、レポートの代替として、授業の最終日に試験を実施することがある。

主題別人文社会科学セミナーと講義 あわせて2単位

原則として講義における試験と総括セミナーにおけるレポート(80点)、授業への参加度(20点)で評価。

主題別選択 I・II

時間割番号	000907			
科目名	主題別選択Ⅰ（小説に見る日本語の変化と多様性(近代編)）	科目ID	LA-210501-Z	
担当教員	平井 裕香[HIRAI Yuuka]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 木曜2限 対象学科: 医学科・歯学科 受講資格: 「言語と人間」、「時間と人間」の主題であること 募集人数: 30 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する、1-3) 人間の歴史的営みを理解する、1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
授業の目的、概要等				
私たちの多くが日常的に使用している日本語は、通時的に不変でも、共時的に一定でもない。それは複雑な変化を経て現在のような形となり、現在においても重要な多様性を持っている。本授業では、日本語のそうした変化と多様性に、いくつかの小説を通して触れることを目的とする。言語の具体的現れのごく一部である「小説」が、日本語の変化と多様性にいかに関与してきたのかも、あわせて理解できるだろう。前半では比較的古い時代(これを仮に「近代」と呼ぼう)に焦点を当て、日本において「小説」というジャンルが新たに編成された事情を概観したうえで、書かれた時期を異にする三つの作品を取り上げる。自分が読んだ印象を、他者が読んだ印象や、教員が講義で提示する情報と突き合わせることで、表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係について、考察を深めてもらいたい。				
授業の到達目標				
(1)日本語の通時的な変化と共時的な多様性を知る。 (2)「小説」というジャンルの特異性を理解する。 (3)自分の考えを口頭あるいは文章で他者に伝達する。 (4)表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係を考察する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		平井 裕香
2	4/23	10:05-10:55		平井 裕香
3	4/30	10:05-10:55		平井 裕香
4	5/7	10:05-10:55		平井 裕香
5	5/14	10:05-10:55		平井 裕香
6	5/28	10:05-10:55		平井 裕香
7	6/4	10:05-10:55		平井 裕香
授業方法				
各回の前半約3分の2を教員による講義に、後半約3分の1をクラス全体での討論かリアクションペーパーの執筆にあてる。				
授業内容				
1) イントロダクション 2) 日本における近代「小説」ジャンルの編成 3) 明治時代の小説1 4) 明治時代の小説2 5) 大正時代の小説1 6) 大正時代の小説2 7) 昭和時代の小説1 8) 昭和時代の小説2 なお、各回の授業内容は、受講者の興味関心に即して変更する場合がある。				

成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(授業への積極的参加(討論での発言、リアクションペーパーの執筆など)) 40% 再評価： 有(再評価方法:レポート) 課題図書と各回の講義に対する応答を「授業への積極的参加」で、その総合と発展を「レポート」でそれぞれ評価する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 8回で計3作、2週間ごとに1作の小説を読むことを求める。各自が読んでいることを前提に、講義および討論を行う。 なお、課題として読む3作は、多少なりとも医療にかかわる短編とするつもりである。現在とは離れた時代の、形式も異なる作品となるが、そのかわりをきっかけにして関心を持ってもらいたい。
試験の受験資格 8回中3回以上の欠席で、レポート提出の資格を失うことを原則とする。
教科書 なし。課題として読む3作については、コピーを配布する予定。
参考書 安藤宏『日本近代小説史』中央公論新社、2015 年 柄谷行人『定本 日本近代文学の起源』岩波現代文庫、2008 年 川口良、角田史幸『日本語は誰のものか』吉川弘文館、2005 年 小森陽一『〈くらぎ〉の日本文学』日本放送出版協会、1998 年 柳父章『近代日本語の思想—翻訳文体成立事情』法政大学出版局、2004 年
履修上の注意事項 出欠管理システムより、教員がとる出欠を優先させる。

時間割番号	000893			
科目名	主題別選択Ⅰ（戦争と科学）	科目ID	LA-210503-Z	
担当教員	田中 智彦[TANAKA TOMOHIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
◇ 曜日・時間:木曜 2 限 ◇ 対象学科:医学科・歯学科 ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等 現代においては——とりわけ第一次世界大戦以降は——戦争と科学は切り離せなくなった。ペニシリンの開発史に示されるように、医学・医療も例外ではない。もちろん科学には多くの「光」の側面がある。だが同時に多くの「影」の側面もあるのであって、そのことに目を閉ざしてはならないはずだ。ではそうした「影」の側面はどこから生まれてくるのか。科学そのものからだろうか。研究者や技術者のふるまいからだろうか。そしてそうした問いに対する答えは、科学に、また研究者・技術者に、さらにどのような問いを投げかけることになるだろうか。この授業では戦争と科学の現代史をふまえながら、以上のような問いについて考えてゆくことにしたい。				
授業の到達目標 (1)現代の科学研究・科学技術の問題点について理解を深めること。 (2)研究者・技術者に求められる倫理の根拠と意味について理解を深めること。 (3)科学研究・科学技術の未来について批判的に思考する基礎を築くこと。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		田中 智彦
2	4/23	10:05-10:55		田中 智彦
3	4/30	10:05-10:55		田中 智彦
4	5/7	10:05-10:55		田中 智彦
5	5/14	10:05-10:55		田中 智彦
6	5/28	10:05-10:55		田中 智彦
7	6/4	10:05-10:55		田中 智彦
授業方法 授業はセミナー形式で進める。教科書は用いず、必要な文献・資料等はコピーして配布する。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。				
授業内容 (1)近代以降、戦争と科学はどのように結びつくことになったか。その特質、論理はどのようなものか。 (2)二度の世界大戦において、その論理の下で研究者・技術者は何を考え、どのようにふるまったか。 (3)こうしたことと現代の科学研究・科学技術との関係とは、またその問題とはどのようなものか。				
成績評価の方法 ◇評価:レポート 60％ 授業への参加度 40％(出席状況、議論への参加度など) ◇再評価:有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示 受講者には授業の中で、文献や資料(ドキュメンタリー等も含む)から歴史を知り、「なぜ」を問い、考えることが求められる。解説や議論はそうした問いや思考を深めるためにある。それゆえ解説・議論への能動的な関与と、そこで学んだことの				

積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。

試験の受験資格

◇ レポートの提出資格:原則として7回中5回以上の出席

教科書

教科書は用いない。必要な文献・資料等はコピーして配布する。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、毎授業時に教員がとる出欠とを併用する。

連絡先(メールアドレス)

田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田中 智彦:

前期:毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室

後期:第 1・第 3 水曜日 12:30～15:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000950			
科目名	主題別選択Ⅰ（現代社会と時間）	科目ID	LA-210541-Z	
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:10 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
授業の目的、概要等 M・エンデの『モモ』に登場する時間どろぼうは、つぎのように語る。「人間の時間を手中に収めれば、無限の権力を握ることができる」と。だが、時間はどのような意味で権力と言えるのだろうか。また、私たちは毎日のように時間に追われる生活を送っているが、たとえば、時間を節約するとはどういうことだろうか。そもそも節約などできるのだろうか。同じ1時間を長く感じたり短く感じたりするのはなぜだろうか。さらに、現代社会において自明なものとして表象される直線的な時間は、時間というものを適切に捉えているのだろうか。この授業では、私たちが自明視している時間概念に疑いの眼差しを向け、時間の本性に迫るとともに、人間の生死という問題についても目を向けたい。				
授業の到達目標 ・時間に関する基礎概念を身につける。 ・主観的時間と客観的時間との関係を理解する。 ・部分と全体とを関連づけて思考する技法を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		飯田 卓
2	4/23	10:05-10:55		飯田 卓
3	4/30	10:05-10:55		飯田 卓
4	5/7	10:05-10:55		飯田 卓
5	5/14	10:05-10:55		飯田 卓
6	5/28	10:05-10:55		飯田 卓
7	6/4	10:05-10:55		飯田 卓
授業方法 演習形式、アクティブラーニング				
授業内容 主として、文献講読もしくは受講者によるプレゼンテーションを予定している。参考書の欄に挙げた現代社会と時間に関する文献を用いて、以下の内容を中心に考察する予定である。 (1)権力としての時間 (2)量としての時間 (3)直線としての時間 (4)時間評価				
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加度——発表、質疑応答、小課題による) 100% 再評価: 有(レポートの予定)				

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

配布された文献は、次回までに精読しておいてください。

教科書

とくに必要ありません。

参考書

M.エンデ『モモ』岩波少年文庫(2005 年)、伊藤美登里『現代人と時間——もうみんないっしょではいられない』学文社(2008 年)、西本郁子『時間意識の近代——「時は金なり」の社会史』法政大学出版局(2006 年)、橋本毅彦・栗山茂彦編著『遅刻の誕生——近代における時間意識の形成』三元社(2001 年)、内山節『時間についての一二章——哲学における時間の問題』岩波書店(2011 年)、B.アダム『時間と社会理論』法政大学出版局(1997 年)等

履修上の注意事項

コメントシートを配布し、出欠をとります。

時間割番号	000604			
科目名	主題別選択Ⅰ（フランス文学を読む）	科目ID	LA-210509-Z	
担当教員	中島　ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7)人間の心への理解を深める				
主な講義場所 湯島				
授業の目的、概要等 16 世紀から現代に至るまでのフランス文学から、幾つかの作品の抜粋を読んでいます。フランス語の原文と共に、日本語訳を配付して解説しますので、フランス語履修者でなくても、文学やフランス文化に興味があれば受講できます。文学には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、言語活動が現実の「再現」である以上、そこに「自然」のままの現実の表現はありません。語り、時間、空間等に関する、時代や文化によっても変わるさまざまな約束事の中で、言語表現は成立します。また、どの「現実」を切り取り、言語として表現するかも時代によって変化します。この授業では、文学作品を通して文化や時代の中での「言語表現」を意識していただきたいと考えています。				
授業の到達目標 1)フランス文学のニュアンス・表現を味わう。 2)文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。 3)文学作品の、時代や文化による表現の違いを意識する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		中島　ひかる
2	4/23	10:05-10:55		中島　ひかる
3	4/30	10:05-10:55		中島　ひかる
4	5/7	10:05-10:55		中島　ひかる
5	5/14	10:05-10:55		中島　ひかる
6	5/28	10:05-10:55		中島　ひかる
7	6/4	10:05-10:55		中島　ひかる
授業方法 講義と演習による。 毎回、幾つかの文学作品の抜粋を講読します。作品に目を通して感想を述べていただいた後、教員が作品の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説します。その後には、はじめの感じ方とどう変わったか受講者の間で意見交換を行います。				
授業内容 8 回の授業ですので、フランス文学を網羅的に扱うことはできませんが、フランス文学の概要がわかるように代表的な文学作品とりあげます。以下の予定は受講者の興味により変更することもあります。 1)スタンダール、バルザック(19 世紀の社会と小説) 2)パスカル、モンテーニュ(モラリスト文学) 3)モリエール、ラシーヌ(フランス古典劇) 4)ラクロ(書簡体文学) 5)ルソー(自伝文学) 6)プルースト(時間の表現) 7)カミュ(現代文学)				

8)バルト(現代批評)
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20 % (授業への参加度) 再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください) フランス文学の中から作品を選び、授業で扱った内容を参考にしながら、自分なりに分析して頂くことで成績を評価します。 授業中に発言を求めますので、それについても 20%まで評価します。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を 目的とする授業ではありませんので、解説記事を写すのではなく、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたの かを分析したレポートを高く評価します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う教材をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめ ておくこと。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 プリントを配付する(PDF でメールアドレス宛に配信します)。
参考書 危険な関係／ラクロ 失われた時を求めて／ブルースト 異邦人／カミュ 赤と黒／スタンダール 告白／ルソー パンセ／パスカル ペルシャ人の手紙／モンテスキュー エセー／モンテーニュ ゴリオ爺さん／バルザック 嫉妬／アラン・ロブ＝グリエ
履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。
連絡先(メールアドレス) 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中島 ひかる:毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000964			
科目名	主題別選択Ⅰ（日本とドイツの思想：入門）	科目ID	LA-210547-Z	
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
前期前半				
・曜日・時間：木曜 2 限				
・対象学科：医学科・歯学科				
・受講資格：ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること				
・募集人数：3 年生とあわせて 20 人				
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：				
別表 1－1）言語を通じた人間の創造的営みを理解する				
別表 1－3）人間の歴史的営みを理解する				
別表 1－4）異なる空間の文化を理解する				
別表 3－4）外国文化を理解する				
主な講義場所				
湯島キャンパス				
3号棟4階演習室4－11, 12				
授業の目的、概要等				
日本で暮らしたドイツ人哲学者が、ドイツの読者に向けて書いた				
Japanisches Denken (『日本の思想』)という本を、原文で読んでいきます。				
原文を読む授業なので、ドイツ語の4単位を持っていない方は受講できません。				
時間数が少ないため、第1章の「神道」についての章だけを読むことになると思います。ある程度読めたら、著者の「神道」に関する理解と、自分たちの理解の違いについて議論できれば、と思います。				
授業の到達目標				
ドイツ人哲学者が、日本の思想についてどのようにドイツ語でドイツの読者に伝えようとしたかを考えることが目標です。				
最終回の第8回には、そこまで読んで訳した内容が理解できているか知るため、試験を行います。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
2	4/23	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
3	4/30	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
4	5/7	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
5	5/14	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
6	5/28	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
7	6/4	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
授業方法				
セミナー形式：毎回原文を読んで訳してもらい、理解できているか確認していきます。その後その内容について話し合います。				
授業内容				
初回：オリエンテーション：原文のコピーを配り、いきなり序文を読みます。著者についてドイツ語で説明があるからです。				
第2回から第7回まで：本文の第1章を辞書を使って訳していきます。毎回予習が必要です。1 年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。ある程度読んだら、理解できているか内容について話し合います。				
第8回：到達したところまで理解できているか確認するため、試験を行います。				
成績評価の方法				
毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。				
試験が 50 パーセント。				

再評価: 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 ・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習しておくといいです。他の参考書も活用するとよいです。 ・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。 ・毎回訳していきますので必ず電子辞書か独和辞典を持ってくるください。
試験の受験資格 原則 3 分の 2 以上出席
教科書 Japanisches Denken : der weltanschauliche Hintergrund des heutigen Japan／Robert Schinzinger: Erich Schmidt, 1983 ドイツの本で古いので、購入はせず、 コピーを配ります。
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆, 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, : 同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-SX7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 毎回出欠を取ります。 毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってくるください。 毎回指定された範囲を予習してきてください。
備考 連絡先(メールアドレス) schinzinger.las@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー SCHINZINGER EMI:毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000958			
科目名	主題別選択Ⅰ（中国語と中国文化）	科目ID	LA-210545-Z	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－3)人間の歴史的営みを理解する 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表3－4)外国文化を理解する				
主な講義場所 湯島				
授業の目的、概要等 言語は文化のキャリアーであります。民族、国家、社会制度、経済形態、価値観念、思考方式、風俗習慣等はそのいずれをとっても言語に反映されないものはないです。本授業では、中国語の語音と中国文化、漢字と中国文化、中国語の語彙と中国文化、中国語の文法と中国文化、中国語の数字と中国文化、氏名・別称・地名と中国文化、中国語と中国の生活風俗に関する内容などを紹介します。中国語の短文と共に、日本語訳を配付して解説するので、中国語履修者でなくても、中国文化に興味があれば受講できます。				
授業の到達目標 授業を通して、中国語と中国文化の関係を理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		BAO MIN
2	4/23	10:05-10:55		BAO MIN
3	4/30	10:05-10:55		BAO MIN
4	5/7	10:05-10:55		BAO MIN
5	5/14	10:05-10:55		BAO MIN
6	5/28	10:05-10:55		BAO MIN
7	6/4	10:05-10:55		BAO MIN
授業方法 講義と演習による。 事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2, 3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。				
授業内容 第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化 第2回 漢字と中国文化 第3回 中国語の語彙と中国文化 第4回 中国語の文法と中国文化 第5回 中国語の数字と中国文化 第6回 氏名・別称・地名と中国文化 第7回 中国語と中国の生活風俗 第8回 まとめ				
成績評価の方法 試験 0％ ・ レポート 70％ ・ その他(授業への参加度) 30％ 再評価：有（再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい）				

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 毎回プリントを配布する。中国語の原文を使い、日本語で説明するが、事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。
試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 魯宝元著(2006)『漢語與中国文化』、華語教学出版社 プリントを配布します。
参考書 中国文化 55 のキーワード／武田雅哉, 加部勇一郎, 田村容子 編著,武田, 雅哉, 1958-,加部, 勇一郎, 1973-,田村, 容子, 1975-,:ミネルヴァ書房, 2016 テーマで読み解く中国の文化／湯浅邦弘編著,湯浅, 邦弘,宮本, 一夫,横田, 恭三,中村, 未来,佐藤, 一好,宇田川, 幸則,古田, 茂美,浅見, 洋二,谷口, 高志,草野, 友子,福田, 一也,鶴成, 久章,椛島, 雅弘,川野, 明正,近藤, 浩之,渡邊, 英幸,町, 泉寿郎,合山, 林太郎,陶, 徳民,柿沼, 陽平,:ミネルヴァ書房, 2016 中国百科／中国国際放送局日本語部編訳 ; 王丹丹 [ほか] 翻訳,北京放送局日本語部,王, 丹丹,:科学出版社東京, 2016
履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。

時間割番号	000954			
科目名	主題別選択Ⅰ（昆虫にみられる社会性の進化）	科目 ID	LA-210543-Z	
担当教員	山崎 和久[YAMASAKI Kazuhisa]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科、歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表 2－3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る				
授業の目的、概要等				
ヒトは社会を高度に発達させ、現代まで繁栄してきた。社会性は哺乳類に限られた機構ではなく、実際には様々な分類群で見られる。そのなかでも昆虫は、最も社会性を多様に進化させた分類群の 1 つである。昆虫には親が子を守り育てる亜社会性から、繁殖階級と労働階級が分業する真社会性まで、多様な社会性の機構が存在する。そのなかでは、個体間の協働や繁殖競争などの特徴的な生態が見られる。本講義では真社会性を持つハチやアリの仲間を中心に、昆虫の多様な社会性とその進化について紹介する。彼らの社会とヒトの社会を比較し、その共通点と相違点について学ぶ。				
授業の到達目標				
昆虫をはじめとした生物にみられる社会の多様性について理解を深める。また、当該分野における研究手法を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		山崎 和久
2	4/23	10:05-10:55		山崎 和久
3	4/30	10:05-10:55		山崎 和久
4	5/7	10:05-10:55		山崎 和久
5	5/14	10:05-10:55		山崎 和久
6	5/28	10:05-10:55		山崎 和久
7	6/4	10:05-10:55		山崎 和久
授業方法				
講義形式と授業内での質疑応答				
授業内容				
第 1-4 回:社会性の成り立ち 第 5-7 回:社会性の多様化				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加) 30% 再評価: 有(レポート)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				

予習は教員が指定した回に限って要求する。教員が提示したキーワード等に対して、各人が自らの考えをまとめておく。各回の講義の終了後には、教員がアップロードするなどして資料を公開する。そのまとめの項目などを参考に、各人で復習する。意見や疑問点はリアクションペーパーに記述して教員に提出する。

教科書

指定なし。

参考書

- ・生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線:生物の不思議を解く— 大改訂版 酒井聡樹ほか(共立出版) 2012
- ・社会性昆虫の進化生態学 松本 忠夫、東正剛 共編(海遊舎) 1993
- ・社会性昆虫の進化生物学 東正剛、辻 和希 共編(海遊舎) 2011

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと授業中の点呼を併用する。また、3 分の 2 以上の出席を前提 とし、評価の対象とする。

時間割番号	000897			
科目名	主題別選択Ⅰ（情報機械と人間）	科目 ID	LA-210515-Z	
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1), 1-10), 2-1), 2-3), 4-4)				
対象主題(2年生):言語と人間, 制度と人間, 時間と人間				
授業の目的、概要等				
情報化社会とよばれる現代, すでに人工知能を搭載したロボットが会社やホテルの受付で柔軟な来客対応を魅せる時代となり, 人々は否が応でも情報機械との共生を迫られている。では現代の人々は, いかにして情報機械に順応しているのか。そもそも人間と機械とのコミュニケーションは成立しているのか。情報通信や情報機械について人文社会科学や工学などさまざまな観点から考察する。				
授業の到達目標				
情報と情報機械に対して自分なりの視点や立場を持ち, それを他人に説明し, 互いに議論・討論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		中口 悦史
2	4/23	10:05-10:55		中口 悦史
3	4/30	10:05-10:55		中口 悦史
4	5/7	10:05-10:55		中口 悦史
5	5/14	10:05-10:55		中口 悦史
6	5/28	10:05-10:55		中口 悦史
7	6/4	10:05-10:55		中口 悦史
授業方法				
講義と議論・討論を交えながら授業を進める。				
授業内容				
配付資料を基に, 情報と情報機械の理論的基礎を学習しながら, 互いに議論・討論を重ね, 各自の視点で考察を加える。				
授業計画				
(1) 情報という概念, 情報の定義				
(2) 情報と感知・認知・心理・行動				
(3) シヤノンとソシュールのモデル				
(4) 現代の情報通信システムの構造				
(5) 現代のコンピュータ・情報機械の仕組み				
(6) 情報機械と人間の対話は成立するか				
(7) 情報機械は人間に置き換われるか				
(8) まとめ, 情報とは何か				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20%				
再評価: 有				
レポートと授業への参加度を総合して成績評価を行う。授業への参加度は, 質疑応答や議論・討論への参加の積極性, 演習への取り組み具合などにより測る。期末にレポートを課し, この授業の内容に即したテーマに沿って, 学生個々の考えを問う。				
「試験の受験資格」を満たし, かつレポートを提出したもののみを, 評価の対象とする。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				

準備学習等についての具体的な指示 毎回の授業計画にあるトピックについて、疑問点などを事前にまとめて、授業に臨むこと。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席。
教科書 教科書は特に指定しない。資料は LMS で配付する。
参考書 情報理論／甘利俊一 著, 甘利, 俊一, 1936-, 筑摩書房, 2011 通信の数学的理論／クロード・E.シャノン, ワレン・ウィーバー 著, 植松友彦 訳, Shannon, Claude E, 1916-2001, Weaver, Warren, 1894-1978, 植松, 友彦, 筑摩書房, 2009 ソシユールと言語学 : コトバはなぜ通じるのか／町田健 著, 町田, 健, 1957-, 講談社, 2004 情報と自己組織性の理論 (オンデマンド版)／吉田民人: 東京大学出版会, 2012 生命と機械をつなぐ知 : 基礎情報学入門／西垣通 著, 西垣, 通, 1948-, 高陵社書店, 2012 人間機械論 : 人間の人間的な利用／ノーバート・ウィーナー [著], 鎮目恭夫, 池原止戈夫 訳, Wiener, Norbert, 1894-1964, 鎮目, 恭夫, 1925-2011, 池原, 止戈夫, 1904-1984, みすず書房, 2014 ノイマン・ゲーデル・チューリング／高橋昌一郎 著, 高橋, 昌一郎, 1959-, 筑摩書房, 2014 心と認知の情報学 : ロボットをつくる・人間を知る／石川幹人 著, 石川, 幹人, 1959-, 勁草書房, 2006 人工知能は人間を超えるか : ディープラーニングの先にあるもの／松尾豊 [著], 松尾, 豊, 1975-, KADOKAWA, 2015 AIに心は宿るのか／松原仁 著, 松原, 仁, 1959-, 集英社インターナショナル, 2018
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと, リアクションペーパーの提出を併用する。 LMS 上の資料を用いて授業を進めるので, タブレット等を持参すること。
連絡先(メールアドレス) 中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中口 悦史:前期:月・水 12:00～13:00, 後期:水・木 12:30～13:30, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)

時間割番号	000635			
科目名	主題別選択Ⅰ（医歯系のための物理）	科目 ID	LA-210517-Z	
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)別表2－2)別表2－4) 別表4－2)				
授業の目的、概要等 医療は物理学と大いに関係しています。例えば、人体の動きや歯の矯正治療は力学が関係しており、医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど現代医療技術は物理学者によって発見されました。本授業は講義形式で進め、医歯学に関係した物理について理解を深めていきます。				
授業の到達目標 医歯学に関係した物理を習得する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		檜枝 光憲
2	4/23	10:05-10:55		檜枝 光憲
3	4/30	10:05-10:55		檜枝 光憲
4	5/7	10:05-10:55		檜枝 光憲
5	5/14	10:05-10:55		檜枝 光憲
6	5/28	10:05-10:55		檜枝 光憲
7	6/4	10:05-10:55		檜枝 光憲
授業方法 講義と演習				
授業内容 1. 医歯系のための物理 1: 力学 2. 医歯系のための物理 2: 流体 3. 医歯系のための物理 3: 熱 4. 医歯系のための物理 4: 音 5. 医歯系のための物理 5: 光 6. 医歯系のための物理 6: 磁気 7. 医歯系のための物理 7: 放射線 8. まとめ				
成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらう演習内容(小レポート)によって評価する。 評価：レポート 80 % その他(授業の参加度) 20% 再評価: 無				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。				
参考書 生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,:共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X 線理解のために／本間康浩 著,:ブイツーソリューション, 2013				

医療系のための物理／佐藤幸一，藤城敏幸 著.：東京教学社，2013

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

連絡先(メールアドレス)

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000609			
科目名	主題別選択Ⅰ（物理数学演習）	科目ID	LA-210519-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間：時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 別表2－1） 別表4－2）				
授業の目的、概要等				
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学（特に微分方程式）を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。				
授業の到達目標				
問題演習をととして、数理科学的能力を高めること				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		越野 和樹
2	4/23	10:05-10:55		越野 和樹
3	4/30	10:05-10:55		越野 和樹
4	5/7	10:05-10:55		越野 和樹
5	5/14	10:05-10:55		越野 和樹
6	5/28	10:05-10:55		越野 和樹
7	6/4	10:05-10:55		越野 和樹
授業方法				
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を試験とする。				
授業内容				
・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習				
成績評価の方法				
評価：試験（期末考査）0%・レポート0%・その他（各講義での小テスト）100%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。				
参考書				
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版				
履修上の注意事項				
数学・物理学の双方に十分な能力を有することを前提としている。				
連絡先（メールアドレス）				
越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
越野 和樹:毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階				

時間割番号	000606																																										
科目名	主題別選択Ⅰ（科学と疑似科学の境界）	科目ID	LA-210521-Z																																								
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																										
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある教員による授業																																											
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																											
授業の目的、概要等 巷には「プラズマクラスターイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学(疑似科学)に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。																																											
授業の到達目標 授業の関連したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>4/30</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>5/7</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>5/14</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>5/28</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>6/4</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/16	10:05-10:55		奈良 雅之	2	4/23	10:05-10:55		奈良 雅之	3	4/30	10:05-10:55		奈良 雅之	4	5/7	10:05-10:55		奈良 雅之	5	5/14	10:05-10:55		奈良 雅之	6	5/28	10:05-10:55		奈良 雅之	7	6/4	10:05-10:55		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/16	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
2	4/23	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
3	4/30	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
4	5/7	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
5	5/14	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
6	5/28	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
7	6/4	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
授業方法 講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。																																											
授業内容 社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。																																											
成績評価の方法 評価: 試験0%・レポート80% その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価: 有 授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による																																											
準備学習等についての具体的な指示 予習: 配付資料、関連資料に目を通してください。 復習: 興味のある項目について、文献を調べてください。																																											
試験の受験資格																																											

・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)
教科書 なぜ疑似科学が社会を動かすか／石川幹人:PHP 新書, 2016
参考書 嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著,:文藝春秋, 2014 メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著,:名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010 科学と人間の不協和音／池内了 [著],:角川書店, 2012 活性酸素／高柳 輝夫 編,大坂 武男 編,大坂 武男 [ほか]共著,日本化学会 監修,:丸善 博士漂流時代 : 「余った博士」はどうなるか?／榎木英介 [著],:ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010 水素水とサビない身体／太田成男 著,:小学館, 2013 疑似科学入門／池内 了 著,:岩波書店
連絡先(メールアドレス) nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000611			
科目名	主題別選択Ⅰ（食品の科学）	科目ID	LA-210523-Z	
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－3)人間の歴史的営みを理解する 別表2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。				
授業の目的、概要等 食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。				
授業の到達目標 食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		澤野 頼子
2	4/23	10:05-10:55		澤野 頼子
3	4/30	10:05-10:55		澤野 頼子
4	5/7	10:05-10:55		澤野 頼子
5	5/14	10:05-10:55		澤野 頼子
6	5/28	10:05-10:55		澤野 頼子
7	6/4	10:05-10:55		澤野 頼子
授業方法 主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(PBL、課題発表など)を取り入れる。				
授業内容 食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。				
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。				
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)				
参考書 食品の科学／上野川修一, 田之倉優 編,:東京化学同人, 2005 食品学：食品成分と機能性／久保田紀久枝, 森光康次郎 編,久保田, 紀久枝, 1948-,森光, 康次郎, 1963-,:東京化学同人, 2016 ニューフードサイエンス／鮫島邦彦, 高橋史生 編著,鮫島, 邦彦, 1938-,高橋, 史生,:三共出版, 2005				

健康と食生活／吉田勉 編著, 吉田, 勉, 1927-, : 学文社, 2016

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒボクラテス 4 階

時間割番号	000612			
科目名	主題別選択Ⅰ（生物の中の糖）	科目ID	LA-210525-Z	
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る				
授業の目的、概要等 糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。最後に自分の興味を持った事柄について調べ、プレゼンテーションを行ってもらう。				
授業の到達目標 糖の性質と機能について基礎的な知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		勝又 敏行
2	4/23	10:05-10:55		勝又 敏行
3	4/30	10:05-10:55		勝又 敏行
4	5/7	10:05-10:55		勝又 敏行
5	5/14	10:05-10:55		勝又 敏行
6	5/28	10:05-10:55		勝又 敏行
7	6/4	10:05-10:55		勝又 敏行
授業方法 講義形式および一部アクティブラーニングを取り入れる。				
授業内容 1. 糖とは何か 2. 糖の種類、および構造、性質 3. 糖の分析法 4. 植物における糖 5. 人の中の糖1 6. 人の中の糖2 7. 糖と疾病				
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(発表を含む)等 50% アクティブラーニングを取り入れ以上の通りとする。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。				
参考書 コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [ほか編]鈴木康夫, 木全弘治 監訳,:丸善, 2010				
連絡先(メールアドレス) 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp				

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000613			
科目名	主題別選択Ⅰ（宇宙と生命）	科目ID	LA-210527-Z	
担当教員	服部 淳彦[HATSUTORI ATSUIHIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 1－5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。				
授業の目的、概要等 日本人が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無（微小）重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物（ヒトも含めて）に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。				
授業の到達目標 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		服部 淳彦
2	4/23	10:05-10:55		服部 淳彦
3	4/30	10:05-10:55		服部 淳彦
4	5/7	10:05-10:55		服部 淳彦
5	5/14	10:05-10:55		服部 淳彦
6	5/28	10:05-10:55		服部 淳彦
7	6/4	10:05-10:55		服部 淳彦
授業方法 セミナー形式による（各自に発表してもらう）。したがって、募集人数は15名をMAXとする。				
授業内容 国際宇宙ステーションと宇宙環境と生物（概論） 無（微小）重力がもたらす脊椎動物への影響 無（微小）重力がもたらす無脊椎動物への影響 無（微小）重力がもたらす植物への影響 重力感受機構 宇宙放射線 宇宙放射線の生物への影響 宇宙医学 宇宙医学が地上の医学にもたらすもの				
成績評価の方法 評価：その他 100％ 平常点（参加度）と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価： 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。				
連絡先（メールアドレス）				

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000614																																										
科目名	主題別選択Ⅰ（生物間のコミュニケーション）	科目ID	LA-210529-Z																																								
担当教員	伊藤 正則, 本田 陽子[ITO MASANORI, HONNDA Youko]																																										
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある教員による授業																																											
・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。																																											
授業の目的、概要等 この授業の目的は次の1)～4)である。 1)生物間におけるコミュニケーションの方法(ヒトによる言語を含む)とその制御メカニズムを理解する。 2)この分野における研究の現状を理解する。 3)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。 4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。																																											
授業の到達目標 1)生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状を説明することができる。 2)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 3)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。																																											
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr><tr><td>3</td><td>4/30</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr><tr><td>4</td><td>5/7</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr><tr><td>5</td><td>5/14</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr><tr><td>6</td><td>5/28</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr><tr><td>7</td><td>6/4</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/16	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則	2	4/23	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則	3	4/30	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則	4	5/7	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則	5	5/14	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則	6	5/28	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則	7	6/4	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/16	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
2	4/23	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
3	4/30	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
4	5/7	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
5	5/14	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
6	5/28	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
7	6/4	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
授業方法 講義形式で行う。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。アクティブラーニングとして、毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。自身でテーマを見つけ、レポートを作成する。																																											
授業内容 ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。																																											
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20% 再評価:有																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。																																											
準備学習等についての具体的な指示																																											

予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。
教科書 必要に応じて参考資料を配布する
参考書 脳とホルモンの行動学：行動神経内分泌学への招待：カラー版／近藤保彦，小川園子，菊水健史，山田一夫，富原一哉 編：西村書店，2010 はじめて学ぶ、脳の構成細胞と情報伝達の基盤／渡辺雅彦著：羊土社，2008-12 行動の神経生物学／ギュンター・K.H.ツープンク 著，山元大輔 訳，シュプリンガー・ジャパン，2007 化学受容の科学／東原和成編：化学同人，2012-02
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000615			
科目名	主題別選択Ⅰ（医療の社会学）	科目 ID	LA-210531-Z	
担当教員	藤井 達夫[FUJII TATSUO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医・歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、1-10)、2-4)				
授業の目的、概要等 この授業では、医療テクノロジーの発展の中で医療が理想とした社会像や、医療が実際に可能にした社会の仕組みを批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18 世紀から 20 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との間の根深く暗い関係を優生思想の観点から議論します。さらに、20 世紀後半に登場する新しい優生思想の影響下で現代の医療が目指す社会像を検討します。今年度は、「優生手術」を手掛かりに、優生思想と障害者問題にも焦点を当てる予定です。				
授業の到達目標 (1)人文科学・社会科学的な考察から得られる医療に対する知見を深めることができる。 (2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		藤井 達夫
2	4/23	10:05-10:55		藤井 達夫
3	4/30	10:05-10:55		藤井 達夫
4	5/7	10:05-10:55		藤井 達夫
5	5/14	10:05-10:55		藤井 達夫
6	5/28	10:05-10:55		藤井 達夫
7	6/4	10:05-10:55		藤井 達夫
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。				
授業内容 第 1 回 医療が描く理想社会——民族衛生から SDH へ 第 2 回 医療と優生思想 第 3 回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例 第 4 回 健康優良者からなる社会——日本の例 第 5 回 現代の優生思想とそのユートピア 第 6 回 生命が廃棄される社会における障害者 第 7 回 『青い芝の会』と障害者の自己決定権 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。				
成績評価の方法 評価： レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価： 有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				

準備学習等についての具体的な指示

必要があれば、授業内で適宜、指示します。

教科書

教科書は使用しません。

参考書

ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974 年)

カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008 年)

ジグムント・フロイト『近代とホロコースト』(大月書店、2006 年)

横塚晃一『母よ！殺すな』(生活書院、2007 年)

横田弘『障害者殺しの思想』(現代書館、2015 年)

優生手術に対する謝罪を求める会編『優生保護法が犯した罪』(現代書館、2018 年)

マイケル・マーモット『健康格差』(日本評論社、2017 年)

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000616			
科目名	主題別選択Ⅰ（ヒトの脳と言語）	科目ID	LA-210533-Z	
担当教員	時本 楠緒子[TOKIMOTO Naoko]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間： 木曜・2 限(10:05-10:55)				
対象学科： 医・歯学科				
募集人数： 25 人				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 1-7) 人間の心への理解を深める。				
授業の目的、概要等				
ヒトに特有の機能とされる言語。なぜヒトだけが言語を持つのでしょうか。講義では言語の機能および言語を可能にするヒトの脳構造と心的機能を概観し、子どもの言語獲得と脳神経系の発達から臨界期仮説を解説します。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。言語学、心理学、神経科学の側面から、言語への理解を深めていきます。				
授業の到達目標				
(1) 言語の機能とメカニズムを学び、言語コミュニケーションを担うヒトの脳構造について理解する。(2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。(3) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		時本 楠緒子
2	4/23	10:05-10:55		時本 楠緒子
3	4/30	10:05-10:55		時本 楠緒子
4	5/7	10:05-10:55		時本 楠緒子
5	5/14	10:05-10:55		時本 楠緒子
6	5/28	10:05-10:55		時本 楠緒子
7	6/4	10:05-10:55		時本 楠緒子
授業方法				
基本的に講義形式で行う。毎回の授業の初めにリアクションペーパーを利用した質疑や討論も予定している。				
授業内容				
4 月 2 日 言語とは				
4 月 9 日 言語の研究法				
4 月 16 日 言語獲得と脳				
4 月 23 日 言語獲得の臨界期				
4 月 30 日 言語の神経基盤				
5 月 7 日 言語の神経基盤(2)				
5 月 14 日 言語の生物学的起源				
5 月 28 日 言語と脳: 謎はどこまで解けたのか				
成績評価の方法				
評価 : 試験 % ・ レポート 70 % ・ その他(リアクションペーパー) 30 %				
再評価: 有(レポート) ・ 無				
成績評価の基準				

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は特に求めませんが、授業の理解が難しい場合は、適宜紹介する参考文献で復習してください。また、講義後に疑問点やコメントを書いて頂くリアクションペーパーをもとに解説や議論を行います。

教科書

指定しない

参考書

「カンデル神経科学」 金澤一郎 他監修, メディカルサイエンスインターナショナル, 2014. その他、講義中に随時紹介します

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000637			
科目名	主題別選択Ⅰ（Explorations in Literature Philosophy and Science）	科目 ID	LA-210540-Z	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
授業の目的、概要等				
What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		CANNELL DAVID
2	4/23	10:05-10:55		CANNELL DAVID
3	4/30	10:05-10:55		CANNELL DAVID
4	5/7	10:05-10:55		CANNELL DAVID
5	5/14	10:05-10:55		CANNELL DAVID
6	5/28	10:05-10:55		CANNELL DAVID
7	6/4	10:05-10:55		CANNELL DAVID
授業方法				
A mix of class discussion and mini-lecture				
授業内容				
Tentative Outline				
Week Date				
1 Orientation, Robert Nozick “Love’ s Bond”				
2 Nozick “Love’ s Bond”				
3 Poetry				
4 Poetry				
5 Hamabata “Crested Kimono”				
6 Fisher “Romantic Love: a mammalian brain system for mate choice”				
7 Fisher “Romantic Love: a mammalian brain system for mate choice”				
8 Wrap-up + Term Paper Interviews				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書				
Texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
Participation				
There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.				

Absence policy

Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.

Journal

Notebook, A-5 size

時間割番号	000911			
科目名	主題別選択Ⅰ（生命科学と技術）	科目 ID	LA-210537-Z	
担当教員	仁科 博史, 西村 栄美, 田賀 哲也, 三木 義男, 佐々木 雄彦, 樗木 俊聡, 田中 光一[NISHINA HIROSHI, NARA MASAYUKI, NISHIMURA EMI, TAGA TETSUYA, MIKI YOSHIO, SASAKI Takehiko, OTEKI TOSHIAKI, TANAKA KOICHI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科				
授業の目的、概要等				
難治疾患研究所は、難治疾患をその学理と応用の研究により克服し、人々の健康と社会の福祉に貢献することを理念とします。本研究所では、がん・感染症・生活習慣病など様々な難治疾患を対象として、ビッグデータ・ゲノム編集など最新の技術を駆使して基礎医学研究に取り組んでいます。本授業では、各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。生命科学を飛躍的に発展させたテクノロジーに力点を置いた研究を紹介します。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		仁科 博史,
2	4/23	10:05-10:55		田賀 哲也
3	4/30	10:05-10:55		西村 栄美
4	5/7	10:05-10:55		三木 義男,
5	5/14	10:05-10:55		樗木 俊聡
6	5/28	10:05-10:55		佐々木 雄彦
7	6/4	10:05-10:55		田中 光一
授業方法				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示				

時間割番号	000908			
科目名	主題別選択Ⅰ（小説に見る日本語の変化と多様性(現代編)）	科目ID	LA-210502-Z	
担当教員	平井 裕香[HIRAI Yuuka]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科・歯学科 受講資格:「言語と人間」、「文化と人間」の主題であること 募集人数:30 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する、1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る、1－9)市民としての倫理観を養う				
授業の目的、概要等 私たちの多くが日常的に使用している日本語は、通時的に不変でも、共時的に一定でもない。それは複雑な変化を経て現在のような形となり、現在においても重要な多様性を持っている。本授業では、日本語のそうした変化と多様性に、いくつかの小説を通して触れることを目的とする。言語の具体的現れのごく一部である「小説」が、日本語の変化と多様性にいかに関与しているのかも、あわせて理解できるだろう。後半では比較的新しい時代(これを仮に「現代」と呼ぼう)に焦点を当て、「日本語」に生じる問題や「日本語」という枠組みが生じてしまう問題に、異なる角度から向き合っている三つの作品を取り上げる。自分が読んだ印象を、他者が読んだ印象や、教員が講義で提示する情報と突き合わせることで、表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係について、考察を深めてもらいたい。				
授業の到達目標 (1)日本語の通時的な変化と共時的な多様性を知る。 (2)「小説」というジャンルの特異性を理解する。 (3)自分の考えを口頭あるいは文章で他者に伝達する。 (4)表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係を考察する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		平井 裕香
2	6/18	10:05-10:55		平井 裕香
3	6/25	10:05-10:55		平井 裕香
4	7/2	10:05-10:55		平井 裕香
5	7/9	10:05-10:55		平井 裕香
6	7/16	10:05-10:55		平井 裕香
7	9/3	11:10-12:00		平井 裕香
授業方法 各回の前半約3分の2を教員による講義に、後半約3分の1をクラス全体での討論かリアクションペーパーの執筆にあてる。				
授業内容 1)イントロダクション 2)メディアへの視線1 3)メディアへの視線2 4)さまざまな越境1 5)さまざまな越境2 6)方言という戦略1 7)方言という戦略2 なお、各回の授業内容は、受講者の興味関心に即して変更する場合がある。				
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(授業への積極的参加(討論での発言、リアクションペーパーの執筆な				

ど)) 40% 再評価: 有(再評価方法:レポート) 課題図書と各回の講義に対する応答を「授業への積極的参加」で、その総合と発展を「レポート」でそれぞれ評価する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 7回で計3作、2週間ごとに1作の小説を読むことを求める。各自が読んでいることを前提に、講義および討論を行う。 なお、課題として読む3作は、私たちが生きる現在の様々な事象を描いている。必ずしも医療とかかわらないが、それとは異なる観点から社会や自分自身について考えるきっかけにしてほしい。
試験の受験資格 7回中3回以上の欠席で、レポート提出の資格を失うことを原則とする。
教科書 なし。課題として読む3作については、コピーを配布する予定。
参考書 飯田祐子『彼女たちの文学—語りにくさと読まれること』名古屋大学出版会、2016 年 郭南燕(編著)『バイリンガルな日本語文学—多言語多文化のあいだ』三元社、2013 年 川口良、角田史幸『日本語は誰のものか』吉川弘文館、2005 年 斎藤美奈子『日本の同時代小説』岩波新書、2018 年 土田知則、青柳悦子『文学理論のプラクティス—物語・アイデンティティ・越境』新曜社、2001 年
履修上の注意事項 出欠管理システムより、教員がとる出欠を優先させる。

時間割番号	000894			
科目名	主題別選択Ⅰ（生命倫理を問いなおす）	科目ID	LA-210504-Z	
担当教員	田中 智彦[TANAKA TOMOHIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
◇ 曜日・時間: 木曜 2 限 ◇ 対象学科: 医学科・歯学科 ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-9) 市民としての倫理観を養う 別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等 生命(いのち)の倫理を問うとはどういうことだろうか。なるほどすでに生命倫理(bioethics)という制度と学問がある。そのおかげでこの半世紀に医学・医療は大きく変わった。患者の権利を守り、また治療・研究にルールを課す、さまざまな法律やガイドラインが作られた。そのことの意義は評価しなければならない。しかし他方で、そうした所定の手続きにしたがうことは、本来、倫理的に考え、判断し、行為することと同じではないこともたしかである。そこでこの授業では、あらためて「生命(いのち)」とは何か、「倫理」とは何か、という原点に立ち返りながら、今日の医学・医療で「問題」とされることのいくつかを検討してゆくことにしたい。				
授業の到達目標 (1)「倫理」と「法」の違いについて理解を深めること。 (2)その理解のもとに、生命倫理上の問題を批判的に再検討する視点を得ること。 (3)「いのち」について倫理的に思考するとはどういうことかを理解すること。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		田中 智彦
2	6/18	10:05-10:55		田中 智彦
3	6/25	10:05-10:55		田中 智彦
4	7/2	10:05-10:55		田中 智彦
5	7/9	10:05-10:55		田中 智彦
6	7/16	10:05-10:55		田中 智彦
7	9/3	11:10-12:00		田中 智彦
授業方法 授業はセミナー形式で進める。教科書は用いず、必要な文献・資料等はコピーして配布する。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。				
授業内容 (1)「倫理」と「法」はどのように違うのか。またなぜその違いが重要なのか。 (2)患者の権利や尊厳(そして時にいのちまでも)が深く損なわれた歴史は、何を教えるのか。 (3)こうしたことから生命倫理を省みるとき、その意義と限界はどのように評価されるか。				
成績評価の方法 ◇評価: レポート 60% 授業への参加度 40%(出席状況、議論への参加度など) ◇再評価: 有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示 受講者には授業の中で、文献や資料(ドキュメンタリー等も含む)から過去と現在を知り、「なぜ」を問い、考えることが求められる。解説や議論はそうした問いや思考を深めるためにある。それゆえ解説・議論への能動的な関与と、そこで学んだこ				

との積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。

試験の受験資格

◇ レポートの提出資格:原則として7回中5回以上の出席

教科書

教科書は用いない。必要な文献・資料等はコピーして配布する。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

連絡先(メールアドレス)

田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田中 智彦:

前期:毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室

後期:第1・第3水曜日 12:30～15:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000951			
科目名	主題別選択Ⅰ（ドロマロジーと人間）	科目ID	LA-210542-Z	
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:10 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
授業の目的、概要等 三大技術革命のなかでも情報革命は、実空間と実時間を極度に圧縮(無化)し、実物世界の基本構造を構成している個人と社会に、それ以前の革命とはまったく異なる質的变化を引き起こした。P・ヴィリリオは「速度」という観点からこのような質的变化を解明し、「今・ここ」ではない「いつか・どこか」の前方へと追い立てる原理(強制力)を「ドロマロジー」と呼んでいる。この授業では、国家や政治や社会の体制を、それゆえ社会的存在たる人間の生き方をその内部から規定し、突き動かす「ドロマロジー」の構造について考察し、現代社会における人間の生の意味について考えてみたい。				
授業の到達目標 ・ドロマロジーの基本構造について、社会制度(や制度が生み出す社会問題)と関わらせて理解する。 ・「今・ここ」の意味を問い直すことができる。 ・部分と全体とを関連づけて思考する技法を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		飯田 卓
2	6/18	10:05-10:55		飯田 卓
3	6/25	10:05-10:55		飯田 卓
4	7/2	10:05-10:55		飯田 卓
5	7/9	10:05-10:55		飯田 卓
6	7/16	10:05-10:55		飯田 卓
7	9/3	11:10-12:00		飯田 卓
授業方法 演習形式、アクティブラーニング				
授業内容 主として、文献講読もしくは受講者によるプレゼンテーションを予定している。参考書の欄に挙げたドロマロジーに関する文献を用いて、以下の内容を中心に考察する予定である。 (1)前望構造 (2)資本主義のハビトゥス (3)ドロマロジー (4)生きられる現在				
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加度——発表、質疑応答、小課題による) 100% 再評価: 有(レポートの予定)				
成績評価の基準				

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 配布された文献は、次回までに精読しておいてください。
教科書 とくに必要ありません。
参考書 P.ヴィリリオ『瞬間の君臨——リアルタイム世界の構造と人間社会の行方』新評論(2003 年)、P.ヴィリリオ『速度と政治——地政学から時政学へ』平凡社(2001 年)、P.ヴィリリオ『黄昏の夜明け——光速度社会の両義的現実と人類史の「今」』新評論(2019 年)、P.ブルデュー『資本主義のハビトゥス』(1993 年)、古東哲明『瞬間を生きる哲学——〈今ここ〉に佇む技法』筑摩書房(2011 年)、佐藤透『人生の意味の哲学——時と意味の探求』春秋社(2012 年)等
履修上の注意事項 コメントシートを配布し、出欠をとります。

時間割番号	000620			
科目名	主題別選択Ⅰ（フランス詩を読む）	科目ID	LA-210510-Z	
担当教員	中島　ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7)人間の心への理解を深める				
主な講義場所 湯島				
授業の目的、概要等 ルネサンス期から現代にいたるまでのフランスの代表的な詩を講読します。授業では、フランス語の原文と共に、できる限り日本語訳を配付して、言葉のニュアンスや詩の構造を解説していきますので、フランス語履修者でなくても、詩や文学に興味があれば受講できます。フランス語を学習した人は、原語で、使われている単語・表現のニュアンスをできるだけ味わって下さい。 詩(文学)には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、その感性の表現は、時代・文化の刻印を受けて変化もします。現代の若い皆さんの感性で、共感できる部分、理解しがたい部分を正直に受け止めることが、詩を味わう出発点となると考えます。その共感や違和感をもとに文化・時代の差を考えていただくこともこの授業の目的です。				
授業の到達目標 1)フランス詩のニュアンス・表現を味わう。 2)文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		中島　ひかる
2	6/18	10:05-10:55		中島　ひかる
3	6/25	10:05-10:55		中島　ひかる
4	7/2	10:05-10:55		中島　ひかる
5	7/9	10:05-10:55		中島　ひかる
6	7/16	10:05-10:55		中島　ひかる
7	9/3	11:10-12:00		中島　ひかる
授業方法 講義と演習による。 毎回、2、3篇の詩を講読します。最初に各自に簡単な解釈や感想を述べていただいた後、教員が詩の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説し、それを聞いた後、どのように感じ方が変わったかを再び話していただきます。				
授業内容 ロンサール、ラシーヌ、ボードレー、ヴェルレーヌ、ランボー、マラルメ、アポリネール等、できるだけ日本語訳のあるフランス詩を、各時代から幅広く選んで読んでいきます。 おおよその予定は以下の通りですが、受講者の反応や希望によって取り上げる詩と順序は変更します。 1 回目：授業の概要説明、ジャック・プレヴェール 2 回目：ヴェルレーヌ等 3 回目：アポリネール・ロンサール 4 回目：ランボー・ボードレー 5 回目：マラルメ、ヴァレリー 6 回目：ロマン派				

7 回目:現代詩、意見交換
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20 % (授業への参加度) 再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください) 授業中のコメント、並びに期末レポートで評価します。レポートは、自分の興味を持った詩(授業中に取り上げた詩でも、それ以外の詩でも構いません)を選び、分析して頂きます。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、レポート作成にあたっては解説記事を写すのではなく、授業中の教員の解説や他の人のコメントも参考にしながら、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析して下さい。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う詩をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 フランス名詩選／安藤元雄、入沢康夫、渋谷孝輔 編、:岩波書店、1998 プリントを配付する(PDF でメールアドレス宛に配信します)。
参考書 珊瑚集 : 仏蘭西近代抒情詩選／永井 荷風 訳、:岩波書店 上田敏全訳詩集／山内 義雄・ 矢野峰人 編、:岩波書店 悪の華／ボードレール 著、鈴木信太郎 著、:集英社 ヴァレリー詩集／ヴァレリー／著、鈴木 信太郎／訳、:岩波書店、1979 月下の一群 : 訳詩集／堀口大輔 訳、:岩波書店、2013 ロンサル詩集／ピエール・ド・ロンサル／〔著〕、井上究一郎／訳、:岩波書店、1989 ランボオ詩集／ランボオ〔著〕、中原中也 訳、:岩波書店、2013 地獄の季節／ランボー / 作、小林秀雄／訳、:岩波書店、2008 ヴェルレーヌ詩集／ヴェルレーヌ〔著〕、堀口 大輔 訳、:新潮社 アポリネール詩集／アポリネール／〔著〕、堀口大輔／訳、:新潮社、1985
履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。
連絡先(メールアドレス) 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中島 ひかる:毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000965			
科目名	主題別選択Ⅰ（Leben und Werke を読む）	科目 ID	LA-210548-Z	
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
前期後半				
・曜日・時間：木曜 2 限				
・対象学科：医学科・歯学科				
・受講資格：ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること				
・募集人数：3 年生とあわせて 20 人				
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：				
別表 1－1）言語を通じた人間の創造的営みを理解する				
別表 1－3）人間の歴史的営みを理解する				
別表 1－4）異なる空間の文化を理解する				
別表 3－4）外国文化を理解する				
主な講義場所				
湯島キャンパス				
3号棟4階演習室4－11, 12				
授業の目的、概要等				
日本で暮らしたドイツ人哲学者が、日本の読者に向けてドイツ語で書いた				
Leben und Werke という本を、原文で読んでいきます。				
原文を読む授業なので、ドイツ語の4単位を持っていない方は受講できません。				
時間数が少ないため、第1章の彼の半生の一部分だけを読むことになると思います。				
授業の到達目標				
19 世紀末期からのドイツでの生活を知り理解することを目的とします。				
そこまで読んだ内容が理解できているか確認するため、最終回に試験を行います。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
2	6/18	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
3	6/25	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
4	7/2	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
5	7/9	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
6	7/16	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
7	9/3	11:10-12:00		SCHINZINGER EMI
授業方法				
セミナー形式：毎回原文を読んで訳してもらい、理解できているか確認していきます。その後その内容について話し合います。				
授業内容				
初回：オリエンテーション：原文のコピーを配り、最初の部分を読みます。				
第2回から第6回まで：本文を辞書を使って訳していきます。毎回予習が必要です。1 年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。ある程度読んだら、理解できているか内容について話し合います。				
第7回：到達したところまで理解できているか確認するため、試験を行います。				
成績評価の方法				
毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。				
試験が 50 パーセント。				

再評価: 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 ・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習しておくといいです。他の参考書も活用するとよいです。 ・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。 ・毎回訳していきますので必ず電子辞書か独和辞典を持ってくるようにしてください。
試験の受験資格 原則 3 分の 2 以上出席
教科書 Robert Schinzinger 著 Leben und Werke 古い本ですのでコピーを配ります。
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆, 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, : 同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-SX7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 毎回出欠を取ります。 毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってくるようにしてください。 毎回指定された範囲を予習してきてください。
備考 連絡先(メールアドレス) schinzinger.las@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー SCHINZINGER EMI:毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000959			
科目名	主題別選択Ⅰ（中国社会的現在）	科目ID	LA-210546-Z	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表3－4)外国文化を理解する 別表3－5)国際情勢を理解する				
主な講義場所				
湯島				
授業の目的、概要等				
映像と資料を使いながら、中国の政治・経済・社会に関する最新のトピックを紹介します。本講義を通して現代中国のありのままの姿を理解することを目指します。日本語の資料を使うので、中国語履修者でなくても、中国社会に興味があれば受講できます。				
授業の到達目標				
授業を通して、中国社会を理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		BAO MIN
2	6/18	10:05-10:55		BAO MIN
3	6/25	10:05-10:55		BAO MIN
4	7/2	10:05-10:55		BAO MIN
5	7/9	10:05-10:55		BAO MIN
6	7/16	10:05-10:55		BAO MIN
7	9/3	11:10-12:00		BAO MIN
授業方法				
講義と演習による。				
事前に関心のあるトピックについて内容を調べておくこと。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。				
授業内容				
第1回 授業の概要説明、担当を決める。				
第2回 中国の素顔				
第3回 岐路に立つ米中関係				
第4回 一帯一路の大望とリスク				
第5回 一国二制度の行方				
第6回 14億人の消費革命				
第7回 まとめ				
成績評価の方法				
試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30%				
再評価:有（再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい）				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				

準備学習等についての具体的な指示

事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。

試験の受験資格

2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

教科書

: 明石書店

: 小学館

参考書

現代中国を知るための 52 章／藤野彰 編著, 藤野, 彰, 1955-, : 明石書店, 2018

習近平が変えた中国／天児慧 編著, 茅原郁生, 関志雄, 佐藤考一, 中兼和津次, 菱田雅晴, 毛里和子 著, 天児, 慧, 1947-, 茅原, 郁生, 1938-, 関, 志雄, 1957-, 佐藤, 考一, 1960-, : 小学館, 2018

幸福な監視国家・中国／梶谷懐, 高口康太 著, 梶谷, 懐, 1970-, 高口, 康太, 1976-, : NHK 出版, 2019

中国「強国復権」の条件 : 「一帯一路」の大望とリスク／柯隆 著, 柯, 隆, 1963-, : 慶應義塾大学出版会, 2018

履修上の注意事項

出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。

時間割番号	000955			
科目名	主題別選択Ⅰ（昆虫の社会性の維持機構）	科目ID	LA-210544-Z	
担当教員	山崎 和久[YAMASAKI Kazuhisa]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科、歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表 2－3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る				
授業の目的、概要等 社会性を持つ生物は個体間で協力行動をとる。この協力行動は単なる自己犠牲ではなく、自己の利益に繋がる適応的な行動という側面を持つ。ヒトが制度や法令に従って社会を維持することと同様に、他の生物も彼らの社会性を維持するための機構を持つ。本講義では昆虫のなかでも高度に社会性を進化させたハチ・アリ類を中心に、社会性の維持機構を紹介する。彼らがどのような制度に従うことで社会性を維持し得るのか、何が社会性を崩壊させる脅威になり得るのかを理解することで、ヒトが自らの社会を安定的に維持するためのヒントを学ぶ。				
授業の到達目標 昆虫をはじめとした生物の社会性の維持機構とその崩壊要因について理解を深める。そこから、ヒトが社会で生きる上での制度の重要性を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		山崎 和久
2	6/18	10:05-10:55		山崎 和久
3	6/25	10:05-10:55		山崎 和久
4	7/2	10:05-10:55		山崎 和久
5	7/9	10:05-10:55		山崎 和久
6	7/16	10:05-10:55		山崎 和久
7	9/3	11:10-12:00		山崎 和久
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答				
授業内容 第 1-4 回:社会性の成り立ち 第 5-7 回:社会性の維持と制度のかかわり				
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加) 30% 再評価: 有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				

予習は教員が指定した回に限って要求する。教員が提示したキーワード等に対して、各人が自らの考えをまとめておく。各回の講義の終了後には、教員がアップロードするなどして資料を公開する。そのまとめの項目などを参考に、各人で復習する。意見や疑問点はリアクションペーパーに記述して教員に提出する。
教科書 指定なし。
参考書 ・生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線:生物の不思議を解く— 大改訂版 酒井聡樹ほか(共立出版) 2012 ・社会性昆虫の進化生態学 松本 忠夫、東正剛 共編(海遊舎) 1993 ・社会性昆虫の進化生物学 東正剛、辻 和希 共編(海遊舎) 2011
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと授業中の点呼を併用する。また、3 分の 2 以上の出席を前提 とし、評価の対象とする。

時間割番号	000898			
科目名	主題別選択Ⅰ（情報社会と人間）	科目ID	LA-210516-Z	
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1), 1-7), 2-1), 2-3), 4-4)				
対象主題(2年生):文化と人間, 言語と人間, 制度と人間				
授業の目的、概要等				
情報化社会とよばれる現代, すでに対面よりもスマホの画面内のSNS上での会話が支配的な時代となり, 人々はネット社会とリアル社会の両面での生活を強いられている。では現代の人々は, ネット社会での生活にうまく適応できているのだろうか。そもそもコミュニケーションの本質とは何か。情報社会やコミュニケーションについて人文社会科学や医学などさまざまな観点から考察する。				
授業の到達目標				
情報と情報社会に対して自分なりの視点や立場を持ち, それを他人に説明し, 互いに議論・討論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		中口 悦史
2	6/18	10:05-10:55		中口 悦史
3	6/25	10:05-10:55		中口 悦史
4	7/2	10:05-10:55		中口 悦史
5	7/9	10:05-10:55		中口 悦史
6	7/16	10:05-10:55		中口 悦史
7	9/3	11:10-12:00		中口 悦史
授業方法				
講義と議論・討論を交えながら授業を進める。				
授業内容				
配付資料を基に, 情報と情報社会の理論的基礎を学習しながら, 互いに議論・討論を重ね, 各自の視点で考察を加える。				
授業計画				
(1) 情報という概念, 情報の定義				
(2) 情報と感知・認知・心理・行動				
(3) シヤノンとゾシュールのモデル				
(4) コミュニケーションの成立と言語の役割				
(5) うわさやデマの伝播				
(6) デジタル社会は仮想か現実か				
(7) まとめ・情報とは何か				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20%				
再評価: 有				
レポートと授業への参加度を総合して成績評価を行う。授業への参加度は, 質疑応答や議論・討論への参加の積極性, 演習への取り組み具合などにより測る。期末にレポートを課し, この授業の内容に即したテーマに沿って, 学生個々の考えを問う。				
「試験の受験資格」を満たし, かつレポートを提出したもののみを, 評価の対象とする。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示				

毎回の授業計画にあるトピックについて、疑問点などを事前にまとめて、授業に臨むこと。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席。
教科書 教科書は特に指定しない。資料は LMS で配付する。
参考書 情報理論／甘利俊一 著, 甘利, 俊一, 1936-, : 筑摩書房, 2011 通信の数学的理論／クロード・E. シャノン, ワレン・ウィーバー 著, 植松友彦 訳, Shannon, Claude E, 1916-2001, Weaver, Warren, 1894-1978, 植松, 友彦, : 筑摩書房, 2009 ソシユールと言語学 : コトバはなぜ通じるのか／町田健 著, 町田, 健, 1957-, : 講談社, 2004 情報と自己組織性の理論 (オンデマンド版)／吉田民人 : 東京大学出版会, 2012 生命と機械をつなぐ知 : 基礎情報学入門／西垣通 著, 西垣, 通, 1948-, : 高陵社書店, 2012 ケータイ化する日本語 : モバイル時代の“感じる”“伝える”“考える”／佐藤健二 著, 佐藤, 健二, 1957-, : 大修館書店, 2012 ケータイ社会論 = Understanding Keitai Society／岡田朋之, 松田美佐 編, 岡田, 朋之, 1965-, 松田, 美佐, 1968-, : 有斐閣, 2012 うわさとは何か : ネットで変容する「最も古いメディア」／松田美佐 著, 松田, 美佐, 1968-, : 中央公論新社, 2014 クチコミとネットワークの社会心理 : 消費と普及のサービスイノベーション研究／池田謙一 編, 池田, 謙一, 1955-, : 東京大学出版会, 2010 ウェブ社会のゆくえ : 〈多孔化〉した現実のなかで／鈴木謙介 著, 鈴木, 謙介, 1976-, : NHK 出版, 2013
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと, リアクションペーパーの提出を併用する。 LMS 上の資料を用いて授業を進めるので, タブレット等を持参すること。
連絡先(メールアドレス) 中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中口 悦史:前期:月・水 12:00～13:00, 後期:水・木 12:30～13:30, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)

時間割番号	000636			
科目名	主題別選択Ⅰ（人体・医療の物理）	科目ID	LA-210518-Z	
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)別表2－2)別表2－4) 別表4－2)				
授業の目的、概要等 生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きや歯の矯正治療は力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。また、X 線、MRI、重粒子線治療など多くの現代医療測定技術は物理学の成果です。本授業は講義形式で進め、人体や医歯学に関係した物理を学んでいきます。				
授業の到達目標 人体・医療に関係した物理を習得する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		檜枝 光憲
2	6/18	10:05-10:55		檜枝 光憲
3	6/25	10:05-10:55		檜枝 光憲
4	7/2	10:05-10:55		檜枝 光憲
5	7/9	10:05-10:55		檜枝 光憲
6	7/16	10:05-10:55		檜枝 光憲
7	9/3	11:10-12:00		檜枝 光憲
授業方法 講義と演習				
授業内容 1. 力学と人体・医療 2. 流体と人体・医療 3. 熱と人体・医療 4. 音と人体・医療 5. 光と人体・医療 6. 磁気と人体・医療 7. 放射線と人体・医療				
成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらう演習内容(小レポート)によって評価する。 評価：レポート 80 % その他(授業の参加度) 20% 再評価: 無				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。				
参考書 生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,:共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X 線理解のために／本間康浩 著,:ブイツーソリューション, 2013				

医療系のための物理／佐藤幸一，藤城敏幸 著.：東京教学社，2013

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

連絡先(メールアドレス)

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000625			
科目名	主題別選択Ⅰ（微分方程式演習）	科目ID	LA-210520-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間：時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 別表2－1） 別表4－2）				
授業の目的、概要等				
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学（特に微分方程式）を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。				
授業の到達目標				
問題演習をととして、数理科学的能力を高めること				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		越野 和樹
2	6/18	10:05-10:55		越野 和樹
3	6/25	10:05-10:55		越野 和樹
4	7/2	10:05-10:55		越野 和樹
5	7/9	10:05-10:55		越野 和樹
6	7/16	10:05-10:55		越野 和樹
7	9/3	11:10-12:00		越野 和樹
授業方法				
講義およびアクティブラーニング（演習や討論など）による				
授業内容				
・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習				
成績評価の方法				
評価：試験（期末考査）0%・レポート0%・その他（各講義での提出課題）100%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。				
参考書				
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版				
履修上の注意事項				
数学・物理学の双方に十分な能力を有することを前提としている。				
連絡先（メールアドレス）				
越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
越野 和樹:毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階				

時間割番号	000626			
科目名	主題別選択Ⅰ（タンパク質科学の光と影）	科目ID	LA-210522-Z	
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する。 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
授業の目的、概要等				
我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。				
授業の到達目標				
授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		奈良 雅之
2	6/18	10:05-10:55		奈良 雅之
3	6/25	10:05-10:55		奈良 雅之
4	7/2	10:05-10:55		奈良 雅之
5	7/9	10:05-10:55		奈良 雅之
6	7/16	10:05-10:55		奈良 雅之
7	9/3	11:10-12:00		奈良 雅之
授業方法				
講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。				
授業内容				
21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この18年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。				
成績評価の方法				
評価:試験0%・レポート 80%				
その他(授業への参加度 20%)				
再評価:有				
授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				

予習:配付資料に目を通してください。 復習:興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。
試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)
参考書 タンパク質の生命科学 : ポスト・ゲノム時代の主役／池内俊彦 著,,: 中央公論新社, 2001 ポストゲノム時代のタンパク質科学 : 構造・機能・ゲノミクス／Arthur M.Lesk 著,高木淳一 訳,,: 化学同人, 2007 入門構造生物学 : 放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く／高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編,,: 共立出版, 2010 タンパク質の構造と機能 : カラー図説／グレゴリー A. ベツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳,,: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005
連絡先(メールアドレス) nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000619			
科目名	主題別選択Ⅰ（植物の科学）	科目ID	LA-210524-Z	
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－3)人間の歴史的営みを理解する 別表1－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等 植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。				
授業の到達目標 植物を歴史的および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		澤野 頼子
2	6/18	10:05-10:55		澤野 頼子
3	6/25	10:05-10:55		澤野 頼子
4	7/2	10:05-10:55		澤野 頼子
5	7/9	10:05-10:55		澤野 頼子
6	7/16	10:05-10:55		澤野 頼子
7	9/3	11:10-12:00		澤野 頼子
授業方法 主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(PBL、課題発表など)を取り入れる。				
授業内容 植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。				
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。				
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)				
参考書 植物生理学／三村徹郎, 鶴見誠二 編著,:化学同人, 2009 ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三, 井上弘, 近藤矩朗 共編,:オーム社, 2009 植物生理学概論／桜井英博 [ほか] 共著,桜井, 英博,柴岡, 弘郎(1934-),高橋, 陽介,小関, 良宏,藤田, 知道(1964-),:培風館, 2017 新しい植物科学 : 環境と食と農業の基礎／神阪盛一郎, 谷本英一 共編,神阪, 盛一郎, 1940-,谷本, 英一,:培風館, 2010				

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000628			
科目名	主題別選択Ⅰ（危険物の科学）	科目ID	LA-210526-Z	
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。最後にグループ討論を行い安全について議論してもらう。				
授業の到達目標 危険物の安全な取扱方法を理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		勝又 敏行
2	6/18	10:05-10:55		勝又 敏行
3	6/25	10:05-10:55		勝又 敏行
4	7/2	10:05-10:55		勝又 敏行
5	7/9	10:05-10:55		勝又 敏行
6	7/16	10:05-10:55		勝又 敏行
7	9/3	11:10-12:00		勝又 敏行
授業方法 講義形式一部アクティブラーニングを取り入れる。				
授業内容 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 消火法について 4. 第1類～第2類の性質、事故事例等 5. 第3類～第4類の性質、事故事例等 6. 第5類～第6類の性質、事故事例等 7. グループ討論				
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(グループ討論などを含む)等 50% レポートの内容および授業への参加度を考慮し、以上の通りとする。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。				
参考書 基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著,大宮喜文, 若月薫 訳,.:共立出版, 2009				
連絡先(メールアドレス) 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp				

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000629			
科目名	主題別選択Ⅰ（老化と寿命）		科目 ID LA-210528-Z	
担当教員	服部 淳彦[HATSUTORI ATSUIHIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 1－5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。				
授業の目的、概要等 「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化に関連した病気についてははじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。				
授業の到達目標 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		服部 淳彦
2	6/18	10:05-10:55		服部 淳彦
3	6/25	10:05-10:55		服部 淳彦
4	7/2	10:05-10:55		服部 淳彦
5	7/9	10:05-10:55		服部 淳彦
6	7/16	10:05-10:55		服部 淳彦
7	9/3	11:10-12:00		服部 淳彦
授業方法 セミナー形式による（各自に発表してもらう）。したがって、募集人数は15名をMAXとする。				
授業内容 老化現象と老化の原因（概要） 骨と筋の老化 感覚器（視覚・聴覚）の老化 皮膚の老化 脳の老化 血管の老化 老化と遺伝子 老化と環境要因 抗加齢医学				
成績評価の方法 評価：その他 100％ 平常点（参加度）と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価： 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。				
連絡先（メールアドレス）				

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000608			
科目名	主題別選択Ⅰ（環境への適応）	科目ID	LA-210530-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）: 別表 1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する。 別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。				
授業の目的、概要等				
外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物ではほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。				
授業の到達目標				
1)生体の基本構造を説明することができる。 2)生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。 3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		伊藤 正則
2	6/18	10:05-10:55		伊藤 正則
3	6/25	10:05-10:55		伊藤 正則
4	7/2	10:05-10:55		伊藤 正則
5	7/9	10:05-10:55		伊藤 正則
6	7/16	10:05-10:55		伊藤 正則
7	9/3	11:10-12:00		伊藤 正則
授業方法				
基本的には講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。アクティブラーニングとして、必要であれば、その場で、インターネットにより情報検索を行う。疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。				
授業内容				
生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。				
成績評価の方法				
評価:試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20% 再評価:有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。				
準備学習等についての具体的な指示				
アクティブラーニングとして、予習では予め配布した参考資料(主に英語で書かれた論文)を読んでおくこと。授業内容について疑問点があれば、コメントシートに書く。次回の授業において疑問点について説明する。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。				

試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。
教科書 資料を配布する。
参考書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,: Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳,: 医学書院, 2005 はじめの一步のイラスト生理学：はじめて学ぶ人のための目で見える教科書／照井直人 編,: 羊土社, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000631			
科目名	主題別選択Ⅰ（民主主義を再考する）		科目 ID LA-210532-Z	
担当教員	藤井 達夫[FUJII TATSUO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医・歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、2-4)、3-5)				
授業の目的、概要等 民主主義は今、危機にあります。その危機は二つの方面から到来しています。一つは、民主主義国の国内から。欧米の民主主義諸国は軒並みポピュリズム化し、権威主義的自由主義に飲み込まれつつあります。もう一つは、中国をはじめとする非民主主義国の台頭です。非民主主義的権威主義国家の国際社会でのプレゼンスの増大は、外側から民主主義諸国を動揺させ始めています。「もしかして、民主主義は時代遅れなのか？」と。そこで、民主主義の理念と制度の基礎を押さえつつ、今年度は、世界のそして日本の民主主義が機能不全に陥った原因について検討します。批判の焦点は近代民主主義の制度的基礎である選挙と代表制度です。そしてポスト代表制度の民主主義はどうあるべきかについて議論することで、これからの私たちの社会を立て直す道筋を履修生の皆さんと一緒に考えます。				
授業の到達目標 (1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の社会が抱える問題について議論することができる。 (2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		藤井 達夫
2	6/18	10:05-10:55		藤井 達夫
3	6/25	10:05-10:55		藤井 達夫
4	7/2	10:05-10:55		藤井 達夫
5	7/9	10:05-10:55		藤井 達夫
6	7/16	10:05-10:55		藤井 達夫
7	9/3	11:10-12:00		藤井 達夫
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。				
授業内容 第1回 今の政治に満足か？ 第2回 古代の民主主義——クジと反支配 第3回 近代民主主義①——国民主権 第4回 近代民主主義②——代表制度 第5回 代表制度と選挙——その黄金期の社会的条件 第6回 代表制度の行き詰まりとその病理——ポピュリズムと二つの権威主義 第7回 ポスト代表制度の民主主義を構想する——参加と熟議 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。				
成績評価の方法 評価： レポート 80％ ・ その他(授業での取り組み) 20％				

再評価： 有(再評価方法)レポート
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。
教科書 藤井達夫『平成の正体』(イースト新書、2018 年)
参考書 齋藤純一『不平等を考える』(ちくま新書、2017 年) 水島治郎『ポピュリズムとは何か』(中公新書、2016 年) 待鳥聡史『代議制民主主義』(中公新書、2015 年) ヴァン・レイブルック『選挙制を疑う』(法政大学出版局、2019 年) S.レビツキー、D.ジブラット『民主主義の死に方』(新潮社、2018 年)
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000632			
科目名	主題別選択Ⅰ（英語で学ぶヒトの脳と言語）		科目 ID	LA-210534-Z
担当教員	時本 楠緒子[TOKIMOTO Naoko]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間： 木曜・2 限(10:05-10:55)				
対象学科： 医・歯学科				
募集人数： 25 人				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 1-7) 人間の心への理解を深める。 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。				
授業の目的、概要等				
地球上でヒトだけが言語を持ちます。この講義では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を学びます。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見も紹介します。講義は英語資料に基づき、日本語と英語で行い、言語学、心理学、神経科学の側面から、言語への理解を深めていきます。				
授業の到達目標				
(1) 言語の機能とメカニズムを学び、言語コミュニケーションを担うヒトの脳構造について理解する。(2) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶ。(3) 言語と脳に関する英語の文献を読み、議論する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		時本 楠緒子
2	6/18	10:05-10:55		時本 楠緒子
3	6/25	10:05-10:55		時本 楠緒子
4	7/2	10:05-10:55		時本 楠緒子
5	7/9	10:05-10:55		時本 楠緒子
6	7/16	10:05-10:55		時本 楠緒子
7	9/3	11:10-12:00		時本 楠緒子
授業方法				
初回から何度か講義を行う。以降は受講生が選んだテーマをもとに論文紹介と討論を行う。				
授業内容				
6 月 4 日 Overview of the human brain				
6 月 11 日 Language circuits in the brain				
6 月 18 日 Critical period for language learning				
6 月 25 日 Second-language and sign language				
7 月 2 日 Animal behavior similar to language				
7 月 9 日 Comparison between bird song and human language				
7 月 16 日 Comparison between behavior of primates and human language				
成績評価の方法				
評価：試験 0 % ・ レポート(英語) 60 % ・ その他(論文紹介) 40 %				
再評価： 有(レポート提出)				
成績評価の基準				

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義回の予習は求めませんが、授業の理解が難しい場合は、参考文献で復習してください。1人最低 1 本の論文を紹介してもらうため、早めに興味を絞って読む論文を決めておいてください。テーマの選択や論文検索については、適宜相談にのります。

教科書

指定しない

参考書

Principles of Neural Science, Fifth Edition, Eric R. Kandel et al., 2012 McGraw-Hill. その他、講義中に随時紹介します。

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000638			
科目名	主題別選択 I (Understanding Language and Society)	科目 ID	LA-210536-Z	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
Language is more than just a tool to communicate ideas or a skill to learn such as speaking a foreign language. Modern thinkers as diverse as George Lakoff, John Searle and Pierre Bourdieu have shown that language is primarily responsible for the creation of the social realities and imaginative worlds we live in. In this course we will read and discuss the writings of these thinkers and thereby enlarge our conception of language and the role it plays in modern life.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		CANNELL DAVID
2	6/18	10:05-10:55		CANNELL DAVID
3	6/25	10:05-10:55		CANNELL DAVID
4	7/2	10:05-10:55		CANNELL DAVID
5	7/9	10:05-10:55		CANNELL DAVID
6	7/16	10:05-10:55		CANNELL DAVID
7	9/3	11:10-12:00		CANNELL DAVID
授業方法				
A mix of class discussion and mini-lecture				
There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.				
*Each unexcused absence will affect the student’s overall course grade.				
授業内容				
Tentative Schedule				
Week				
1 Orientation, Metaphors We Live By (Lakoff)				
2 Metaphors We Live By (Lakoff)				
3 Mind, Language, and Society (Searle)				
4 Mind, Language, and Society (Searle)				
5 Language & Symbolic Power (Bourdieu)				
6 Language & Symbolic Power (Bourdieu)				
7 Matrix quiz, wrap-up, term paper interviews				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書				
Texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
クラス討論は英語				
教材は英語				
Absence policy				

Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.

Journal

Notebook, A-5 size

時間割番号	000912			
科目名	主題別選択Ⅰ（生命科学と医学）		科目 ID LA-210538-Z	
担当教員	仁科 博史, 伊藤 暢聡, 古川 哲史, 澁谷 浩司, 高地 雄太, 角田 達彦, 稲澤 譲治, 石野 史敏 [NISHINA HIROSHI, NARA MASAYUKI, ITO NOBUTOSHI, FURUKAWA TETSUSHI, SHIBUYA HIROSHI, KOUCHI Yuuta, TSUNODA TATSUHIKO, INAZAWA JIYOJI, ISHINO FUMITOSHI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科				
授業の目的、概要等				
難治疾患研究所は、難治疾患をその学理と応用の研究により克服し、人々の健康と社会の福祉に貢献することを理念とします。本研究所では、がん・感染症・生活習慣病など様々な難治疾患を対象として、再生医療・核酸医薬など最新の技術を駆使して基礎医学研究に取り組んでいます。 本授業では、各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。医療現場を意識した基礎研究を紹介します。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		古川 哲史
2	6/18	10:05-10:55		澁谷 浩司
3	6/25	10:05-10:55		高地 雄太
4	7/2	10:05-10:55		伊藤 暢聡
5	7/9	10:05-10:55		石野 史敏
6	7/16	10:05-10:55		角田 達彦
7	9/3	11:10-12:00		稲澤 譲治
授業方法				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示				

時間割番号	000913			
科目名	主題別選択Ⅱ（小説に見る日本語の変化と多様性(近代編)）	科目 ID	LA-310101-Z	
担当教員	平井 裕香[HIRAI Yuuka]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間: 木曜2限 対象学科: 医学科・歯学科 受講資格: 「言語と人間」、「時間と人間」の主題であること 募集人数: 30 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する、1－3) 人間の歴史的営みを理解する、1－5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
授業の目的、概要等				
私たちの多くが日常的に使用している日本語は、通時的に不変でも、共時的に一定でもない。それは複雑な変化を経て現在のような形となり、現在においても重要な多様性を持っている。本授業では、日本語のそうした変化と多様性に、いくつかの小説を通して触れることを目的とする。言語の具体的現れのごく一部である「小説」が、日本語の変化と多様性にいかに関与してきたのかも、あわせて理解できるだろう。前半では比較的古い時代(これを仮に「近代」と呼ぼう)に焦点を当て、日本において「小説」というジャンルが新たに編成された事情を概観したうえで、書かれた時期を異にする三つの作品を取り上げる。自分が読んだ印象を、他者が読んだ印象や、教員が講義で提示する情報と突き合わせることで、表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係について、考察を深めてもらいたい。				
授業の到達目標				
(1)日本語の通時的な変化と共時的な多様性を知る。 (2)「小説」というジャンルの特異性を理解する。 (3)自分の考えを口頭あるいは文章で他者に伝達する。 (4)表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係を考察する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		平井 裕香
2	4/23	10:05-10:55		平井 裕香
3	4/30	10:05-10:55		平井 裕香
4	5/7	10:05-10:55		平井 裕香
5	5/14	10:05-10:55		平井 裕香
6	5/28	10:05-10:55		平井 裕香
7	6/4	10:05-10:55		平井 裕香
授業方法				
各回の前半約3分の2を教員による講義に、後半約3分の1をクラス全体での討論かリアクションペーパーの執筆にあてる。				
授業内容				
1) イントロダクション 2) 日本における近代「小説」ジャンルの編成 3) 明治時代の小説1 4) 明治時代の小説2 5) 大正時代の小説1 6) 大正時代の小説2 7) 昭和時代の小説1 8) 昭和時代の小説2 なお、各回の授業内容は、受講者の興味関心に即して変更する場合がある。				

成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(授業への積極的参加(討論での発言、リアクションペーパーの執筆など)) 40% 再評価： 有(再評価方法:レポート) 課題図書と各回の講義に対する応答を「授業への積極的参加」で、その総合と発展を「レポート」でそれぞれ評価する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 8回で計3作、2週間ごとに1作の小説を読むことを求める。各自が読んでいることを前提に、講義および討論を行う。 なお、課題として読む3作は、多少なりとも医療にかかわる短編とするつもりである。現在とは離れた時代の、形式も異なる作品となるが、そのかわりをきっかけにして関心を持ってもらいたい。
試験の受験資格 8回中3回以上の欠席で、レポート提出の資格を失うことを原則とする。
教科書 なし。課題として読む3作については、コピーを配布する予定。
参考書 安藤宏『日本近代小説史』中央公論新社、2015 年 柄谷行人『定本 日本近代文学の起源』岩波現代文庫、2008 年 川口良、角田史幸『日本語は誰のものか』吉川弘文館、2005 年 小森陽一『〈くらぎ〉の日本文学』日本放送出版協会、1998 年 柳父章『近代日本語の思想—翻訳文体成立事情』法政大学出版局、2004 年
履修上の注意事項 出欠管理システムより、教員がとる出欠を優先させる。

時間割番号	000895			
科目名	主題別選択Ⅱ（戦争と科学）	科目 ID	LA-310103-Z	
担当教員	田中 智彦[TANAKA TOMOHIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
◇ 曜日・時間:木曜 2 限 ◇ 対象学科:医学科・歯学科 ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等 現代においては——とりわけ第一次世界大戦以降は——戦争と科学は切り離せなくなった。ペニシリンの開発史に示されるように、医学・医療も例外ではない。もちろん科学には多くの「光」の側面がある。だが同時に多くの「影」の側面もあるのであって、そのことに目を閉ざしてはならないはずだ。ではそうした「影」の側面はどこから生まれてくるのか。科学そのものからだろうか。研究者や技術者のふるまいからだろうか。そしてそうした問いに対する答えは、科学に、また研究者・技術者に、さらにどのような問いを投げかけることになるだろうか。この授業では戦争と科学の現代史をふまえながら、以上のような問いについて考えてゆくことにしたい。				
授業の到達目標 (1)現代の科学研究・科学技術の問題点について理解を深めること。 (2)研究者・技術者に求められる倫理の根拠と意味について理解を深めること。 (3)科学研究・科学技術の未来について批判的に思考する基礎を築くこと。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		田中 智彦
2	4/23	10:05-10:55		田中 智彦
3	4/30	10:05-10:55		田中 智彦
4	5/7	10:05-10:55		田中 智彦
5	5/14	10:05-10:55		田中 智彦
6	5/28	10:05-10:55		田中 智彦
7	6/4	10:05-10:55		田中 智彦
授業方法 授業はセミナー形式で進める。教科書は用いず、必要な文献・資料等はコピーして配布する。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。				
授業内容 (1)近代以降、戦争と科学はどのように結びつくことになったか。その特質、論理はどのようなものか。 (2)二度の世界大戦において、その論理の下で研究者・技術者は何を考え、どのようにふるまったか。 (3)こうしたことと現代の科学研究・科学技術との関係とは、またその問題とはどのようなものか。				
成績評価の方法 ◇評価:レポート 60％ 授業への参加度 40％(出席状況、議論への参加度など) ◇再評価:有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示 受講者には授業の中で、文献や資料(ドキュメンタリー等も含む)から歴史を知り、「なぜ」を問い、考えることが求められる。解説や議論はそうした問いや思考を深めるためにある。それゆえ解説・議論への能動的な関与と、そこで学んだことの				

積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。

試験の受験資格

◇ レポートの提出資格:原則として7回中5回以上の出席

教科書

教科書は用いない。必要な文献・資料等はコピーして配布する。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、毎授業時に教員がとる出欠とを併用する。

連絡先(メールアドレス)

田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田中 智彦:

前期:毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室

後期:第 1・第 3 水曜日 12:30～15:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000952			
科目名	主題別選択Ⅱ（現代社会と時間）	科目 ID	LA-310540-Z	
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:10 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
授業の目的、概要等 M・エンデの『モモ』に登場する時間どろぼうは、つぎのように語る。「人間の時間を手中に収めれば、無限の権力を握ることができる」と。だが、時間はどのような意味で権力と言えるのだろうか。また、私たちは毎日のように時間に追われる生活を送っているが、たとえば、時間を節約するとはどういうことだろうか。そもそも節約などできるのだろうか。同じ1時間を長く感じたり短く感じたりするのはなぜだろうか。さらに、現代社会において自明なものとして表象される直線的な時間は、時間というものを適切に捉えているのだろうか。この授業では、私たちが自明視している時間概念に疑いの眼差しを向け、時間の本性に迫るとともに、人間の生死という問題についても目を向けたい。				
授業の到達目標 ・時間に関する基礎概念を身につける。 ・主観的時間と客観的時間との関係を理解する。 ・部分と全体とを関連づけて思考する技法を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		飯田 卓
2	4/23	10:05-10:55		飯田 卓
3	4/30	10:05-10:55		飯田 卓
4	5/7	10:05-10:55		飯田 卓
5	5/14	10:05-10:55		飯田 卓
6	5/28	10:05-10:55		飯田 卓
7	6/4	10:05-10:55		飯田 卓
授業方法 演習形式、アクティブラーニング				
授業内容 主として、文献講読もしくは受講者によるプレゼンテーションを予定している。参考書の欄に挙げた現代社会と時間に関する文献を用いて、以下の内容を中心に考察する予定である。 (1)権力としての時間 (2)量としての時間 (3)直線としての時間 (4)時間評価				
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加度——発表、質疑応答、小課題による) 100% 再評価: 有(レポートの予定)				

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

配布された文献は、次回までに精読しておいてください。

教科書

とくに必要ありません。

参考書

M.エンデ『モモ』岩波少年文庫(2005 年)、伊藤美登里『現代人と時間——もうみんないっしょではいられない』学文社(2008 年)、西本郁子『時間意識の近代——「時は金なり」の社会史』法政大学出版局(2006 年)、橋本毅彦・栗山茂彦編著『遅刻の誕生——近代における時間意識の形成』三元社(2001 年)、内山節『時間についての一二章——哲学における時間の問題』岩波書店(2011 年)、B.アダム『時間と社会理論』法政大学出版局(1997 年)等

履修上の注意事項

コメントシートを配布し、出欠をとります。

時間割番号	000704			
科目名	主題別選択Ⅱ（フランス文学を読む）		科目 ID	LA-310109-Z
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1ー1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1ー6) 優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1ー7) 人間の心への理解を深める				
主な講義場所 湯島				
授業の目的、概要等 16 世紀から現代に至るまでのフランス文学から、幾つかの作品の抜粋を読んでいます。フランス語の原文と共に、日本語訳を配付して解説しますので、フランス語履修者でなくても、文学やフランス文化に興味があれば受講できます。文学には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、言語活動が現実の「再現」である以上、そこに「自然」のままの現実の表現はありません。語り、時間、空間等に関する、時代や文化によっても変わるさまざまな約束事の中で、言語表現は成立します。また、どの「現実」を切り取り、言語として表現するかも時代によって変化します。この授業では、文学作品を通して文化や時代の中での「言語表現」を意識していただきたいと考えています。				
授業の到達目標 1) フランス文学のニュアンス・表現を味わう。 2) 文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。 3) 文学作品の、時代や文化による表現の違いを意識する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		中島 ひかる
2	4/23	10:05-10:55		中島 ひかる
3	4/30	10:05-10:55		中島 ひかる
4	5/7	10:05-10:55		中島 ひかる
5	5/14	10:05-10:55		中島 ひかる
6	5/28	10:05-10:55		中島 ひかる
7	6/4	10:05-10:55		中島 ひかる
授業方法 講義と演習による。 毎回、幾つかの文学作品の抜粋を講読します。作品に目を通して感想を述べていただいた後、教員が作品の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説します。その後には、はじめの感じ方とどう変わったか受講者の間で意見交換を行います。				
授業内容 8 回の授業ですので、フランス文学を網羅的に扱うことはできませんが、フランス文学の概要がわかるように代表的な文学作品とりあげます。以下の予定は受講者の興味により変更することもあります。 1) スタンダール、バルザック(19 世紀の社会と小説) 2) パスカル、モンテーニュ(モラリスト文学) 3) モリエール、ラシーヌ(フランス古典劇) 4) ラクロ(書簡体文学) 5) ルソー(自伝文学) 6) プルースト(時間の表現)				

7)カミュ(現代文学)
8)バルト(現代批評)
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20%(授業への参加度) 再評価:有(再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください) フランス文学の中から作品を選び、授業で扱った内容を参考にしながら、自分なりに分析して頂くことで成績を評価します。 授業中に発言を求めますので、それについても20%まで評価します。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を 目的とする授業ではありませんので、解説記事を写すのではなく、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたの かを分析したレポートを高く評価します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う教材をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめ ておくこと。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 プリントを配付する(PDF でメールアドレス宛に配信します)。
参考書 危険な関係／ラクロ 失われた時を求めて／プルースト 異邦人／カミュ 赤と黒／スタンダール 告白／ルソー パンセ／パスカル ペルシャ人の手紙／モンテスキュー エセー／モンテーニュ ゴリオ爺さん／バルザック 嫉妬／アラン・ロブ＝グリエ
履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。
連絡先(メールアドレス) 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中島 ひかる:毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000966			
科目名	主題別選択Ⅱ（日本とドイツの思想：入門）		科目 ID	LA-310546-Z
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
前期前半				
・曜日・時間：木曜 2 限				
・対象学科：医学科・歯学科				
・受講資格：ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること				
・募集人数：2 年生とあわせて 20 人				
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：				
別表 1－1）言語を通じた人間の創造的営みを理解する				
別表 1－3）人間の歴史的営みを理解する				
別表 1－4）異なる空間の文化を理解する				
別表 3－4）外国文化を理解する				
主な講義場所				
湯島キャンパス				
3号棟4階演習室4－11, 12				
授業の目的、概要等				
日本で暮らしたドイツ人哲学者が、ドイツの読者に向けて書いた				
Japanisches Denken (『日本の思想』)という本を、原文で読んでいきます。				
原文を読む授業なので、ドイツ語の4単位を持っていない方は受講できません。				
時間数が少ないため、第1章の「神道」についての章だけを読むことになると思います。ある程度読めたら、著者の「神道」に関する理解と、自分たちの理解の違いについて議論できれば、と思います。				
授業の到達目標				
ドイツ人哲学者が、日本の思想についてどのようにドイツ語でドイツの読者に伝えようとしたかを考えることが目標です。				
最終回の第8回には、そこまで読んで訳した内容が理解できているか知るため、試験を行います。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
2	4/23	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
3	4/30	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
4	5/7	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
5	5/14	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
6	5/28	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
7	6/4	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
授業方法				
セミナー形式：毎回原文を読んで訳してもらい、理解できているか確認していきます。その後その内容について話し合います。				
授業内容				
初回：オリエンテーション：原文のコピーを配り、いきなり序文を読みます。著者についてドイツ語で説明があるからです。				
第2回から第7回まで：本文の第1章を辞書を使って訳していきます。毎回予習が必要です。1 年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。ある程度読んだら、理解できているか内容について話し合います。				
第8回：到達したところまで理解できているか確認するため、試験を行います。				
成績評価の方法				
毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。				
試験が 50 パーセント。				

再評価: 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 ・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習しておくといいです。他の参考書も活用するとよいです。 ・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。 ・毎回訳していきますので必ず電子辞書か独和辞典を持ってくるください。
試験の受験資格 原則 3 分の 2 以上出席
教科書 Japanisches Denken : der weltanschauliche Hintergrund des heutigen Japan／Robert Schinzinger: Erich Schmidt, 1983 ドイツの本で古いので、購入はせず、 コピーを配ります。
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆, 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, : 同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-SX7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 毎回出欠を取ります。 毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってくるください。 毎回指定された範囲を予習してきてください。
備考 連絡先(メールアドレス) schinzinger.las@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー SCHINZINGER EMI:毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000960			
科目名	主題別選択Ⅱ（中国語と中国文化）		科目 ID	LA-310544-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する				
別表1－3)人間の歴史的営みを理解する				
別表1－4)異なる空間の文化を理解する				
別表3－4)外国文化を理解する				
主な講義場所				
湯島				
授業の目的、概要等				
言語は文化のキャリアーであります。民族、国家、社会制度、経済形態、価値観、思考方式、風俗習慣等はそのいずれをとっても言語に反映されないものはないです。本授業では、中国語の語音と中国文化、漢字と中国文化、中国語の語彙と中国文化、中国語の文法と中国文化、中国語の数字と中国文化、氏名・別称・地名と中国文化、中国語と中国の生活風俗に関する内容などを紹介します。中国語の短文と共に、日本語訳を配付して解説するので、中国語履修者でなくても、中国文化に興味があれば受講できます。				
授業の到達目標				
授業を通して、中国語と中国文化の関係を理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		BAO MIN
2	4/23	10:05-10:55		BAO MIN
3	4/30	10:05-10:55		BAO MIN
4	5/7	10:05-10:55		BAO MIN
5	5/14	10:05-10:55		BAO MIN
6	5/28	10:05-10:55		BAO MIN
7	6/4	10:05-10:55		BAO MIN
授業方法				
講義と演習による。				
事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2, 3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。				
授業内容				
第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化				
第2回 漢字と中国文化				
第3回 中国語の語彙と中国文化				
第4回 中国語の文法と中国文化				
第5回 中国語の数字と中国文化				
第6回 氏名・別称・地名と中国文化				
第7回 中国語と中国の生活風俗				
第8回 まとめ				
成績評価の方法				
試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30%				
再評価: 有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)				

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 毎回プリントを配布する。中国語の原文を使い、日本語で説明するが、事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。
試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 魯宝元著(2006)『漢語與中国文化』、華語教学出版社 プリントを配布します。
参考書 中国文化 55 のキーワード／武田雅哉, 加部勇一郎, 田村容子 編著,武田, 雅哉, 1958-,加部, 勇一郎, 1973-,田村, 容子, 1975-,:ミネルヴァ書房, 2016 テーマで読み解く中国の文化／湯浅邦弘編著,湯浅, 邦弘,宮本, 一夫,横田, 恭三,中村, 未来,佐藤, 一好,宇田川, 幸則,古田, 茂美,浅見, 洋二,谷口, 高志,草野, 友子,福田, 一也,鶴成, 久章,椛島, 雅弘,川野, 明正,近藤, 浩之,渡邊, 英幸,町, 泉寿郎,合山, 林太郎,陶, 徳民,柿沼, 陽平,:ミネルヴァ書房, 2016 中国百科／中国国際放送局日本語部編訳 ; 王丹丹 [ほか] 翻訳,北京放送局日本語部,王, 丹丹,:科学出版社東京, 2016
履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。

時間割番号	000956			
科目名	主題別選択Ⅱ（昆虫にみられる社会性の進化）	科目 ID	LA-310542-Z	
担当教員	山崎 和久[YAMASAKI Kazuhisa]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科、歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表 2－3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る				
授業の目的、概要等				
ヒトは社会を高度に発達させ、現代まで繁栄してきた。社会性は哺乳類に限られた機構ではなく、実際には様々な分類群で見られる。そのなかでも昆虫は、最も社会性を多様に進化させた分類群の 1 つである。昆虫には親が子を守り育てる亜社会性から、繁殖階級と労働階級が分業する真社会性まで、多様な社会性の機構が存在する。そのなかでは、個体間の協働や繁殖競争などの特徴的な生態が見られる。本講義では真社会性を持つハチやアリの仲間を中心に、昆虫の多様な社会性とその進化について紹介する。彼らの社会とヒトの社会を比較し、その共通点と相違点について学ぶ。				
授業の到達目標				
昆虫をはじめとした生物にみられる社会の多様性について理解を深める。また、当該分野における研究手法を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		山崎 和久
2	4/23	10:05-10:55		山崎 和久
3	4/30	10:05-10:55		山崎 和久
4	5/7	10:05-10:55		山崎 和久
5	5/14	10:05-10:55		山崎 和久
6	5/28	10:05-10:55		山崎 和久
7	6/4	10:05-10:55		山崎 和久
授業方法				
講義形式と授業内での質疑応答				
授業内容				
第 1-4 回:社会性の成り立ち 第 5-7 回:社会性の多様化				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加) 30% 再評価: 有(レポート)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				

予習は教員が指定した回に限って要求する。教員が提示したキーワード等に対して、各人が自らの考えをまとめておく。各回の講義の終了後には、教員がアップロードするなどして資料を公開する。そのまとめの項目などを参考に、各人で復習する。意見や疑問点はリアクションペーパーに記述して教員に提出する。
教科書 指定なし。
参考書 ・生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線:生物の不思議を解く— 大改訂版 酒井聡樹ほか(共立出版) 2012 ・社会性昆虫の進化生態学 松本 忠夫、東正剛 共編(海遊舎) 1993 ・社会性昆虫の進化生物学 東正剛、辻 和希 共編(海遊舎) 2011
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと授業中の点呼を併用する。また、3 分の 2 以上の出席を前提 とし、評価の対象とする。

時間割番号	000899			
科目名	主題別選択Ⅱ（情報機械と人間）		科目 ID	LA-310115-Z
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1), 1-10), 2-1), 2-3), 4-4)				
授業の目的、概要等				
情報化社会とよばれる現代、すでに人工知能を搭載したロボットが会社やホテルの受付で柔軟な来客対応を魅せる時代となり、人々は否が応でも情報機械との共生を迫られている。では現代の人々は、いかにして情報機械に順応しているのか。そもそも人間と機械とのコミュニケーションは成立しているのか。情報通信や情報機械について人文社会科学や工学などさまざまな観点から考察する。				
授業の到達目標				
情報と情報機械に対して自分なりの視点や立場を持ち、それを他人に説明し、互いに議論・討論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		中口 悦史
2	4/23	10:05-10:55		中口 悦史
3	4/30	10:05-10:55		中口 悦史
4	5/7	10:05-10:55		中口 悦史
5	5/14	10:05-10:55		中口 悦史
6	5/28	10:05-10:55		中口 悦史
7	6/4	10:05-10:55		中口 悦史
授業方法				
講義と議論・討論を交えながら授業を進める。				
授業内容				
配付資料を基に、情報と情報機械の理論的基礎を学習しながら、互いに議論・討論を重ね、各自の視点で考察を加える。				
授業計画				
(1) 情報という概念、情報の定義				
(2) 情報と感知・認知・心理・行動				
(3) シヤノンとソシュールのモデル				
(4) 現代の情報通信システムの構造				
(5) 現代のコンピュータ・情報機械の仕組み				
(6) 情報機械と人間の対話は成立するか				
(7) 情報機械は人間に置き換われるか				
(8) まとめ、情報とは何か				
成績評価の方法				
評価：試験 0%・レポート 80%・その他(授業への参加度) 20%				
再評価：有				
レポートと授業への参加度を総合して成績評価を行う。授業への参加度は、質疑応答や議論・討論への参加の積極性、演習への取り組み具合などにより測る。期末にレポートを課し、この授業の内容に即したテーマに沿って、学生個々の考えを問う。				
「試験の受験資格」を満たし、かつレポートを提出したもののみを、評価の対象とする。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示				

毎回の授業計画にあるトピックについて、疑問点などを事前にまとめて、授業に臨むこと。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席。
教科書 教科書は特に指定しない。資料は LMS で配付する。
参考書 情報理論／甘利俊一 著,甘利, 俊一, 1936-,:筑摩書房, 2011 通信の数学的理論／クロード・E.シャノン, ワレン・ウィーバー 著,植松友彦 訳,Shannon, Claude E, 1916-2001,Weaver, Warren, 1894-1978,植松, 友彦,:筑摩書房, 2009 ソシュールと言語学：コトバはなぜ通じるのか／町田健 著,町田, 健, 1957-,:講談社, 2004 情報と自己組織性の理論（オンデマンド版）／吉田民人:東京大学出版会, 2012 生命と機械をつなぐ知：基礎情報学入門／西垣通 著,西垣, 通, 1948-,:高陵社書店, 2012 人間機械論：人間の人間的な利用／ノーバート・ウィーナー [著],鎮目恭夫, 池原止戈夫 訳,Wiener, Norbert, 1894-1964, 鎮目, 恭夫, 1925-2011,池原, 止戈夫, 1904-1984,:みすず書房, 2014 ノイマン・ゲーデル・チューリング／高橋昌一郎 著,高橋, 昌一郎, 1959-,:筑摩書房, 2014 心と認知の情報学：ロボットをつくる・人間を知る／石川幹人 著,石川, 幹人, 1959-,:勁草書房, 2006 人工知能は人間を超えるか：ディープラーニングの先にあるもの／松尾豊 [著],松尾, 豊, 1975-,:KADOKAWA, 2015 AIに心は宿るのか／松原仁 著,松原, 仁, 1959-,:集英社インターナショナル, 2018
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、リアクションペーパーの提出を併用する。 LMS 上の資料を用いて授業を進めるので、タブレット等を持参すること。
連絡先(メールアドレス) 中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中口 悦史:前期:月・水 12:00～13:00, 後期:水・木 12:30～13:30, いずれも国府台・ヒボ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)

時間割番号	000736			
科目名	主題別選択Ⅱ（医歯系のための物理）	科目 ID	LA-310117-Z	
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)別表2－2)別表2－4) 別表4－2)				
授業の目的、概要等 医療は物理学と大いに関係しています。例えば、人体の動きや歯の矯正治療は力学が関係しており、医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど現代医療技術は物理学者によって発見されました。本授業は講義形式で進め、医歯学に関係した物理について理解を深めていきます。				
授業の到達目標 医歯学に関係した物理を習得する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		檜枝 光憲
2	4/23	10:05-10:55		檜枝 光憲
3	4/30	10:05-10:55		檜枝 光憲
4	5/7	10:05-10:55		檜枝 光憲
5	5/14	10:05-10:55		檜枝 光憲
6	5/28	10:05-10:55		檜枝 光憲
7	6/4	10:05-10:55		檜枝 光憲
授業方法 講義と演習				
授業内容 1. 医歯系のための物理 1: 力学 2. 医歯系のための物理 2: 流体 3. 医歯系のための物理 3: 熱 4. 医歯系のための物理 4: 音 5. 医歯系のための物理 5: 光 6. 医歯系のための物理 6: 磁気 7. 医歯系のための物理 7: 放射線 8. まとめ				
成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらう演習内容(小レポート)によって評価する。 評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20% 再評価: 無				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。				
参考書 生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,:共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ : 超音波、磁気共鳴、X 線理解のために／本間康浩 著,:ブイツーソリューション, 2013				

医療系のための物理／佐藤幸一，藤城敏幸 著.：東京教学社，2013

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

連絡先(メールアドレス)

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000709			
科目名	主題別選択Ⅱ（物理数学演習）	科目 ID	LA-310119-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間：時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 別表2－1） 別表4－2）				
授業の目的、概要等				
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学（特に微分方程式）を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。				
授業の到達目標				
問題演習をととして、数理科学的能力を高めること				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		越野 和樹
2	4/23	10:05-10:55		越野 和樹
3	4/30	10:05-10:55		越野 和樹
4	5/7	10:05-10:55		越野 和樹
5	5/14	10:05-10:55		越野 和樹
6	5/28	10:05-10:55		越野 和樹
7	6/4	10:05-10:55		越野 和樹
授業方法				
講義およびアクティブラーニング（演習や討論など）による				
授業内容				
・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習				
成績評価の方法				
評価：試験（期末考査）0％・レポート0％・その他（各講義での提出課題）100％				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。				
参考書				
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版				
履修上の注意事項				
数学・物理学の双方に十分な能力を有することを前提としている。				
連絡先（メールアドレス）				
越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
越野 和樹:毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階				

時間割番号	000706																																										
科目名	主題別選択Ⅱ（科学と疑似科学の境界）	科目 ID	LA-310121-Z																																								
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																										
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある教員による授業																																											
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																											
授業の目的、概要等 巷には「プラズマクラスターイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学(疑似科学)に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。																																											
授業の到達目標 授業の関係したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>4/30</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>5/7</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>5/14</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>5/28</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>6/4</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/16	10:05-10:55		奈良 雅之	2	4/23	10:05-10:55		奈良 雅之	3	4/30	10:05-10:55		奈良 雅之	4	5/7	10:05-10:55		奈良 雅之	5	5/14	10:05-10:55		奈良 雅之	6	5/28	10:05-10:55		奈良 雅之	7	6/4	10:05-10:55		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/16	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
2	4/23	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
3	4/30	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
4	5/7	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
5	5/14	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
6	5/28	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
7	6/4	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
授業方法 講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。特に3年生の皆さんには積極的に参加して頂き、2年生を引っ張ってほしいと思います。																																											
授業内容 社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。																																											
成績評価の方法 評価: 試験0%・レポート80% その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況) 再評価: 有 授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による																																											
準備学習等についての具体的な指示 予習: 配付資料、関連資料に目を通してください。 復習: 興味のある項目について、文献を調べてください。																																											
試験の受験資格																																											

・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)
教科書 なぜ疑似科学が社会を動かすか／石川幹人:PHP 新書, 2016
参考書 嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著,:文藝春秋, 2014 メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著,:名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010 科学と人間の不協和音／池内了 [著],:角川書店, 2012 活性酸素／高柳 輝夫 編,大坂 武男 編,大坂 武男 [ほか]共著,日本化学会 監修,:丸善 博士漂流時代 : 「余った博士」はどうなるか?／榎木英介 [著],:ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010 水素水とサビない身体／太田成男 著,:小学館, 2013 疑似科学入門／池内 了 著,:岩波書店, 2008
連絡先(メールアドレス) nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000711			
科目名	主題別選択Ⅱ（食品の科学）		科目 ID	LA-310123-Z
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－3)人間の歴史的営みを理解する 別表2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。				
授業の目的、概要等 食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。				
授業の到達目標 食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		澤野 頼子
2	4/23	10:05-10:55		澤野 頼子
3	4/30	10:05-10:55		澤野 頼子
4	5/7	10:05-10:55		澤野 頼子
5	5/14	10:05-10:55		澤野 頼子
6	5/28	10:05-10:55		澤野 頼子
7	6/4	10:05-10:55		澤野 頼子
授業方法 主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(PBL、課題発表など)を取り入れる。				
授業内容 食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。				
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。				
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)				
参考書 食品の科学／上野川修一, 田之倉優 編,:東京化学同人, 2005 食品学 : 食品成分と機能性／久保田紀久枝, 森光康次郎 編,久保田, 紀久枝, 1948-,森光, 康次郎, 1963-,:東京化学同人, 2016 ニューフードサイエンス／鮫島邦彦, 高橋史生 編著,鮫島, 邦彦, 1938-,高橋, 史生,:三共出版, 2005				

健康と食生活／吉田勉 編著, 吉田, 勉, 1927-, : 学文社, 2016

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000712			
科目名	主題別選択Ⅱ（生物の中の糖）	科目 ID	LA-310125-Z	
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1ー10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表2ー1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る				
授業の目的、概要等 糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。最後に自分の興味を持った事柄について調べ、プレゼンテーションを行ってもらう。				
授業の到達目標 糖の性質と機能について基礎的な知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		勝又 敏行
2	4/23	10:05-10:55		勝又 敏行
3	4/30	10:05-10:55		勝又 敏行
4	5/7	10:05-10:55		勝又 敏行
5	5/14	10:05-10:55		勝又 敏行
6	5/28	10:05-10:55		勝又 敏行
7	6/4	10:05-10:55		勝又 敏行
授業方法 講義形式および一部アクティブラーニングを取り入れる。				
授業内容 1. 糖とは何か 2. 糖の種類、および構造、性質 3. 糖の分析法 4. 植物における糖 5. 人の中の糖1 6. 人の中の糖2 7. 糖と疾病				
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(発表を含む)等 50% アクティブラーニングを取り入れ以上の通りとする。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。				
参考書 コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [ほか編]鈴木康夫, 木全弘治 監訳,:丸善, 2010				
連絡先(メールアドレス) 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp				

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000713			
科目名	主題別選択Ⅱ（宇宙と生命）	科目 ID	LA-310127-Z	
担当教員	服部 淳彦[HATSUTORI ATSUIHIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 1－5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる。				
授業の目的、概要等 日本人が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無(微小)重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物(ヒトも含めて)に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。				
授業の到達目標 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		服部 淳彦
2	4/23	10:05-10:55		服部 淳彦
3	4/30	10:05-10:55		服部 淳彦
4	5/7	10:05-10:55		服部 淳彦
5	5/14	10:05-10:55		服部 淳彦
6	5/28	10:05-10:55		服部 淳彦
7	6/4	10:05-10:55		服部 淳彦
授業方法 セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。				
授業内容 国際宇宙ステーションと宇宙環境と生物(概論) 無(微小)重力がもたらす脊椎動物への影響 無(微小)重力がもたらす無脊椎動物への影響 無(微小)重力がもたらす植物への影響 重力感受機構 宇宙放射線 宇宙放射線の生物への影響 宇宙医学 宇宙医学が地上の医学にもたらすもの				
成績評価の方法 評価: その他 100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価: 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。				
連絡先(メールアドレス)				

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000714																																										
科目名	主題別選択Ⅱ（生物間のコミュニケーション）	科目 ID	LA-310129-Z																																								
担当教員	伊藤 正則, 本田 陽子[ITO MASANORI, HONNDA Youko]																																										
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある教員による授業																																											
・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。																																											
授業の目的、概要等 この授業の目的は次の1)～4)である。 1)生物間におけるコミュニケーションの方法(ヒトによる言語を含む)とその制御メカニズムを理解する。 2)この分野における研究の現状を理解する。 3)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。 4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。																																											
授業の到達目標 1)生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状を説明することができる。 2)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 3)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。																																											
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr><tr><td>3</td><td>4/30</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr><tr><td>4</td><td>5/7</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr><tr><td>5</td><td>5/14</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr><tr><td>6</td><td>5/28</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr><tr><td>7</td><td>6/4</td><td>10:05-10:55</td><td></td><td>本田 陽子, 伊藤 正則</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/16	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則	2	4/23	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則	3	4/30	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則	4	5/7	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則	5	5/14	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則	6	5/28	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則	7	6/4	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/16	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
2	4/23	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
3	4/30	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
4	5/7	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
5	5/14	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
6	5/28	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
7	6/4	10:05-10:55		本田 陽子, 伊藤 正則																																							
授業方法 講義形式で行う。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。アクティブラーニングとして、毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。自身でテーマを見つけ、レポートを作成する。																																											
授業内容 ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。																																											
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20% 再評価:有																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。																																											
準備学習等についての具体的な指示																																											

予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。
教科書 必要に応じて参考資料を配布する
参考書 脳とホルモンの行動学：行動神経内分泌学への招待：カラー版／近藤保彦，小川園子，菊水健史，山田一夫，富原一哉 編：西村書店，2010 はじめて学ぶ、脳の構成細胞と情報伝達の基盤／渡辺雅彦著：羊土社，2008-12 行動の神経生物学／ギュンター・K.H.ツープンク 著，山元大輔 訳，シュプリンガー・ジャパン，2007 化学受容の科学／東原和成編：化学同人，2012-02
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000715			
科目名	主題別選択Ⅱ（医療の社会学）	科目 ID	LA-310131-Z	
担当教員	藤井 達夫[FUJII TATSUO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医・歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、1-10)、2-4)				
授業の目的、概要等 この授業では、医療テクノロジーの発展の中で医療が理想とした社会像や、医療が実際に可能にした社会の仕組みを批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18 世紀から 20 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との間の根深く暗い関係を優生思想の観点から議論します。さらに、20 世紀後半に登場する新しい優生思想の影響下で現代の医療が目指す社会像を検討します。今年度は、「優生手術」を手掛かりに、優生思想と障害者問題にも焦点を当てる予定です。				
授業の到達目標 (1)人文科学・社会科学的な考察から得られる医療に対する知見を深めることができる。 (2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		藤井 達夫
2	4/23	10:05-10:55		藤井 達夫
3	4/30	10:05-10:55		藤井 達夫
4	5/7	10:05-10:55		藤井 達夫
5	5/14	10:05-10:55		藤井 達夫
6	5/28	10:05-10:55		藤井 達夫
7	6/4	10:05-10:55		藤井 達夫
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。				
授業内容 第 1 回 医療が描く理想社会——民族衛生から SDH へ 第 2 回 医療と優生思想 第 3 回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例 第 4 回 健康優良者からなる社会——日本の例 第 5 回 現代の優生思想とそのユートピア 第 6 回 生命が廃棄される社会における障害者 第 7 回 『青い芝の会』と障害者の自己決定権 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。				
成績評価の方法 評価： レポート 80％ ・ その他(授業での取り組み) 20％ 再評価： 有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				

準備学習等についての具体的な指示

必要があれば、授業内で適宜、指示します。

教科書

教科書は使用しません。

参考書

ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974 年)

カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008 年)

ジグムント・フロイト『近代とホロコースト』(大月書店、2006 年)

横塚晃一『母よ！殺すな』(生活書院、2007 年)

横田弘『障害者殺しの思想』(現代書館、2015 年)

優生手術に対する謝罪を求める会編『優生保護法が犯した罪』(現代書館、2018 年)

マイケル・マーモット『健康格差』(日本評論社、2017 年)

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000716			
科目名	主題別選択Ⅱ（ヒトの脳と言語）	科目 ID	LA-310133-Z	
担当教員	時本 楠緒子[TOKIMOTO Naoko]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間： 木曜・2 限（10:05-10:55） 対象学科： 医・歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 1-7) 人間の心への理解を深める。				
授業の目的、概要等 ヒトに特有の機能とされる言語。なぜヒトだけが言語を持つのでしょうか。講義では言語の機能および言語を可能にするヒトの脳構造と心的機能を概観し、子どもの言語獲得と脳神経系の発達から臨界期仮説を解説します。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。言語学、心理学、神経科学の側面から、言語への理解を深めていきます。				
授業の到達目標 (1) 言語の機能とメカニズムを学び、言語コミュニケーションを担うヒトの脳構造について理解する。(2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。(3) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		時本 楠緒子
2	4/23	10:05-10:55		時本 楠緒子
3	4/30	10:05-10:55		時本 楠緒子
4	5/7	10:05-10:55		時本 楠緒子
5	5/14	10:05-10:55		時本 楠緒子
6	5/28	10:05-10:55		時本 楠緒子
7	6/4	10:05-10:55		時本 楠緒子
授業方法 基本的に講義形式で行う。毎回の授業の初めにリアクションペーパーを利用した質疑や討論も予定している。				
授業内容 4 月 2 日 言語とは 4 月 9 日 言語の研究法 4 月 16 日 言語獲得と脳 4 月 23 日 言語獲得の臨界期 4 月 30 日 言語の神経基盤 5 月 7 日 言語の神経基盤(2) 5 月 14 日 言語の生物学的起源 5 月 28 日 言語と脳: 謎はどこまで解けたのか				
成績評価の方法 評価 : 試験 % ・ レポート 70 % ・ その他(リアクションペーパー) 30 % 再評価: 有(レポート) ・ 無				
成績評価の基準				

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は特に求めませんが、授業の理解が難しい場合は、適宜紹介する参考文献で復習してください。また、講義後に疑問点やコメントを書いて頂くリアクションペーパーをもとに解説や議論を行います。

教科書

指定しない

参考書

「カンデル神経科学」 金澤一郎 他監修, メディカルサイエンスインターナショナル, 2014. その他、講義中に随時紹介します

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000867			
科目名	主題別選択Ⅱ (Explorations in Literature Philosophy and Science)	科目 ID	LA-310539-Z	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
授業の目的、概要等				
What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		CANNELL DAVID
2	4/23	10:05-10:55		CANNELL DAVID
3	4/30	10:05-10:55		CANNELL DAVID
4	5/7	10:05-10:55		CANNELL DAVID
5	5/14	10:05-10:55		CANNELL DAVID
6	5/28	10:05-10:55		CANNELL DAVID
7	6/4	10:05-10:55		CANNELL DAVID
授業方法				
A mix of class discussion and mini-lecture				
授業内容				
Tentative Outline				
Week				
1 Orientation, Robert Nozick “Love’ s Bond”				
2 Nozick “Love’ s Bond”				
3 Poetry				
4 Poetry				
5 Hamabata “Crested Kimono”				
6 Fisher “Romantic Love: a mammalian brain system for mate choice”				
7 Fisher “Romantic Love: a mammalian brain system for mate choice”				
8 Wrap-up + Term Paper Interviews				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書				
Texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
Participation				
There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.				
Absence policy				
Each unexcused absence will affect the student’ s overall course grade.				

Journal

Notebook, A-5 size

時間割番号	000917			
科目名	主題別選択Ⅱ（生命科学と技術）		科目 ID LA-310137-Z	
担当教員	仁科 博史, 佐々木 雄彦, 西村 栄美, 田賀 哲也, 三木 義男, 樗木 俊聡, 田中 光一[NISHINA HIROSHI, NARA MASAYUKI, SASAKI Takehiko, NISHIMURA EMI, TAGA TETSUYA, MIKI YOSHIO, OTEKI TOSHIAKI, TANAKA KOICHI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科				
授業の目的、概要等				
難治疾患研究所は、難治疾患をその学理と応用の研究により克服し、人々の健康と社会の福祉に貢献することを理念とします。本研究所では、がん・感染症・生活習慣病など様々な難治疾患を対象として、ビッグデータ・ゲノム編集など最新の技術を駆使して基礎医学研究に取り組んでいます。本授業では、各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。生命科学を飛躍的に発展させたテクノロジーに力点を置いた研究を紹介します。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	10:05-10:55		仁科 博史
2	4/23	10:05-10:55		田賀 哲也
3	4/30	10:05-10:55		西村 栄美
4	5/7	10:05-10:55		三木 義男
5	5/14	10:05-10:55		樗木 俊聡
6	5/28	10:05-10:55		佐々木 雄彦
7	6/4	10:05-10:55		田中 光一
授業方法				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示				

時間割番号	000914			
科目名	主題別選択Ⅱ（小説に見る日本語の変化と多様性(現代編)）	科目 ID	LA-310102-Z	
担当教員	平井 裕香[HIRAI Yuuka]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科・歯学科 受講資格:「言語と人間」、「文化と人間」の主題であること 募集人数:30 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する、1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る、1－9)市民としての倫理観を養う				
授業の目的、概要等				
私たちの多くが日常的に使用している日本語は、通時的に不変でも、共時的に一定でもない。それは複雑な変化を経て現在のような形となり、現在においても重要な多様性を持っている。本授業では、日本語のそうした変化と多様性に、いくつかの小説を通して触れることを目的とする。言語の具体的現れのごく一部である「小説」が、日本語の変化と多様性にいかに関与しているのかも、あわせて理解できるだろう。後半では比較的新しい時代(これを仮に「現代」と呼ぼう)に焦点を当て、「日本語」に生じる問題や「日本語」という枠組みが生じてしまう問題に、異なる角度から向き合っている三つの作品を取り上げる。自分が読んだ印象を、他者が読んだ印象や、教員が講義で提示する情報と突き合わせることで、表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係について、考察を深めてもらいたい。				
授業の到達目標				
(1)日本語の通時的な変化と共時的な多様性を知る。 (2)「小説」というジャンルの特異性を理解する。 (3)自分の考えを口頭あるいは文章で他者に伝達する。 (4)表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係を考察する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		平井 裕香
2	6/18	10:05-10:55		平井 裕香
3	6/25	10:05-10:55		平井 裕香
4	7/2	10:05-10:55		平井 裕香
5	7/9	10:05-10:55		平井 裕香
6	7/16	10:05-10:55		平井 裕香
7	9/3	11:10-12:00		平井 裕香
授業方法				
各回の前半約3分の2を教員による講義に、後半約3分の1をクラス全体での討論かリアクションペーパーの執筆にあてる。				
授業内容				
1)イントロダクション 2)メディアへの視線1 3)メディアへの視線2 4)さまざまな越境1 5)さまざまな越境2 6)方言という戦略1 7)方言という戦略2 なお、各回の授業内容は、受講者の興味関心に即して変更する場合がある。				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(授業への積極的参加(討論での発言、リアクションペーパーの執筆な				

ど)) 40% 再評価: 有(再評価方法:レポート) 課題図書と各回の講義に対する応答を「授業への積極的参加」で、その総合と発展を「レポート」でそれぞれ評価する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 7回で計3作、2週間ごとに1作の小説を読むことを求める。各自が読んでいることを前提に、講義および討論を行う。 なお、課題として読む3作は、私たちが生きる現在の様々な事象を描いている。必ずしも医療とかかわらないが、それとは異なる観点から社会や自分自身について考えるきっかけにしてほしい。
試験の受験資格 7回中3回以上の欠席で、レポート提出の資格を失うことを原則とする。
教科書 なし。課題として読む3作については、コピーを配布する予定。
参考書 飯田祐子『彼女たちの文学—語りにくさと読まれること』名古屋大学出版会、2016 年 郭南燕(編著)『バイリンガルな日本語文学—多言語多文化のあいだ』三元社、2013 年 川口良、角田史幸『日本語は誰のものか』吉川弘文館、2005 年 斎藤美奈子『日本の同時代小説』岩波新書、2018 年 土田知則、青柳悦子『文学理論のプラクティス—物語・アイデンティティ・越境』新曜社、2001 年
履修上の注意事項 出欠管理システムより、教員がとる出欠を優先させる。

時間割番号	000896			
科目名	主題別選択Ⅱ（生命倫理を問いなおす）	科目 ID	LA-310104-Z	
担当教員	田中 智彦[TANAKA TOMOHIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
◇ 曜日・時間:木曜 2 限 ◇ 対象学科:医学科・歯学科 ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-9)市民としての倫理観を養う 別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等 生命(いのち)の倫理を問うとはどういうことだろうか。なるほどすでに生命倫理(bioethics)という制度と学問がある。そのおかげでこの半世紀に医学・医療は大きく変わった。患者の権利を守り、また治療・研究にルールを課す、さまざまな法律やガイドラインが作られた。そのことの意義は評価しなければならない。しかし他方で、そうした所定の手続きにしたがうことは、本来、倫理的に考え、判断し、行為することと同じではないこともたしかである。そこでこの授業では、あらためて「生命(いのち)」とは何か、「倫理」とは何か、という原点に立ち返りながら、今日の医学・医療で「問題」とされることのいくつかを検討してゆくことにしたい。				
授業の到達目標 (1)「倫理」と「法」の違いについて理解を深めること。 (2)その理解のもとに、生命倫理上の問題を批判的に再検討する視点を得ること。 (3)「いのち」について倫理的に思考するとはどういうことかを理解すること。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		田中 智彦
2	6/18	10:05-10:55		田中 智彦
3	6/25	10:05-10:55		田中 智彦
4	7/2	10:05-10:55		田中 智彦
5	7/9	10:05-10:55		田中 智彦
6	7/16	10:05-10:55		田中 智彦
7	9/3	11:10-12:00		田中 智彦
授業方法 授業はセミナー形式で進める。教科書は用いず、必要な文献・資料等はコピーして配布する。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。				
授業内容 (1)「倫理」と「法」はどのように違うのか。またなぜその違いが重要なのか。 (2)患者の権利や尊厳(そして時にいのちまでも)が深く損なわれた歴史は、何を教えるのか。 (3)こうしたことから生命倫理を省みるとき、その意義と限界はどのように評価されるか。				
成績評価の方法 ◇評価:レポート 60% 授業への参加度 40%(出席状況、議論への参加度など) ◇再評価:有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示 受講者には授業の中で、文献や資料(ドキュメンタリー等も含む)から過去と現在を知り、「なぜ」を問い、考えることが求められる。解説や議論はそうした問いや思考を深めるためにある。それゆえ解説・議論への能動的な関与と、そこで学んだこ				

との積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。
試験の受験資格 ◇ レポートの提出資格:原則として7回中5回以上の出席
教科書 教科書は用いない。必要な文献・資料等はコピーして配布する。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介する。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。
連絡先(メールアドレス) 田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中 智彦: 前期:毎週月曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室 後期:第1・第3水曜日 12:30～15:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000953			
科目名	主題別選択Ⅱ（ドロマロジーと人間）	科目 ID	LA-310541-Z	
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:10 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
授業の目的、概要等 三大技術革命のなかでも情報革命は、実空間と実時間を極度に圧縮(無化)し、実物世界の基本構造を構成している個人と社会に、それ以前の革命とはまったく異なる質的变化を引き起こした。P・ヴィリリオは「速度」という観点からこのような質的变化を解明し、「今・ここ」ではない「いつか・どこか」の前方へと追い立てる原理(強制力)を「ドロマロジー」と呼んでいる。この授業では、国家や政治や社会の体制を、それゆえ社会的存在たる人間の生き方をその内部から規定し、突き動かす「ドロマロジー」の構造について考察し、現代社会における人間の生の意味について考えてみたい。				
授業の到達目標 ・ドロマロジーの基本構造について、社会制度(や制度が生み出す社会問題)と関わらせて理解する。 ・「今・ここ」の意味を問い直すことができる。 ・部分と全体とを関連づけて思考する技法を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		飯田 卓
2	6/18	10:05-10:55		飯田 卓
3	6/25	10:05-10:55		飯田 卓
4	7/2	10:05-10:55		飯田 卓
5	7/9	10:05-10:55		飯田 卓
6	7/16	10:05-10:55		飯田 卓
7	9/3	11:10-12:00		飯田 卓
授業方法 演習形式、アクティブラーニング				
授業内容 主として、文献講読もしくは受講者によるプレゼンテーションを予定している。参考書の欄に挙げたドロマロジーに関する文献を用いて、以下の内容を中心に考察する予定である。 (1)前望構造 (2)資本主義のハビトゥス (3)ドロマロジー (4)生きられる現在				
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加度——発表、質疑応答、小課題による) 100% 再評価: 有(レポートの予定)				
成績評価の基準				

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 配布された文献は、次回までに精読しておいてください。
教科書 とくに必要ありません。
参考書 P.ヴィリリオ『瞬間の君臨——リアルタイム世界の構造と人間社会の行方』新評論(2003 年)、P.ヴィリリオ『速度と政治——地政学から時政学へ』平凡社(2001 年)、P.ヴィリリオ『黄昏の夜明け——光速度社会の両義的現実と人類史の「今」』新評論(2019 年)、P.ブルデュー『資本主義のハビトゥス』(1993 年)、古東哲明『瞬間を生きる哲学——〈今ここ〉に佇む技法』筑摩書房(2011 年)、佐藤透『人生の意味の哲学——時と意味の探求』春秋社(2012 年)等
履修上の注意事項 コメントシートを配布し、出欠をとります。

時間割番号	000720			
科目名	主題別選択Ⅱ（フランス詩を読む）	科目 ID	LA-310110-Z	
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7)人間の心への理解を深める				
主な講義場所 湯島				
授業の目的、概要等 ルネサンス期から現代にいたるまでのフランスの代表的な詩を講読します。授業では、フランス語の原文と共に、できる限り日本語訳を配付して、言葉のニュアンスや詩の構造を解説していきますので、フランス語履修者でなくても、詩や文学に興味があれば受講できます。フランス語を学習した人は、原語で、使われている単語・表現のニュアンスをできるだけ味わって下さい。 詩(文学)には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、その感性の表現は、時代・文化の刻印を受けて変化もします。現代の若い皆さんの感性で、共感できる部分、理解しがたい部分を正直に受け止めることが、詩を味わう出発点となると考えます。その共感や違和感をもとに文化・時代の差を考えていただくこともこの授業の目的です。				
授業の到達目標 1)フランス詩のニュアンス・表現を味わう。 2)文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		中島 ひかる
2	6/18	10:05-10:55		中島 ひかる
3	6/25	10:05-10:55		中島 ひかる
4	7/2	10:05-10:55		中島 ひかる
5	7/9	10:05-10:55		中島 ひかる
6	7/16	10:05-10:55		中島 ひかる
7	9/3	11:10-12:00		中島 ひかる
授業方法 講義と演習による。 毎回、2、3篇の詩を講読します。最初に各自に簡単な解釈や感想を述べていただいた後、教員が詩の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説し、それを聞いた後、どのように感じ方が変わったかを再び話していただきます。				
授業内容 ロンサール、ラシーヌ、ボードレー、ヴェルレーヌ、ランボー、マラルメ、アポリネール等、できるだけ日本語訳のあるフランス詩を、各時代から幅広く選んで読んでいきます。 おおよその予定は以下の通りですが、受講者の反応や希望によって取り上げる詩と順序は変更します。 1 回目：授業の概要説明、ジャック・プレヴェール 2 回目：ヴェルレーヌ等 3 回目：アポリネール・ロンサール 4 回目：ランボー・ボードレー 5 回目：マラルメ、ヴァレリー 6 回目：ロマン派				

7 回目:現代詩、意見交換
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20 % (授業への参加度) 再評価:有 (再評価方法 主観別教育運営委員会の指示にしたがってください) 授業中のコメント、並びに期末レポートで評価します。レポートは、自分の興味を持った詩(授業中に取り上げた詩でも、それ以外の詩でも構いません)を選び、分析して頂きます。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、レポート作成にあたっては解説記事を写すのではなく、授業中の教員の解説や他の人のコメントも参考にしながら、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析して下さい。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う詩をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 フランス名詩選／安藤元雄、入沢康夫、渋谷孝輔 編、:岩波書店、1998 プリントを配付する(PDF でメールアドレス宛に配信します)。
参考書 珊瑚集 : 仏蘭西近代抒情詩選／永井 荷風 訳、:岩波書店 上田敏全訳詩集／山内 義雄・ 矢野峰人 編、:岩波書店 悪の華／ボードレール 著、鈴木信太郎 著、:集英社 ヴァレリー詩集／ヴァレリー／著、鈴木 信太郎／訳、:岩波書店、1979 月下の一群 : 訳詩集／堀口大輔 訳、:岩波書店、2013 ロンサル詩集／ピエール・ド・ロンサル／〔著〕、井上究一郎／訳、:岩波書店、1989 ランボオ詩集／ランボオ〔著〕、中原中也 訳、:岩波書店、2013 地獄の季節／ランボー /作、小林秀雄／訳、:岩波書店、2008 ヴェルレーヌ詩集／ヴェルレーヌ〔著〕、堀口 大輔 訳、:新潮社 アポリネール詩集／アポリネール／〔著〕、堀口大輔／訳、:新潮社、1985
履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。
連絡先(メールアドレス) 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中島 ひかる:毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000967			
科目名	主題別選択Ⅱ (Leben und Werke を読む)	科目 ID	LA-310547-Z	
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
前期後半				
・曜日・時間: 木曜 2 限				
・対象学科: 医学科・歯学科				
・受講資格: ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること				
・募集人数: 2 年生とあわせて 20 人				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する				
別表1－3) 人間の歴史的営みを理解する				
別表1－4) 異なる空間の文化を理解する				
別表3－4) 外国文化を理解する				
主な講義場所				
湯島キャンパス				
3号棟4階演習室4－11, 12				
授業の目的、概要等				
日本で暮らしたドイツ人哲学者が、日本の読者に向けてドイツ語で書いた				
Leben und Werke という本を、原文で読んでいきます。				
原文を読む授業なので、ドイツ語の4単位を持っていない方は受講できません。				
時間数が少ないため、第1章の彼の半生の一部分だけを読むことになると思います。				
授業の到達目標				
19 世紀末からのドイツでの生活を知り理解することを目的とします。				
そこまで読んだ内容が理解できているか確認するため、最終回に試験を行います。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
2	6/18	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
3	6/25	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
4	7/2	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
5	7/9	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
6	7/16	10:05-10:55		SCHINZINGER EMI
7	9/3	11:10-12:00		SCHINZINGER EMI
授業方法				
セミナー形式: 毎回原文を読んで訳してもらい、理解できているか確認していきます。その後その内容について話し合います。				
授業内容				
初回: オリエンテーション: 原文のコピーを配り、最初の部分を読みます。				
第2回から第6回まで: 本文を辞書を使って訳していきます。毎回予習が必要です。1 年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。ある程度読んだら、理解できているか内容について話し合います。				
第7回: 到達したところまで理解できているか確認するため、試験を行います。				
成績評価の方法				
毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。				
試験が 50 パーセント。				
再評価: 無				

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 ・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習しておくといいです。他の参考書も活用するとよいです。 ・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。 ・毎回訳していきますので必ず電子辞書か独和辞典を持ってくるようにしてください。
試験の受験資格 原則 3 分の 2 以上出席
教科書 Robert Schinzinger 著 Leben und Werke 古い本ですのでコピーを配ります。
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, 三修社, 2008 アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆, 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, 同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-SX7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 毎回出欠を取ります。 毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってくるようにしてください。 毎回指定された範囲を予習してきてください。
備考 連絡先(メールアドレス) schinzinger.las@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー SCHINZINGER EMI:毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000961			
科目名	主題別選択Ⅱ（中国社会的の現在）	科目 ID	LA-310545-Z	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表3－4)外国文化を理解する 別表3－5)国際情勢を理解する				
主な講義場所 湯島				
授業の目的、概要等 映像と資料を使いながら、中国の政治・経済・社会に関する最新のトピックを紹介します。本講義を通して現代中国のありのままの姿を理解することを目指します。日本語の資料を使うので、中国語履修者でなくても、中国社会的に興味があれば受講できます。				
授業の到達目標 授業を通して、中国社会的を理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		BAO MIN
2	6/18	10:05-10:55		BAO MIN
3	6/25	10:05-10:55		BAO MIN
4	7/2	10:05-10:55		BAO MIN
5	7/9	10:05-10:55		BAO MIN
6	7/16	10:05-10:55		BAO MIN
7	9/3	11:10-12:00		BAO MIN
授業方法 講義と演習による。 事前に関心のあるトピックについて内容を調べておくこと。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。				
授業内容 第1回 授業の概要説明、担当を決める。 第2回 中国の素顔 第3回 岐路に立つ米中関係 第4回 一帯一路の大望とリスク 第5回 一国二制度の行方 第6回 14億人の消費革命 第7回 まとめ				
成績評価の方法 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30% 再評価:有（再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい）				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				

事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。
試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 : 明石書店 : 小学館
参考書 現代中国を知るための 52 章／藤野彰 編著, 藤野, 彰, 1955-, : 明石書店, 2018 習近平が変えた中国／天児慧 編著, 茅原郁生, 関志雄, 佐藤考一, 中兼和津次, 菱田雅晴, 毛里和子 著, 天児, 慧, 1947-, 茅原, 郁生, 1938-, 関, 志雄, 1957-, 佐藤, 考一, 1960-, : 小学館, 2018 幸福な監視国家・中国／梶谷懐, 高口康太 著, 梶谷, 懐, 1970-, 高口, 康太, 1976-, : NHK 出版, 2019 中国「強国復権」の条件 : 「一带一路」の大望とリスク／柯隆 著, 柯, 隆, 1963-, : 慶應義塾大学出版会, 2018
履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。

時間割番号	000957			
科目名	主題別選択Ⅱ（昆虫の社会性の維持機構）	科目 ID	LA-310543-Z	
担当教員	山崎 和久[YAMASAKI Kazuhisa]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科、歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表 2－3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る				
授業の目的、概要等 社会性を持つ生物は個体間で協力行動をとる。この協力行動は単なる自己犠牲ではなく、自己の利益に繋がる適応的な行動という側面を持つ。ヒトが制度や法令に従って社会を維持することと同様に、他の生物も彼らの社会性を維持するための機構を持つ。本講義では昆虫のなかでも高度に社会性を進化させたハチ・アリ類を中心に、社会性の維持機構を紹介する。彼らがどのような制度に従うことで社会性を維持し得るのか、何が社会性を崩壊させる脅威になり得るのかを理解することで、ヒトが自らの社会を安定的に維持するためのヒントを学ぶ。				
授業の到達目標 昆虫をはじめとした生物の社会性の維持機構とその崩壊要因について理解を深める。そこから、ヒトが社会で生きる上での制度の重要性を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		山崎 和久
2	6/18	10:05-10:55		山崎 和久
3	6/25	10:05-10:55		山崎 和久
4	7/2	10:05-10:55		山崎 和久
5	7/9	10:05-10:55		山崎 和久
6	7/16	10:05-10:55		山崎 和久
7	9/3	11:10-12:00		山崎 和久
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答				
授業内容 第 1-4 回:社会性の成り立ち 第 5-7 回:社会性の維持と制度のかかわり				
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加) 30% 再評価: 有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				

予習は教員が指定した回に限って要求する。教員が提示したキーワード等に対して、各人が自らの考えをまとめておく。各回の講義の終了後には、教員がアップロードするなどして資料を公開する。そのまとめの項目などを参考に、各人で復習する。意見や疑問点はリアクションペーパーに記述して教員に提出する。
教科書 指定なし。
参考書 ・生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線:生物の不思議を解く— 大改訂版 酒井聡樹ほか(共立出版) 2012 ・社会性昆虫の進化生態学 松本 忠夫、東正剛 共編(海遊舎) 1993 ・社会性昆虫の進化生物学 東正剛、辻 和希 共編(海遊舎) 2011
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと授業中の点呼を併用する。また、3 分の 2 以上の出席を前提 とし、評価の対象とする。

時間割番号	000900			
科目名	主題別選択Ⅱ（情報社会と人間）	科目 ID	LA-310116-Z	
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1), 1-7), 2-1), 2-3), 4-4)				
対象主題(2年生):文化と人間, 言語と人間, 制度と人間				
授業の目的、概要等				
情報化社会とよばれる現代, すでに対面よりもスマホの画面内のSNS上での会話が支配的な時代となり, 人々はネット社会とリアル社会の両面での生活を強いられている。では現代の人々は, ネット社会での生活にうまく適応できているのだろうか。そもそもコミュニケーションの本質とは何か。情報社会やコミュニケーションについて人文社会科学や医学などさまざまな観点から考察する。				
授業の到達目標				
情報と情報社会に対して自分なりの視点や立場を持ち, それを他人に説明し, 互いに議論・討論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		中口 悦史
2	6/18	10:05-10:55		中口 悦史
3	6/25	10:05-10:55		中口 悦史
4	7/2	10:05-10:55		中口 悦史
5	7/9	10:05-10:55		中口 悦史
6	7/16	10:05-10:55		中口 悦史
7	9/3	11:10-12:00		中口 悦史
授業方法				
講義と議論・討論を交えながら授業を進める。				
授業内容				
配付資料を基に, 情報と情報社会の理論的基礎を学習しながら, 互いに議論・討論を重ね, 各自の視点で考察を加える。				
授業計画				
(1) 情報という概念, 情報の定義				
(2) 情報と感知・認知・心理・行動				
(3) シヤノンとソシュールのモデル				
(4) コミュニケーションの成立と言語の役割				
(5) うわさやデマの伝播				
(6) デジタル社会は仮想か現実か				
(7) まとめ・情報とは何か				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20%				
再評価: 有				
レポートと授業への参加度を総合して成績評価を行う。授業への参加度は, 質疑応答や議論・討論への参加の積極性, 演習への取り組み具合などにより測る。期末にレポートを課し, この授業の内容に即したテーマに沿って, 学生個々の考えを問う。				
「試験の受験資格」を満たし, かつレポートを提出したもののみを, 評価の対象とする。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示				

毎回の授業計画にあるトピックについて、疑問点などを事前にまとめて、授業に臨むこと。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席。
教科書 教科書は特に指定しない。資料は LMS で配付する。
参考書 情報理論／甘利俊一 著,甘利, 俊一, 1936-,:筑摩書房, 2011 通信の数学的理論／クロード・E.シャノン, ワレン・ウィーバー 著,植松友彦 訳,Shannon, Claude E, 1916-2001,Weaver, Warren, 1894-1978,植松, 友彦,:筑摩書房, 2009 ソシュールと言語学 : コトバはなぜ通じるのか／町田健 著,町田, 健, 1957-,:講談社, 2004 情報と自己組織性の理論 (オンデマンド版)／吉田民人:東京大学出版会, 2012 生命と機械をつなぐ知 : 基礎情報学入門／西垣通 著,西垣, 通, 1948-,:高陵社書店, 2012 ケータイ化する日本語 : モバイル時代の“感じる”“伝える”“考える”／佐藤健二 著,佐藤, 健二, 1957-,:大修館書店, 2012 ケータイ社会論 = Understanding Keitai Society／岡田朋之, 松田美佐 編,岡田, 朋之, 1965-,松田, 美佐, 1968-,:有斐閣, 2012 うわさとは何か : ネットで変容する「最も古いメディア」／松田美佐 著,松田, 美佐, 1968-,:中央公論新社, 2014 クチコミとネットワークの社会心理 : 消費と普及のサービスイノベーション研究／池田謙一 編,池田, 謙一, 1955-,:東京大学出版会, 2010 ウェブ社会のゆくえ : 〈多孔化〉した現実のなかで／鈴木謙介 著,鈴木, 謙介, 1976-,:NHK 出版, 2013
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと, リアクションペーパーの提出を併用する。 LMS 上の資料を用いて授業を進めるので, タブレット等を持参すること。
連絡先(メールアドレス) 中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中口 悦史:前期:月・水 12:00～13:00, 後期:水・木 12:30～13:30, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／電子メールによる質問等は随時受け付け／2年次以降は湯島にて面談可(要問合せ)

時間割番号	000737			
科目名	主題別選択Ⅱ（人体・医療の物理）	科目 ID	LA-310118-Z	
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)別表2－2)別表2－4) 別表4－2)				
授業の目的、概要等 生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きや歯の矯正治療は力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。また、X 線、MRI、重粒子線治療など多くの現代医療測定技術は物理学の成果です。本授業は講義形式で進め、人体や医歯学に関係した物理を学んでいきます。				
授業の到達目標 人体・医療に関係した物理を習得する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		檜枝 光憲
2	6/18	10:05-10:55		檜枝 光憲
3	6/25	10:05-10:55		檜枝 光憲
4	7/2	10:05-10:55		檜枝 光憲
5	7/9	10:05-10:55		檜枝 光憲
6	7/16	10:05-10:55		檜枝 光憲
7	9/3	11:10-12:00		檜枝 光憲
授業方法 講義と演習				
授業内容 1. 人体・医療と力学 2. 人体・医療と流体 3. 人体・医療と熱 4. 人体・医療と音 5. 人体・医療と光 6. 人体・医療と磁気 7. 人体・医療と放射線				
成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらう演習内容(小レポート)によって評価する。 評価：レポート 80 % その他(授業の参加度) 20% 再評価：無				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。				
参考書 生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,:共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X 線理解のために／本間康浩 著,:ブイツーソリューション, 2013				

医療系のための物理／佐藤幸一，藤城敏幸 著.：東京教学社，2013

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

連絡先(メールアドレス)

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000726			
科目名	主題別選択Ⅱ(微分方程式演習)	科目ID	LA-310120-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2)				
授業の目的、概要等				
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。				
授業の到達目標				
問題演習をととして、数理科学的能力を高めること				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		越野 和樹
2	6/18	10:05-10:55		越野 和樹
3	6/25	10:05-10:55		越野 和樹
4	7/2	10:05-10:55		越野 和樹
5	7/9	10:05-10:55		越野 和樹
6	7/16	10:05-10:55		越野 和樹
7	9/3	11:10-12:00		越野 和樹
授業方法				
講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による				
授業内容				
・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習				
成績評価の方法				
評価: 試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での提出課題)100%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。				
参考書				
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版				
履修上の注意事項				
数学・物理学の双方に十分な能力を有することを前提としている。				
連絡先(メールアドレス)				
越野 和樹: ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
越野 和樹: 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階				

時間割番号	000727			
科目名	主題別選択Ⅱ（タンパク質科学の光と影）	科目 ID	LA-310122-Z	
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する。 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
授業の目的、概要等				
我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。				
授業の到達目標				
授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		奈良 雅之
2	6/18	10:05-10:55		奈良 雅之
3	6/25	10:05-10:55		奈良 雅之
4	7/2	10:05-10:55		奈良 雅之
5	7/9	10:05-10:55		奈良 雅之
6	7/16	10:05-10:55		奈良 雅之
7	9/3	11:10-12:00		奈良 雅之
授業方法				
講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。特に3年生の皆さんには積極的に参加してほしいと思います。				
授業内容				
21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この18年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポストドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。				
成績評価の方法				
評価: 試験0%・レポート 80%				
その他(授業への参加度 20%)				
再評価: 有				
授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				

予習:配付資料に目を通してください。 復習:興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。
試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)
参考書 タンパク質の生命科学 : ポスト・ゲノム時代の主役／池内俊彦 著,,: 中央公論新社, 2001 ポストゲノム時代のタンパク質科学 : 構造・機能・ゲノミクス／Arthur M.Lesk 著,高木淳一 訳,,: 化学同人, 2007 入門構造生物学 : 放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く／高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編,,: 共立出版, 2010 タンパク質の構造と機能 : カラー図説／グレゴリー A. ベツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳,,: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005
連絡先(メールアドレス) nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000719			
科目名	主題別選択Ⅱ（植物の科学）	科目 ID	LA-310124-Z	
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－3)人間の歴史的営みを理解する 別表1－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等 植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。				
授業の到達目標 植物を歴史的および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		澤野 頼子
2	6/18	10:05-10:55		澤野 頼子
3	6/25	10:05-10:55		澤野 頼子
4	7/2	10:05-10:55		澤野 頼子
5	7/9	10:05-10:55		澤野 頼子
6	7/16	10:05-10:55		澤野 頼子
7	9/3	11:10-12:00		澤野 頼子
授業方法 主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(PBL、課題発表など)を取り入れる。				
授業内容 植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。				
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。				
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)				
参考書 植物生理学／三村徹郎, 鶴見誠二 編著,:化学同人, 2009 ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三, 井上弘, 近藤矩朗 共編,:オーム社, 2009 植物生理学概論／桜井英博 [ほか] 共著,桜井, 英博,柴岡, 弘郎(1934-),高橋, 陽介,小関, 良宏,藤田, 知道(1964-),:培風館, 2017 新しい植物科学 : 環境と食と農業の基礎／神阪盛一郎, 谷本英一 共編,神阪, 盛一郎, 1940-,谷本, 英一,:培風館, 2010				

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000729			
科目名	主題別選択Ⅱ（危険物の科学）		科目 ID	LA-310126-Z
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。最後にグループ討論を行い安全について議論してもらう。				
授業の到達目標 危険物の安全な取扱方法を理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		勝又 敏行
2	6/18	10:05-10:55		勝又 敏行
3	6/25	10:05-10:55		勝又 敏行
4	7/2	10:05-10:55		勝又 敏行
5	7/9	10:05-10:55		勝又 敏行
6	7/16	10:05-10:55		勝又 敏行
7	9/3	11:10-12:00		勝又 敏行
授業方法 講義形式一部アクティブラーニングを取り入れる。				
授業内容 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 消火法について 4. 第1類～第2類の性質、事故事例等 5. 第3類～第4類の性質、事故事例等 6. 第5類～第6類の性質、事故事例等 7. グループ討論				
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(グループ討論などを含む)等 50% レポートの内容および授業への参加度を考慮し、以上の通りとする。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。				
参考書 基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著,大宮喜文, 若月薫 訳,:共立出版, 2009				
連絡先(メールアドレス) 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp				

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000730			
科目名	主題別選択Ⅱ（老化と寿命）	科目 ID	LA-310128-Z	
担当教員	服部 淳彦[HATSUTORI ATSUHIKO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。				
授業の目的、概要等 「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化に関連した病気についてはじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。				
授業の到達目標 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		服部 淳彦
2	6/18	10:05-10:55		服部 淳彦
3	6/25	10:05-10:55		服部 淳彦
4	7/2	10:05-10:55		服部 淳彦
5	7/9	10:05-10:55		服部 淳彦
6	7/16	10:05-10:55		服部 淳彦
7	9/3	11:10-12:00		服部 淳彦
授業方法 セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。				
授業内容 老化現象と老化の原因(概要) 骨と筋の老化 感覚器(視覚・聴覚)の老化 皮膚の老化 脳の老化 血管の老化 老化と遺伝子 老化と環境要因 抗加齢医学				
成績評価の方法 評価:その他 100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価: 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。				

連絡先(メールアドレス)

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒボ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000708			
科目名	主題別選択Ⅱ（環境への適応）	科目 ID	LA-310130-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
・曜日・時間：木曜 2 限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）： 別表 1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する。 別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。				
授業の目的、概要等				
外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物ではほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。				
授業の到達目標				
1)生体の基本構造を説明することができる。 2)生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。 3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		伊藤 正則
2	6/18	10:05-10:55		伊藤 正則
3	6/25	10:05-10:55		伊藤 正則
4	7/2	10:05-10:55		伊藤 正則
5	7/9	10:05-10:55		伊藤 正則
6	7/16	10:05-10:55		伊藤 正則
7	9/3	11:10-12:00		伊藤 正則
授業方法				
基本的には講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。アクティブラーニングとして、必要であれば、その場で、インターネットにより情報検索を行う。疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。				
授業内容				
生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。				
成績評価の方法				
評価：試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20% 再評価：有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。				
準備学習等についての具体的な指示				
アクティブラーニングとして、予習では予め配布した参考資料(主に英語で書かれた論文)を読んでおくこと。授業内容について疑問点があれば、コメントシートに書く。次回の授業において疑問点について説明する。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。				

試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。
教科書 資料を配布する。
参考書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,: Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳,:医学書院, 2005 はじめの一步のイラスト生理学：はじめて学ぶ人のための目で見える教科書／照井直人 編,:羊土社, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000732			
科目名	主題別選択Ⅱ（民主主義を再考する）	科目 ID	LA-310132-Z	
担当教員	藤井 達夫[FUJII TATSUO]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医・歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、2-4)、3-5)				
授業の目的、概要等 民主主義は今、危機にあります。その危機は二つの方面から到来しています。一つは、民主主義国の国内から。欧米の民主主義諸国は軒並みポピュリズム化し、権威主義的自由主義に飲み込まれつつあります。もう一つは、中国をはじめとする非民主主義国の台頭です。非民主主義的権威主義国家の国際社会でのプレゼンスの増大は、外側から民主主義諸国を動揺させ始めています。「もしかして、民主主義は時代遅れなのか？」と。そこで、民主主義の理念と制度の基礎を押さえつつ、今年度は、世界のそして日本の民主主義が機能不全に陥った原因について検討します。批判の焦点は近代民主主義の制度的基礎である選挙と代表制度です。そしてポスト代表制度の民主主義はどうあるべきかについて議論することで、これからの私たちの社会を立て直す道筋を履修生の皆さんと一緒に考えます。				
授業の到達目標 (1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の社会が抱える問題について議論することができる。 (2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		藤井 達夫
2	6/18	10:05-10:55		藤井 達夫
3	6/25	10:05-10:55		藤井 達夫
4	7/2	10:05-10:55		藤井 達夫
5	7/9	10:05-10:55		藤井 達夫
6	7/16	10:05-10:55		藤井 達夫
7	9/3	11:10-12:00		藤井 達夫
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。				
授業内容 第1回 今の政治に満足か？ 第2回 古代の民主主義——クジと反支配 第3回 近代民主主義①——国民主権 第4回 近代民主主義②——代表制度 第5回 代表制度と選挙——その黄金期の社会的条件 第6回 代表制度の行き詰まりとその病理——ポピュリズムと二つの権威主義 第7回 ポスト代表制度の民主主義を構想する——参加と熟議 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。				
成績評価の方法 評価： レポート 80％ ・ その他(授業での取り組み) 20％				

再評価： 有(再評価方法)レポート
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。
教科書 藤井達夫『平成の正体』(イースト新書、2018 年)
参考書 齋藤純一『不平等を考える』(ちくま新書、2017 年) 水島治郎『ポピュリズムとは何か』(中公新書、2016 年) 待鳥聡史『代議制民主主義』(中公新書、2015 年) ヴァン・レイブルック『選挙制を疑う』(法政大学出版局、2019 年) S.レビツキー、D.ジブラット『民主主義の死に方』(新潮社、2018 年)
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000733			
科目名	主題別選択Ⅱ（英語で学ぶヒトの脳と言語）	科目 ID	LA-310134-Z	
担当教員	時本 楠緒子[TOKIMOTO Naoko]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間： 木曜・2 限(10:05-10:55) 対象学科： 医・歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 1-7) 人間の心への理解を深める。 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。				
授業の目的、概要等 地球上でヒトだけが言語を持ちます。この講義では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を学びます。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見も紹介します。講義は英語資料に基づき、日本語と英語で行い、言語学、心理学、神経科学の側面から、言語への理解を深めていきます。				
授業の到達目標 (1) 言語の機能とメカニズムを学び、言語コミュニケーションを担うヒトの脳構造について理解する。(2) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶ。(3) 言語と脳に関する英語の文献を読み、議論する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		時本 楠緒子
2	6/18	10:05-10:55		時本 楠緒子
3	6/25	10:05-10:55		時本 楠緒子
4	7/2	10:05-10:55		時本 楠緒子
5	7/9	10:05-10:55		時本 楠緒子
6	7/16	10:05-10:55		時本 楠緒子
7	9/3	11:10-12:00		時本 楠緒子
授業方法 初回から何度か講義を行う。以降は受講生が選んだテーマをもとに論文紹介と討論を行う。				
授業内容 6 月 4 日 Overview of the human brain 6 月 11 日 Language circuits in the brain 6 月 18 日 Critical period for language learning 6 月 25 日 Second-language and sign language 7 月 2 日 Animal behavior similar to language 7 月 9 日 Comparison between bird song and human language 7 月 16 日 Comparison between behavior of primates and human language				
成績評価の方法 評価：試験 0 % ・ レポート(英語) 60 % ・ その他(論文紹介) 40 % 再評価：有(レポート提出)				
成績評価の基準				

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義回の予習は求めませんが、授業の理解が難しい場合は、参考文献で復習してください。1人最低 1 本の論文を紹介してもらうため、早めに興味を絞って読む論文を決めておいてください。テーマの選択や論文検索については、適宜相談にのります。

教科書

指定しない

参考書

Principles of Neural Science, Fifth Edition, Eric R. Kandel et al., 2012 McGraw-Hill. その他、講義中に随時紹介します。

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000868			
科目名	主題別選択Ⅱ (Understanding Language and Society)		科目 ID LA-310136-Z	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
Language is more than just a tool to communicate ideas or a skill to learn such as speaking a foreign language. Modern thinkers as diverse as George Lakoff, John Searle and Pierre Bourdieu have shown that language is primarily responsible for the creation of the social realities and imaginative worlds we live in. In this course we will read and discuss the writings of these thinkers and thereby enlarge our conception of language and the role it plays in modern life.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		CANNELL DAVID
2	6/18	10:05-10:55		CANNELL DAVID
3	6/25	10:05-10:55		CANNELL DAVID
4	7/2	10:05-10:55		CANNELL DAVID
5	7/9	10:05-10:55		CANNELL DAVID
6	7/16	10:05-10:55		CANNELL DAVID
7	9/3	11:10-12:00		CANNELL DAVID
授業方法				
A mix of class discussion and mini-lecture				
There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.				
*Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.				
授業内容				
Tentative Schedule				
Week				
1 Orientation, Metaphors We Live By (Lakoff)				
2 Metaphors We Live By (Lakoff)				
3 Mind, Language, and Society (Searle)				
4 Mind, Language, and Society (Searle)				
5 Language & Symbolic Power (Bourdieu)				
6 Language & Symbolic Power (Bourdieu)				
7 Matrix quiz, wrap-up, term paper interviews				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書				
Texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
Texts will be available as email attachments or handouts.				

時間割番号	000918			
科目名	主題別選択Ⅱ（生命科学と医学）		科目 ID LA-310138-Z	
担当教員	仁科 博史, 伊藤 暢聡, 澁谷 浩司, 古川 哲史, 高地 雄太, 角田 達彦, 稲澤 譲治, 石野 史敏 [NISHINA HIROSHI, NARA MASAYUKI, ITO NOBUTOSHI, SHIBUYA HIROSHI, FURUKAWA TETSUSHI, KOUCHI Yuuta, TSUNODA TATSUHIKO, INAZAWA JIYOJI, ISHINO FUMITOSHI]			
開講時期	2020 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科				
授業の目的、概要等				
難治疾患研究所は、難治疾患をその学理と応用の研究により克服し、人々の健康と社会の福祉に貢献することを理念とします。本研究所では、がん・感染症・生活習慣病など様々な難治疾患を対象として、再生医療・核酸医薬など最新の技術を駆使して基礎医学研究に取り組んでいます。 本授業では、各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。医療現場を意識した基礎研究を紹介します。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/11	10:05-10:55		古川 哲史
2	6/18	10:05-10:55		澁谷 浩司
3	6/25	10:05-10:55		高地 雄太
4	7/2	10:05-10:55		伊藤 暢聡
5	7/9	10:05-10:55		石野 史敏
6	7/16	10:05-10:55		角田 達彦
7	9/3	11:10-12:00		稲澤 譲治
授業方法				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示				

主題別人文社会科学セミナー・講義

●医学科・歯学科(3年生):2020年度 主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール

		3時限(11:10~12:00)															
		文化			生命			言語			制度			時間			
月日	曜日	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	
4月2日	木	1	オリエンテーション(医学科講義室2)			オリエンテーション(大学院講義室2)			オリエンテーション(第4ゼミナール室)			オリエンテーション(大学院講義室3)			オリエンテーション(歯学科第2講義室)		
4月9日	木	2															
4月16日	木	1	オリエンテーション(医学科講義室2)			オリエンテーション(大学院講義室2)			オリエンテーション(第4ゼミナール室)			オリエンテーション(大学院講義室3)			オリエンテーション(歯学科第2講義室)		
4月23日	木	2	ナード (共用セ ミナ ー) (11)	セ ミ ナ ー (3)	医療と 法 (1)	医療と 社会 (2)	セ ミ ナ ー (1)	医療と 法 (3)	医療と 社会 (7)	セ ミ ナ ー (3)	医療と 法 (1)	医療と 社会 (10)	セ ミ ナ ー (3)	医療と 法 (1)	医療と 社会 (12)	セ ミ ナ ー (3)	医療と 社会 (1)
4月30日	木	3															
5月7日	木	4															
5月14日	木	5															
5月21日	木	6															
5月28日	木	6															
6月4日	木	7															
6月11日	木	1	(共用 講義室 1)	医療と 社会 (11)	セ ミ ナ ー (3)	医療と 法 (1)	医療と 社会 (2)	セ ミ ナ ー (3)	医療と 法 (7)	セ ミ ナ ー (3)	医療と 法 (1)	医療と 社会 (10)	セ ミ ナ ー (3)	医療と 法 (1)	医療と 社会 (12)	セ ミ ナ ー (3)	医療と 法 (1)
6月18日	木	2															
6月25日	木	3															
7月2日	木	4															
7月9日	木	5															
7月16日	木	6															
9月3日	木	7															
9月24日	木	1	(大 学 院 講 義 室 3)	医療と 社会 (2)	セ ミ ナ ー (11)	医療と 法 (3)	医療と 社会 (2)	セ ミ ナ ー (6)	医療と 法 (3)	医療と 社会 (2)	セ ミ ナ ー (7)	医療と 法 (3)	医療と 社会 (2)	セ ミ ナ ー (10)	医療と 法 (3)	医療と 社会 (2)	セ ミ ナ ー (12)
10月1日	木	2															
10月8日	木	3															
10月22日	木	4															
10月29日	木	5															
11月5日	木	6															
11月12日	木	7															
11月19日	木	1	総括セミナー(共用講義室1)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)		
11月26日	木	2	合同総括セミナー(共用講義室1)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(大学院講義室3)			総括セミナー(共用講義室2)		
12月3日	木	3	総括セミナー(共用講義室1)			合同総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(大学院講義室3)			総括セミナー(共用講義室2)		
12月10日	木	4	総括セミナー(共用講義室1)			総括セミナー(大学院講義室2)			合同総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)		
12月17日	木	5	総括セミナー(共用講義室1)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			合同総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)		
1月7日	木	6	総括セミナー(共用講義室1)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			合同総括セミナー(共用講義室2)		
1月14日	木	7	総括セミナー(共用講義室1)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)		
1月21日	木	8	総括セミナー(共用講義室1)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)		
1月28日	木	予備	予備日(共用講義室1)			予備日(大学院講義室2)			予備日(第4ゼミナール室)			予備日(アクティブラーニングルーム)			予備日(共用講義室2)		

時間割番号	000801			
科目名	人文社会科学講義(医療と社会)	科目 ID	LA-310201-Z	
担当教員	三枝 七都子[SAIGUSA Natsuko]			
開講時期	2020 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜3限 対象学科:医学部医学科・歯学部歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等				
医療は医療従事者と患者間の個人的(ミクロ)な関わりであると同時に、社会的(マクロ)な意義を有するものでもあります。この授業では、医療社会学という領域であつかわれてきた主題を通して、1. 医療従事者と患者間の関わりがどのような特徴を持つのか、2. 医療が社会の中で如何にして機能し、そしてそれがどのような社会問題と結びついているのかなどを学びます。具体的には、前半の講義では医療を社会学的な視点で見ることの意義を説明した上で、日本の医療制度の概要について学びます。後半の講義では、医療にまつわる具体的なトピックを取り上げ、受講者同士の議論も交えながら、医療的な視点にとどまらない多角的な視点で事象を捉えていくことに挑戦していきます。				
授業の到達目標				
1)医療が社会の内部で機能するものであることを理解し、社会にあたえる/または社会から受ける影響を説明できる。 2)現在の医療が抱える問題点・課題について、その解決に向け、多角的な視点から考察し議論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
2	4/23	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
3	4/30	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
4	5/7	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
5	5/14	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
6	5/28	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
7	6/4	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
8	6/11	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
9	6/18	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
10	6/25	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
11	7/2	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
12	7/9	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
13	7/16	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
14	9/3	09:00-09:50		三枝 七都子, 田中 智彦
15	9/24	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
16	10/1	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
17	10/8	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
18	10/22	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
19	10/29	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦

20	11/5	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
21	11/12	11:10-12:00		三枝 七都子, 田中 智彦
授業方法 授業は講義形式で進めます。後半の講義では、受講者同士で議論することや、受講者自らの考えを述べることを求め、アクティブラーニング形式を適宜取り入れます。				
授業内容 前半 第1回 医療を観察する社会学—医療社会学とは 第2回 日本の医療制度について—医療供給システムの変遷 後半 第3回 トピック①—医療と生命倫理 第4回 トピック②—医療と障害 第5回 トピック③—在宅ケア 第6回 まとめ—地域包括ケアシステムにおける医療と課題 第7回 テスト ＊取り上げるトピックについては、変更の可能性があります。				
成績評価の方法 評価：試験 60 % ・ レポート 0 % ・ 授業への参加度(事前学習の取り組みや、議論への参加など)40% 再評価：有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 予め配布した資料に目を通し、予習をしていただきます。また、授業のはじめに、適宜復習の時間を設けます。学んだ内容を人に説明するなど、能動的にアウトプットすることで知識の定着を目指します。				
教科書 教科書は指定しません。授業に必要な文献・資料はその都度コピーして配布します。				
参考書 ・中川輝彦・黒田浩一郎「よくわかる医療社会学」(ミネルヴァ書房、2010年) ・猪飼周平「病院の世紀の理論」(有斐閣、2010年)				
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録と、教員による出欠調査を併用します。教員による出欠調査は、リアクションペーパーの提出により確認します。				

時間割番号	000802			
科目名	人文社会科学講義(医療と法)	科目 ID	LA-310202-Z	
担当教員	飛田 綾子[TOBITA AYAKO]			
開講時期	2020 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜 3 限(11 時 10 分から 12 時まで)				
対象学科:医学部医学科:歯学部歯学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。 1-4)異なる空間の文化を理解する。 1-9)市民としての倫理観を養う。				
授業の目的、概要等				
いま日本の社会保障は重大な岐路に立っています。増大する医療費、年金制度への不安、経済格差の拡大、労働環境の悪化、育児環境の不整備など様々な問題が指摘される一方で、財政赤字の増大も度々ニュースになっています。こうした問題への適切な処方箋とはいかなるもののでしょうか。その答えを導き出すための知識をこの授業では提示したいと思います。具体的には、そもそも社会保障の目的や機能とはなにか、といった議論からはじめ、現在の日本の社会保障制度の概要を説明します。適宜、アメリカやドイツなど他国との比較的視点も盛り込みつつ、日本の抱える問題点についても考えます。				
授業の到達目標				
①国民皆保険・皆年金を実現している日本の社会保障制度と、日本国憲法とのつながりを理解する。				
②各々の社会保障制度が抱えている問題を、財政や制度内の不平等など多角的側面から考察し、説明できるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	11:10-12:00		飛田 綾子
2	4/23	11:10-12:00		飛田 綾子
3	4/30	11:10-12:00		飛田 綾子
4	5/7	11:10-12:00		飛田 綾子
5	5/14	11:10-12:00		飛田 綾子
6	5/28	11:10-12:00		飛田 綾子
7	6/4	11:10-12:00		飛田 綾子
8	6/11	11:10-12:00		飛田 綾子
9	6/18	11:10-12:00		飛田 綾子
10	6/25	11:10-12:00		飛田 綾子
11	7/2	11:10-12:00		飛田 綾子
12	7/9	11:10-12:00		飛田 綾子
13	7/16	11:10-12:00		飛田 綾子
14	9/3	09:00-09:50		飛田 綾子
15	9/24	11:10-12:00		飛田 綾子, 田中 智彦
16	10/1	11:10-12:00		飛田 綾子, 田中 智彦
17	10/8	11:10-12:00		飛田 綾子, 田中 智彦
18	10/22	11:10-12:00		飛田 綾子, 田中 智彦
19	10/29	11:10-12:00		飛田 綾子, 田中 智彦
20	11/5	11:10-12:00		飛田 綾子, 田中 智彦
21	11/12	11:10-12:00		飛田 綾子, 田中 智彦
授業方法				
教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。ニュースで伝えられている話題を授業ではより詳しく、時に批判的に取り上げます。そうした情報を踏まえ、社会保障の存在意義や税金の負担への不信感の原因など、具体的問題への自らの考えを述べてもらうアクティブラーニング形式を適宜取り入れます。				

授業内容 第 1 回 社会保障制度の概要（憲法とのかかわり、社会保障の存在意義、海外との比較からみた日本の社会保障の達成度など） 第 2 回 医療保険（制度の概要、強制加入の理由、財政状況など） 第 3 回 年金保険（制度の概要、年金の世代間格差論について） 第 4 回 社会福祉サービス（児童・障害者福祉の概要、児童虐待に関する医療者の義務など） 第 5 回 公的扶助（生活保護の受給資格、給付内容、不正受給者対策の問題点など）／日本の社会保障の構造改革について 第 6 回 子ども・子育て支援／労働保険（雇用保険と労働災害保険の内容、日本の労働環境の抱える問題点など） 第 7 回 テスト
成績評価の方法 評価：試験 65 % ・ レポート 0% ・ その他（授業内容を踏まえた上でのリアクションペーパー） 35% 再評価：有（再評価方法 レポート） ・ 無 社会保障に関する基本知識の確実な習得と、社会保障の抱える問題点や改善策の明瞭な説明を重視する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 社会保障に関するニュースは、財源調達のための消費税率の引き上げや海外の年金制度をめぐるデモ行進など、日々様々に伝えられています。そうしたニュースに敏感になり、授業内容と関連付ける癖をつけてください。これが予習復習となります。こうしたニュースに関しては、リアクションペーパー等で簡単に記述してもらおうと考えています。レジュメを読み直すことも有用です。
教科書 特に指定しません。
参考書 権文善一『ちょっと気になる社会保障 増補版』勁草書房、2017 年。同『ちょっと気になる医療と介護 増補版』勁草書房、2018 年。井出英策『日本財政 転換の指針』岩波新書、2013 年。神野直彦『「人間国家」への改革 参加保障型の福祉社会をつくる』NHK 出版、2015 年。
履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、出席調査票やリアクションペーパーの提出で行います。③3 分の 2 以上の出席を満たさなければ、原則、テストの受験資格を得られません。④代返などの不正行為には厳正に対処します。⑤授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。
備考 キーワード: 社会保障、日本国憲法、生存権、税、財政

時間割番号	000803			
科目名	主題別人文社会科学セミナー（文化と人間）	科目 ID	LA-310203-Z	
担当教員	相馬 保夫[SOUMA Yasuo]			
開講時期	2020 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間:木曜 3 限 受講資格:「文化と人間」選択者 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 3-4) 外国文化を理解する				
授業の目的、概要等 本セミナーでは、人間の社会と文化を歴史的観点から考察する場合の方法について、さまざまな視点からとりあげます。問いと仮説を立てそれを資料に基づいて実証するという論文の基本構成は、学問分野を問わず、共通していますが、人間の社会と文化を歴史的に考察するためには、それなりの方法論が求められます。過去の人間の営みについて実験によって仮説を確かめることはできず、それを知るための資料は限られている上、いずれも何らかの意図をもって書かれたものばかりです。だから、歴史的資料を批判しながら自分なりの筋道を立てていく作業は、最初は辛くしんどいかもしれませんが、それを突き抜けた時に味わう感動はまたひとしおです。				
授業の到達目標 1. 人間の過去に関わる歴史的思考法の面白さを味わう。 2. 筋道のたったプレゼンテーションの技術を習得する。 3. 問いを立て、それを実証し、結論を導き出すという論文の技術を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	11:10-12:00		相馬 保夫
2	4/23	11:10-12:00		相馬 保夫
3	4/30	11:10-12:00		相馬 保夫
4	5/7	11:10-12:00		相馬 保夫
5	5/14	11:10-12:00		相馬 保夫
6	5/28	11:10-12:00		相馬 保夫
7	6/4	11:10-12:00		相馬 保夫
8	6/11	11:10-12:00		相馬 保夫
9	6/18	11:10-12:00		相馬 保夫
10	6/25	11:10-12:00		相馬 保夫
11	7/2	11:10-12:00		相馬 保夫
12	7/9	11:10-12:00		相馬 保夫
13	7/16	11:10-12:00		相馬 保夫
14	9/3	09:00-09:50		相馬 保夫
15	9/24	11:10-12:00		相馬 保夫
16	10/1	11:10-12:00		相馬 保夫
17	10/8	11:10-12:00		相馬 保夫
18	10/22	11:10-12:00		相馬 保夫
19	10/29	11:10-12:00		相馬 保夫
20	11/5	11:10-12:00		相馬 保夫
21	11/12	11:10-12:00		相馬 保夫

22	11/19	11:10-12:00		相馬 保夫
23	11/26	11:10-12:00		相馬 保夫
24	12/3	11:10-12:00		相馬 保夫
25	12/10	11:10-12:00		相馬 保夫
26	12/17	11:10-12:00		相馬 保夫
27	1/7	11:10-12:00		相馬 保夫
28	1/14	11:10-12:00		相馬 保夫
29	1/21	11:10-12:00		相馬 保夫
30	1/28	11:10-12:00		相馬 保夫
授業方法 授業はセミナー方式で行います。受講者は一人一回、セミナー論文で取り上げたいテーマについて報告することを求められます。授業ではそれを基に議論し、歴史的考察法について考えます。				
授業内容 第1回 オリエンテーション 第2～6回 セミナー論文の構想について発表、議論と考察 第7回 論文のまとめ方について				
成績評価の方法 評価： セミナー論文 70% ・ その他(課題への取り組み、議論への参加度など) 30% セミナー形式の授業であり、授業への参加度を重視する。 再評価： 有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 受講者は一人一回、セミナー論文で取り上げたいテーマについて報告することを求められます。授業ではそれを基に議論し、歴史的考察法について考えます。報告の後にさまざまな資料に基づいて考察を進め、セミナー論文の構想と執筆にとりかかります。				
教科書 とくになし。授業当日にプリントを配布します。				
参考書 参考書などは各テーマに応じて授業中に随時紹介する。				
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。				
備考 セミナー論文の提出資格： 原則的として初回オリエンテーションに出席した上で、年間授業のそれぞれについて3分の2以上の出席をすること。				

時間割番号	000804			
科目名	主題別人文社会科学セミナー（生命と人間）	科目 ID	LA-310204-Z	
担当教員	田中 智彦[TANAKA TOMOHIKO]			
開講時期	2020 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
◇ 曜日・時間:木曜 2 限 ◇ 対象学科:医学科・歯学科 ◇ 受講資格:「生命と人間」の主題であること ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等				
「論文を書く」とは、ただ自分の意見を書けばよいということではない。ただ自分の意見を書くだけなら、それは「感想文」であり、「ひとりごと」であるにすぎない。「論文を書く」とは、自分の問題関心をめぐり自分自身と「対話する」ことであり、その成果を自分とは違う誰か(読み手)に「送り／贈り届ける」ことである。「論文を書く」のに文献や資料を読み、活用し、また言葉を尽くして論じなければならないのは、その「対話」「送信／贈与」を少しでもよいものに、実り多いものにするためにほかならない。 この授業では、そのような「論文を書く」ということを実際にやってみる。やってみないとわからないことが多くあるからである。どのように書けばよいのか、どのような文献や資料があるのか、アドバイスをし、サポートもする。それを頼りに、ともかくも「読む」こと「書く」ことを始めるなら、自分が選んだテーマについてだけでなく、自分自身についても、多くの発見をすることができよう。				
授業の到達目標				
(1)「生命と人間」という主題に関する自分の問題関心のありかを明らかにする。 (2)「生命と人間」という主題に関して他にどのような視点・論点があるのかを知る。 (3)自ら問いを立て、文献・資料にも拠って論証し、その成果をセミナー論文にまとめる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	11:10-12:00		田中 智彦
2	4/23	11:10-12:00		田中 智彦
3	4/30	11:10-12:00		田中 智彦
4	5/7	11:10-12:00		田中 智彦
5	5/14	11:10-12:00		田中 智彦
6	5/28	11:10-12:00		田中 智彦
7	6/4	11:10-12:00		田中 智彦
8	6/11	11:10-12:00		田中 智彦
9	6/18	11:10-12:00		田中 智彦
10	6/25	11:10-12:00		田中 智彦
11	7/2	11:10-12:00		田中 智彦
12	7/9	11:10-12:00		田中 智彦
13	7/16	11:10-12:00		田中 智彦
14	9/3	09:00-09:50		田中 智彦
15	9/24	11:10-12:00		田中 智彦
16	10/1	11:10-12:00		田中 智彦
17	10/8	11:10-12:00		田中 智彦
18	10/22	11:10-12:00		田中 智彦

19	10/29	11:10-12:00		田中 智彦
20	11/5	11:10-12:00		田中 智彦
21	11/12	11:10-12:00		田中 智彦
22	11/19	11:10-12:00		田中 智彦
23	11/26	11:10-12:00		田中 智彦
24	12/3	11:10-12:00		田中 智彦
25	12/10	11:10-12:00		田中 智彦
26	12/17	11:10-12:00		田中 智彦
27	1/7	11:10-12:00		田中 智彦
28	1/14	11:10-12:00		田中 智彦
29	1/21	11:10-12:00		田中 智彦
30	1/28	11:10-12:00		田中 智彦

授業方法

授業はセミナー形式で進める。受講者は一人一回、セミナー論文でとりあげてみたいテーマについて報告をすることが求められる。授業ではそれをもとに議論をするとともに、参考文献や構成等のアドバイスをを行う。

授業内容

第1回 生命・身体を論じる視点について

第2-6回 セミナー論文の構想について報告・議論・アドバイス

第7回 論文の書き方について

成績評価の方法

◇評価: セミナー論文 70%

授業への参加度 30%(事前課題への取り組み、議論への参加度など)

◇再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

受講者は一人一回、セミナー論文でとりあげてみたいテーマについて報告をすることが求められる。授業ではそれをもとに議論をするとともに、参考文献や構成等のアドバイスをを行う。また他の受講者の報告についても、質問・コメント等により積極的に応答することが求められる。こうしたプロセスを経ることで、自分の問題関心が明らかになるとともに、それをより広い文脈の中で考え、検討することができるようになる。そのためにも、準備段階から授業における報告・議論までの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。

試験の受験資格

【セミナー論文の提出資格】

原則として、初回オリエンテーションに出席した上で、セミナー(グループ別:7回)、医療と法(7回)、医療と社会(7回)、総括セミナー(全グループ:8回)のそれぞれについて、3分の2以上の出席があること。

※「3分の2以上の出席」とは、授業が7回の場合は5回以上の出席を、8回の場合は6回以上の出席を意味する。

教科書

教科書は用いず、必要な文献・資料はコピーして配布する。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

連絡先(メールアドレス)

tanaka.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:毎週月曜日 12:30~13:30 管理研究棟2階 哲学研究室

後期:第1・第3水曜日 12:30~15:00 管理研究棟2階 哲学研究室

時間割番号	000805																																																																			
科目名	主題別人文社会科学セミナー（言語と人間）	科目 ID	LA-310205-Z																																																																	
担当教員	平井 裕香[HIRAI Yuuka]																																																																			
開講時期	2020 年度通年	対象年次	3																																																																	
実務経験のある教員による授業																																																																				
曜日・時間:木曜3限 対象学科:医学科・歯学科 受講資格:「言語と人間」の主題であること 募集人数:30 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する、1-9)市民としての倫理観を養う、2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る、2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う、自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける、3-3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける																																																																				
授業の目的、概要等 言語は、人間社会における主要なコミュニケーションの手段である。私たちは言語によって、自分の立場や考えを相手に対して表明し、自分のそれらと異なった相手の立場や考えを理解しようと試みる。しかし、立場や考えがそもそも異なっていることが、コミュニケーションの成立を妨げてしまうこともある。互いに他者であるゆえにコミュニケーションが必要なのだが、互いに他者であることがコミュニケーションの障壁となる。そのような矛盾と困難に、東京医科歯科大生は一個人としてはもちろん、医療に従事する者として向き合っていかなければならない。医師と患者、医師とその他の専門を持つ人々の立場や考えの間にあり得る隔たりを思う時、コミュニケーションにつきまとう様々な困難に対する自覚は、必須のものと言えるだろう。 以上の問題意識のもと、本授業では言語にかかわる事象を、主にコミュニケーションという観点から考察してゆく。他者との共生に不可欠な、言葉に対する鋭敏な感性を養うと同時に、医師として言葉を発することに、常に伴う責任を思いやってもらいたい。また、一年を通して組み立てた自分自身の考えを論文の形にまとめることで、言語によって思考しながらその思考を伝えることの、難しさと達成感を味わってほしいと考えている。																																																																				
授業の到達目標 (1)言語とコミュニケーションへの洞察を深める。 (2)自分で問題を発見し、解決する能力を養う。 (3)論文の書き方の基本を身につける。 (4)他者と論理的な意見交換を行う。																																																																				
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>平井 裕香</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>平井 裕香</td></tr><tr><td>3</td><td>4/30</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>平井 裕香</td></tr><tr><td>4</td><td>5/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>平井 裕香</td></tr><tr><td>5</td><td>5/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>平井 裕香</td></tr><tr><td>6</td><td>5/28</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>平井 裕香</td></tr><tr><td>7</td><td>6/4</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>平井 裕香</td></tr><tr><td>8</td><td>6/11</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>平井 裕香</td></tr><tr><td>9</td><td>6/18</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>平井 裕香</td></tr><tr><td>10</td><td>6/25</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>平井 裕香</td></tr><tr><td>11</td><td>7/2</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>平井 裕香</td></tr><tr><td>12</td><td>7/9</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>平井 裕香</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/16	11:10-12:00		平井 裕香	2	4/23	11:10-12:00		平井 裕香	3	4/30	11:10-12:00		平井 裕香	4	5/7	11:10-12:00		平井 裕香	5	5/14	11:10-12:00		平井 裕香	6	5/28	11:10-12:00		平井 裕香	7	6/4	11:10-12:00		平井 裕香	8	6/11	11:10-12:00		平井 裕香	9	6/18	11:10-12:00		平井 裕香	10	6/25	11:10-12:00		平井 裕香	11	7/2	11:10-12:00		平井 裕香	12	7/9	11:10-12:00		平井 裕香
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																
1	4/16	11:10-12:00		平井 裕香																																																																
2	4/23	11:10-12:00		平井 裕香																																																																
3	4/30	11:10-12:00		平井 裕香																																																																
4	5/7	11:10-12:00		平井 裕香																																																																
5	5/14	11:10-12:00		平井 裕香																																																																
6	5/28	11:10-12:00		平井 裕香																																																																
7	6/4	11:10-12:00		平井 裕香																																																																
8	6/11	11:10-12:00		平井 裕香																																																																
9	6/18	11:10-12:00		平井 裕香																																																																
10	6/25	11:10-12:00		平井 裕香																																																																
11	7/2	11:10-12:00		平井 裕香																																																																
12	7/9	11:10-12:00		平井 裕香																																																																

13	7/16	11:10-12:00		平井 裕香
14	9/3	09:00-09:50		平井 裕香
15	9/24	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
16	10/1	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
17	10/8	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
18	10/22	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
19	10/29	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
20	11/5	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
21	11/12	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
22	11/19	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
23	11/26	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
24	12/3	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
25	12/10	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
26	12/17	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
27	1/7	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
28	1/14	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
29	1/21	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦
30	1/28	11:10-12:00		平井 裕香, 田中 智彦

授業方法

講義、全体での討論、数人のグループでの討論、実習を適宜組み合わせる。また、ほぼ毎週課題を出し、全員が取り組んできたことを前提に、次週の授業を行う。

授業内容

1) 全体オリエンテーション

【個別セミナー】

2) オリエンテーション

3) コミュニケーション理論の概説

4) コミュニケーション理論と小説

5) 論文とは何か

6) セミナー論文のテーマの発表1

7) セミナー論文のテーマの発表2

8) 執筆のための基礎調査

【総括セミナー】

9) オリエンテーション

10) アウトライン(構成)1

11) アウトライン(構成)2

12) 引用

13) パラグラフ・アウトライン

14) パラグラフ・ライティング

15) わかりやすい文章

16) 一年の総括

なお、各回の授業内容は、受講者の学習状況に即して変更する場合がある。

成績評価の方法

評価：試験 0% ・ レポート(セミナー論文) 60% ・ その他(授業への積極的参加(討論での発言、課題への取り組みなど)) 40%

再評価：有(再評価方法:レポート)

セミナー論文を重視しつつ、執筆プロセスを「授業への積極的参加」で評価する。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 ほぼ毎週課題を出す。各週の課題に全力で取り組むとともに、その取り組みを授業での討論に活かしてもらいたい。 なお、欠席した場合には、その回のプリントやスライドを次週までによく読んでおくこと。
試験の受験資格 16回中6回以上の欠席で、論文提出の資格を失うことを原則とする。
教科書 なし。課題として読む文献については、コピーを配布する予定。
参考書 大島弥生、池田玲子、大場理恵子、加納なおみ、高橋淑郎、岩田夏穂『ピアで学ぶ日本語表現—プロセス重視のレポート作成』ひつじ書房、2005 年 石原千秋、木股知史、小森陽一、島村輝、高橋修、高橋世織『読むための理論—文学・思想・批評』世織書房、1991 年 小笠原喜康『最新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書、2018 年 戸田山和久『論文の教室—レポートから卒論まで』NHK 出版、2009 年 日本記号学会(編)『いのちとからだのコミュニケーション—医療と記号学の対話』慶応義塾大学出版会、2011 年 野矢茂樹『増補版 大人のための国語ゼミ』筑摩書房、2018 年 前田愛『文学テキスト入門』筑摩書房、1988 年
履修上の注意事項 出欠管理システムより、教員がとる出欠を優先させる。

時間割番号	000806			
科目名	主題別人文社会科学セミナー（制度と人間）	科目 ID	LA-310206-Z	
担当教員	面 一也[OMOTE KAZUYA]			
開講時期	2020 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜 3 限(11 時 10 分～12 時)				
対象学科:医学科、歯学科				
受講資格:主題「制度と人間」コースであること。				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
1-2, 1-3, 1-5, 1-9, 3-5				
授業の目的、概要等				
政治、そして政治的思考とはどういうことなのかを最大限奥深く掘り下げながら、政治では何をどのように決定すべきか、議会では何がどのように審議されるべきか、選挙で選ぶ国民の代表はなぜ必要で、代表には何が求められるのか、権力とは何か、人々が求める自由とは何か、国家でも市場でもない「社会」とは何か、政治が果たすべき範囲・限界をどう考えるか、政治とどのような距離感でつきあうべきか等々について考えるセミナーにしたいと考えている。この点、いま政治の現場で「憲法改正」問題が語られつつある。公権力の制限という憲法の基本的存在意義の一方で、例えば生存権保障などのように公権力には「積極的」役割もあること、今日の民主国家では国民一人ひとりが国家権力を形づくる一翼を担っていることなどを指摘しながら、国民の国家への向き合い方についての更なる探求の必要性についても問題提起していきたい。				
授業の到達目標				
現代国家における立憲主義と民主主義との併存可能性を制度構造およびその政治運用の観点から説明できるようになること。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
2	4/23	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
3	4/30	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
4	5/7	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
5	5/14	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
6	5/28	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
7	6/4	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
8	6/11	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
9	6/18	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
10	6/25	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
11	7/2	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
12	7/9	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
13	7/16	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
14	9/3	09:00-09:50		面 一也, 田中 智彦
15	9/24	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
16	10/1	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
17	10/8	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
18	10/22	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
19	10/29	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦

20	11/5	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
21	11/12	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
22	11/19	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
23	11/26	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
24	12/3	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
25	12/10	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
26	12/17	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
27	1/7	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
28	1/14	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
29	1/21	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
30	1/28	11:10-12:00		面 一也, 田中 智彦
授業方法 本セミナーでは参加者とのコミュニケーションを前提に運営されるため、毎回アクティブ・ラーニングの観点から教員と参加者との間並びに参加者間での双方向的な質疑応答を行う。				
授業内容 第1回: 憲法解釈 第2回: 天皇制とデモクラシーの歴史 第3回: 立憲主義 第4回: 不寛容社会における人権問題 第5回: メディア・リテラシー 第6回: 国民への問い 第7回: まとめ				
成績評価の方法 評価 : 試験 0 % ・ レポート 85 % ・ その他(出席)15 %。ただし受講姿勢等に問題がある場合は別途減点対象となる。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 指定図書および配布プリントを事前に必ず精読し、配布プリント記載の例題に対応すること。				
教科書 高橋源一郎編著『憲法が変わるかもしれない社会 』(文藝春秋、2018 年)				
参考書 宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』(岩波新書、2010 年) 佐々木毅『民主主義という不思議な仕組み』(ちくまプリマー新書、2007 年) 杉田敦『デモクラシーの論じ方ー論争の政治』(ちくま新書、2001 年) 長谷部恭男『憲法と平和を問いなおす』(ちくま新書、2004 年) 樋口陽一『個人と国家』(集英社新書、2000 年) 長谷部恭男『憲法とは何か』(岩波新書、2006) 長谷部恭男・杉田敦『憲法と民主主義の論じ方』(朝日新聞出版、2016 年) 森政稔『変貌する民主主義』(ちくま新書、2008 年) 待鳥聡史『代議制民主主義』(中公新書、2015 年) 水島治郎『ポピュリズムとは何か』(中公新書、2016 年)など。				

履修上の注意事項

毎回出欠を確認します。10 分以上の遅刻は欠席扱いとなりますし、提出物を期限までに提出しない場合は大きな減点対象になりますので気を付けて下さい。出欠管理システムと教員自身が取る出欠とを併用して出欠管理を行います。

備考

キーワード: 立憲主義、民主主義、ポピュリズム、代議制、違憲審査制、安保法制、憲法改正、国民投票、参加民主主義、放送法制、緊急事態条項など。

時間割番号	000807		
科目名	主題別人文社会科学セミナー（時間と人間）	科目 ID	LA-310207-Z
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]		
開講時期	2020 年度通年	対象年次	3
実務経験のある教員による授業			
曜日・時間： 木曜 3 限 対象学科：医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う			
授業の目的、概要等			
本セミナーでは、時間の観点から、人間あるいは人間の生死の問題について考察します。それは、私たちの経験がどのように可能であり、どのように不可能であるのかということ考察することでもあります。ただし、時間の存在を自明視したまま、人間について中心的に考察するわけではありません。たとえば、しばしばなされるように、時間を「t」で表し空間上の軌跡として捉えれば(時間の空間化)、それで事足りるといったわけではありません。むしろここで問題にしたい時間は、「t」で表したり微分操作をしたりする以前の時間なのです。また、人間の意識や行為から独立して時間なるものが存在すると想定したうえで、そのような時間が一方的に人間を規定・拘束する在り方を考察するわけではありません。時間の実在を認める立場には、時間に関する常識的見方だけでなく、キリスト教における世界創造説、近代以降の自然科学的見方、そして人文・社会科学的見方もその大部分が含まれますが、むしろここでの目的は、そうした見方を批判的に吟味しながら、時間と人間について考察することにあります。 時間を実体として捉えるのでもなく、時間を主観的観念に還元するのでもなく、時間と人間について考察しようとするならば、時間の量的な側面(物理的・客観的時間等)、または時間の質的な側面(過去・現在・未来という様相、体験的・行為的時間等)の一方のみをもって時間の本質とみなしてしまうのではなく、なによりも両者の相互反映的な関係を問うことが求められるでしょう。すなわち、時間を二つ以上の出来事(変化)の相関(天体の運動・時計等と人間の意識・行為等との相関)と捉えたうえで、両者を媒介するような意味というものに注目し、時間というものが、さまざまな文化・社会・歴史的状況に置かれた人間を経由してはじめてその時間的意味を獲得し(たとえば関心・目的によって先取りされる未来とのかかわりが、「～するのに時間がない」「～までにまだ時間がある」という仕方で、時間に実質と意味を与える)、同時にこのような仕方で構成された時間を背景(前提)として、人間(の時間構成)もまた成立するという、いわば自己言及的な循環から時間と人間との関係を考察する必要があるのです。時間という概念は、そのうちに人間の意識や行為を含んでいると言ってもよいでしょう。この意味で、時間への問いとは自己への問いでもあり、その解明の作業は同時に自己反省の作業となるはずで			
授業の到達目標			
「○○とは何か」という問いは、その問い自体が○○についての一定の知識を論理的に前提しています。そして時間に関するかぎり、「○○とは何か」という問い方は、十分に吟味しなければ正しい問いの立て方とは言えません。というのも、時間について問うたり語ったりすること自体が、時間を必要としているという事情があるだけでなく、「時間とは何か」という問いの形式そのものが、先に述べたような時間についての一定の先入見(実体化)に基づいているために、その妥当性を吟味しなければ、この問いは問いとして正當かつ十分な資格を持ちえないからです。時間についての問い方が誤っているということは、時間にアプローチする基本的な姿勢が誤っていることにほかならないのです。このことを踏まえて本セミナーでは、まずは文献講読とディスカッションを通して、時間を自明視しない姿勢を身につけること。そして変化や運動、継起の順序、同時性、持続や流れ、過去・現在・未来、連続性といった時間に関する基本的な諸概念を理解し、時間と人間について考察できるようになること。そのうえで、各自の興味・関心に仕掛けて執筆する「セミナー論文」において、(その主題が生物的時間であれ、物理的時間であれ、社会的時間であれ、心理的時間であれ、歴史的時間であれ、文学的時間であれ、芸術的時間であれ・・・)正しく問いを設定し、一定の結論を導くことができるようになること。以上のことを到達目標とします。			
授業計画			

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
2	4/23	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
3	4/30	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
4	5/7	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
5	5/14	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
6	5/28	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
7	6/4	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
8	6/11	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
9	6/18	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
10	6/25	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
11	7/2	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
12	7/9	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
13	7/16	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
14	9/3	09:00-09:50		飯田 卓, 田中 智彦
15	9/24	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
16	10/1	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
17	10/8	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
18	10/22	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
19	10/29	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
20	11/5	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
21	11/12	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
22	11/19	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
23	11/26	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
24	12/3	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
25	12/10	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
26	12/17	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
27	1/7	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
28	1/14	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
29	1/21	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
30	1/28	11:10-12:00		飯田 卓, 田中 智彦
授業方法 演習形式、アクティブラーニング				
授業内容 授業は演習形式で進めてゆきますので、各回とも受講者各自による発表・質問・ディスカッションが中心となります。前半（グループ別）では、受講者の興味・関心に沿って比較的平易な時間に関する文献をいくつか選び、それらを全員で講読します。具体的には受講者のあいだで分担（発表・質問担当）を決め、発表担当者には PowerPoint を用いて内容の要約と問題提起を行っていただきます。そして発表された内容をもとにディスカッションを行うという仕方です。後半（総括セミナー）では、各自の興味・関心にしたがって研究した成果を発表していただきます。				
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ セミナー論文 70% ・ その他（授業への参加度） 30% 再評価：有（セミナー論文再提出）				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				

準備学習等についての具体的な指示

配布された文献は、次回までに精読しておいてください。

教科書

とくに必要ありません。参考までに、これまでのセミナーで用いた文献(論文集)を一部挙げておきます。広中平祐・井上慎一・金子務[編]『時間と時——今日を豊かにするために』日本学会事務センター学会出版センター(2002 年)、村上陽一郎[編]『東京大学教養講座 3 時間と人間』東京大学出版会(1981 年)、向坊隆ほか『東京大学公開講座 時間』東京大学出版会(1980 年)、伏見康治・柳瀬睦男[編]『時間とは何か』中央公論社(1974 年)、渡辺慧・渡辺ドロテア『時間と人間』中央公論社(1979 年)、田山忠行[編]『時を編む人間——人文科学の時間論』北海道大学出版会(2015 年)、井上俊・上野千鶴子・大澤真幸・見田宗介・吉見俊哉[編]『岩波講座 現代社会学 6 時間と空間の社会学』岩波書店(1996 年)、田島節夫・坂本賢三・市川浩・坂部恵・村上陽一郎[編]『講座現代の哲学 1 時間・空間』弘文堂(1977 年)、大森荘蔵・滝浦静雄・中村雄二郎・藤沢令夫[編]『新岩波講座哲学 7 トポス 空間 時間』岩波書店(1985 年)、小安増生・白井利明[編]『発達科学ハンドブック 3 時間と人間』新曜社(2011 年)、橋本毅彦・栗山茂久[編]『遅刻の誕生——近代日本における時間意識の形成』三元社(2001 年)、「別冊・数理科学 時間論の諸パラダイム」サイエンス社(2004 年)等

参考書

教場にて適宜指示しますが、さしあたり以下の文献を挙げておきます。アリストテレス『アリストテレス全集 3 自然学』岩波書店(1987 年)、H.ペルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』ちくま学芸文庫(2002 年)、E.フッサール『内的時間意識の現象学』みすず書房(1970 年)、M.ハイデガー『存在と時間』岩波文庫(2013 年)、E.ミンコフスキー『生きられる時間——現象学的・精神病理学的研究』みすず書房(1972 年)、E.マッハ『時間と空間』法政大学出版局(2008 年)、P.ホーウィッチ『時間に向きはあるか』丸善(1992 年)、R.モリス『時間の矢』地人選書(1987 年)、B.リベット『マインド・タイム——脳と意識の時間』岩波書店(2005 年)、P.J.ズワルト『時間について』紀伊國屋書店(1980 年)、G.J.ウィットロウ『時間 その性質』法政大学出版局(1993 年)、J.メイザー『ゼノンのパラドックス——時間と空間をめぐる 2500 年の謎』白揚社(2009 年)、R.ペドヴィン『時間と空間をめぐる 12 の謎』岩波書店(2012 年)、B.アダム『時間と社会理論』法政大学出版局(1997 年)、渡辺慧『時』河出書房新社(2012 年)、大森荘蔵『時間と自我』青土社(1992 年)、滝浦静雄『時間』岩波新書(1976 年)、植村恒一郎『時間の本性』勁草書房(2002 年)、入不二基義『時間は実在するか』講談社現代新書(2002 年)、中島義道『「時間」を哲学する』講談社現代新書(1996 年)、青山拓央『タイムトラベルの哲学』ちくま文庫(2011 年)、野家啓一『物語の哲学』岩波現代文庫(2005 年)、真木悠介『時間の比較社会学』岩波現代文庫(2003 年)、今村仁司『近代性の構造——「企て」から「試み」へ』講談社選書メチエ(1994 年)、木村敏『時間と自己』中公新書(1982 年)、広井良典『生命と時間——科学・医療・文化の接点』勁草書房(1994 年)、本川達雄『ゾウの時間 ネズミの時間』中公新書(1992 年)、森田邦久編著『〈現在〉という謎——時間の空間化批判』勁草書房(2019 年)、森田邦久『時間という謎』春秋社(2020 年)、A.ハート=デイヴィス『時間の図鑑』悠書館(2012 年)等

履修上の注意事項

コメントシートを配布し、出欠をとります。

東京医科歯科大学全学共通科目履修規則

平成 16 年 4 月 1 日
規則 第 217 号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(授業科目の編成)

第2条 全学共通科目における授業科目は、次の4系をもって編成する。

自由教育講義系
自由教育実習系
自由教育セミナー系
基礎教育系

(授業科目及び単位数)

第3条 前条の各系に属する授業科目及び修得すべき単位数等は、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の授業科目及び修得すべき単位数等は、教養部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(1単位当たりの授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間
- (2) 実験及び実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

- (1) 学習目標を十分に満たすこと
- (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

(履修届)

第5条 学生は、別に定める授業科目の中から、履修しようとする授業科目を所定の期日までに届け出なければならない。

(定期試験)

第6条 履修した授業科目については、試験を行う。

2 前項の規定にかかわらず、実験、実習を伴う授業科目又は試験を行うことが困難な授業科目等で、平常の学修の成果を評価して成績を与えることが適切と認められる場合には、試験によらず、指定した課題についての報告等をもって試験に代えることができる。

3 第1項の試験については、別に定める。

4 試験に合格したときは、所定の単位を与える。

(学習の評価)

第7条 履修した授業科目の成績については、別表2により学習の評価を行う。

2 前項の規定にかかわらず、前条第2項に該当する授業科目のうち、第1項により難しい場合の学習の評価は、別表3により行う。

3 第1項及び第2項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。

4 教養部長は、学習の評価の結果を学生に通知する。

(再履修)

第8条 前条により、「不可」又は「不合格」の評価を得た授業科目については、所定の手続きにより再履修することができる。

(懲戒)

第9条 教養部長は、懲戒に相当すると思われる行為があったときは、学則第58条に定める懲戒の手続きをとるものとする。なお、手続きについては別に定める。

(進級要件)

- 第10条 別表1(1)に定める単位をすべて修得しなければ、第2学年に進級することができない。
- 2 別表1(2)に定める単位をすべて修得しなければ、第3学年に進級することができない。
- 3 別表1(3)に定める単位をすべて修得しなければ、第4学年に進級することができない。
- 4 別表1(4)に定める単位をすべて修得しなければ、卒業することはできない。
- 5 全学共通科目の単位の認定については、教養部教授会の議を経て、教養部長がこれを行う。
- 6 教養部長は、前項の認定の結果について各学部長に通知する。
- 7 2年以内に、別表1(1)に定める単位をすべて修得することができない学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。ただし、当該期間には、休学の期間を算入しない。
- 8 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
- 9 第7項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、教養部長が再審議の必要性があると判断したときは、教養部長は、教務委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(歯学部口腔保健学科編入学生の履修)

第11条 学則第18条及び第18条の2に定める歯学部口腔保健学科編入学生の全学共通科目に係る履修については、別に定める。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、全学共通科目の履修に関する必要な事項は、教養部教授会が別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となったもの(以下「在学者」という。)及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者の教育課程の履修については、この規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成18年3月31日規則第10号)

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)および平成18年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成20年3月31日規則第8号)

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日において現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成20年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表(1)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成21年3月19日規則第11号)

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成22年3月30日規則第40号）

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1、別表2及び別表3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第14号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年2月25日規則第3号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月4日規則第12号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規則第72号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（平成29年3月31日規則第53号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年5月1日規則第31号）

この規則は、平成30年5月1日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則（令和元年10月23日規則第 号）

この規則は、令和元年10月23日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

附 則（令和2年 3月31日規則第138号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

別表 1

(1)第1学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数						備 考
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻	口腔保 健工学 専攻	
自由教育講義系	人文科学・社会科学	哲学Ⅰ	8	8	8	8	8	8	選択科目 1科目 2単位
		哲学Ⅱ							
		倫理学Ⅰ							
		倫理学Ⅱ							
		心理学Ⅰ							
		心理学Ⅱ							
		宗教学Ⅰ							
		宗教学Ⅱ							
		芸術Ⅰ							
		芸術Ⅱ							
		歴史学AⅠ							
		歴史学AⅡ							
		歴史学BⅠ							
		歴史学BⅡ							
		民俗学Ⅰ							
		民俗学Ⅱ							
		科学史Ⅰ							
		科学史Ⅱ							
		文学AⅠ							
		文学AⅡ							
		文学BⅠ							
		文学BⅡ							
		法学Ⅰ							
		法学Ⅱ							
		政治学Ⅰ							
		政治学Ⅱ							
		経済学Ⅰ							
		経済学Ⅱ							
		社会学AⅠ							
		社会学AⅡ							
		社会学BⅠ							
		社会学BⅡ							
		社会心理学Ⅰ							
		社会心理学Ⅱ							
		社会思想史Ⅰ							
		社会思想史Ⅱ							
		文化人類学Ⅰ							
		文化人類学Ⅱ							

		Japanese Culture and Society I						
		Japanese Culture and Society II						
		グローバル教養科目 (注 1)						
		人文社会科学特論 (注 1)						
	自然科学	物理学入門	1 (注 2)		1 (注 2)	1 (注 2)		選択科目
		生物学入門						
		化学入門						
		数学 I	1		1	1		必修科目
		物理学 I	1		1	1		
		数学 II	1 (注 3)			1 (注 3)		医学科・歯学科は、選択科目。検査技術学専攻は、必修科目。
		物理学 II			1			
		統計学		1	1		1	必修科目
		化学	2		2	2		
		化学基礎		1			1	
		生物学	2		2	2		
		細胞生物学基礎		1			1	
		人体の生物学基礎		1			1	
自由教育実習系	外国語	英語	4	4	4	4	4	必修科目
		日本語 (注 4)	4	4	4	4	4	選択科目 1科目 4単位
		ドイツ語						
		フランス語						
		中国語						
		スペイン語						
	自然科学	物理学実験	1			1		必修科目
		化学実験	1			1		
		生物学実験	1			1		
		サイエンスPBL入門	1			1		

		科学基礎実験		1 (注 5)	1		1 (注 5)	1 (注 5)	看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻は、選択科目。検査技術学専攻は、必修科目。
		科学基礎演習							
		情報科学		1	1		1	1	
		情報処理	1			1			
	保健 体育	スポーツ・健康科学	1	1	1	1	1	1	必修科目
		フィットネスマネージメント	1	1	1	1	1	1	
自由 教育 セミナー系	共通 領域	共通領域セミナー科目	2	1	1	2	1	1	必修科目(具体的な科目名は、全学共通科目教育要項に定める。)
基礎 教育 系	共通 領域	教養総合講座	1	1	1	1	1	1	必修科目
第1学年 小計			34	26	31	34	26	26	

(注)

- 1 詳細は、全学共通科目教育要項に定める。
- 2 医学部医学科、保健衛生学科検査技術学専攻及び歯学部歯学科の学生については物理学入門、生物学入門、化学入門のうちから1科目(1単位)を選択する。
- 3 医学部医学科及び歯学部歯学科の学生については数学Ⅱ、物理学Ⅱのうちから1科目(1単位)を選択する。
- 4 外国人留学生のみ履修できる。
- 5 保健衛生学科看護学専攻及び口腔保健学科の学生については科学基礎実験又は科学基礎演習のいずれか1科目(1単位)を選択する。